

高知市男女共同参画推進

プラン 2021

令和 3 年度

年次報告書

市民協働部

人権同和・男女共同参画課

目 次

	ページ
はじめに、プラン2021の特徴，プラン2021体系図，プラン2021の進め方	1
指標の進捗状況，施策（基本目標）に対する取組状況	3
令和3年度高知市男女共同参画推進プラン2021事業一覧	5
【年次報告表】	
基本目標1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	6
基本目標2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	7
基本目標3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	8
基本目標4 地域で，防災で，男女共同参画をすすめましょう	9
基本目標5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	10
全体に関すること	10
個別事業実施状況報告（点検シート）	11
高知市男女共同参画推進委員会による点検（参考資料）	68
数値報告	75
こうち男女共同参画センター（ソーレ）事業報告	81

はじめに

この年次報告書は、「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」及び「高知市男女共同参画推進プラン2021(以下「プラン2021」)」に基づき、本市の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにするために作成したものです。実施状況の公表は、男女共同参画社会の実現に向けた効率的かつ効果の高い施策を展開するため、事業内容を市民にわかりやすく説明することで行政の透明性を高める手段です。

男女共同参画社会を実現するためには、市民と行政が一体となって取り組む必要があります。そのためには、庁内各課がこれまで以上に男女共同参画の視点をもって取り組み、市民の皆さまの理解を深め、協力を得ることが不可欠です。

プラン 2021 の特徴

(1) 施策の実施状況報告に対する評価(点検)

「プラン2021」の推進に当たっては、前年度の施策の実施状況の報告について、推進委員会の評価(点検)を受けます(点数評価は中間及び最終のみ)。

(2) 評価(点検)と公表

推進委員会による評価(点検)の結果は、毎年度公表します。

(3) 男女共同参画の視点の浸透

各施策における、男女共同参画の視点からの考え方を明確にし、その浸透を図ります。

(4) 女性活躍推進への取組

「女性活躍推進法」の市町村推進計画として「女性活躍推進法」及びその基本方針に基づいた取組を実施します。

プラン 2021 体系図

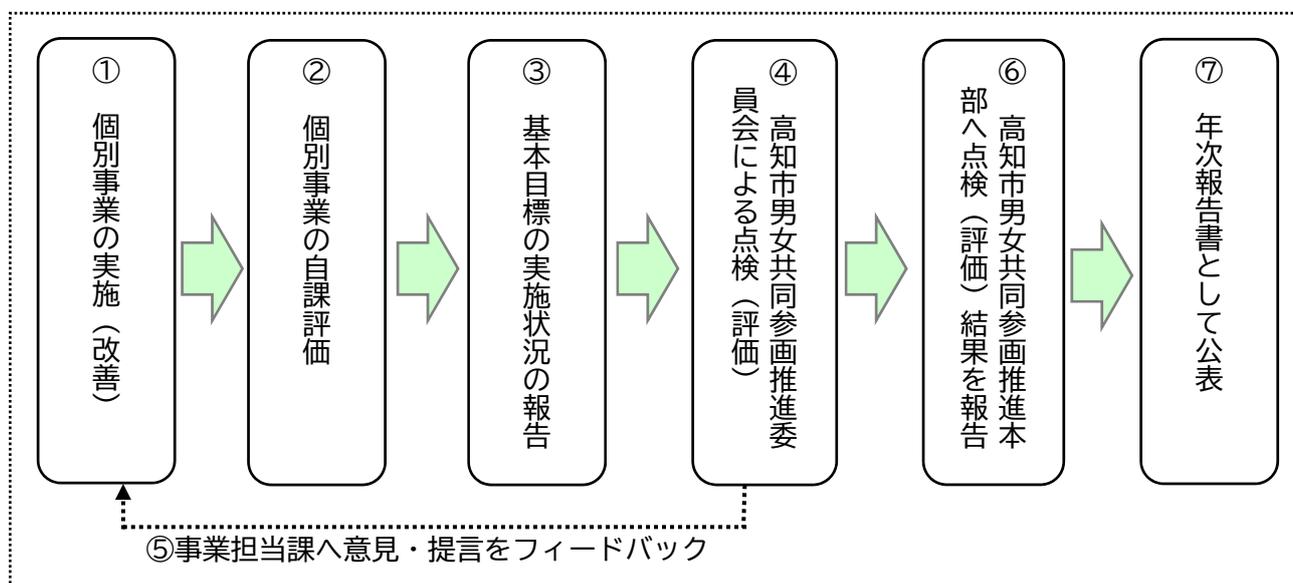
めざす将来像 **ジェンダー平等社会の実現**



基本目標		取組の方向性
1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 (イ) 政策, 方針決定過程における男女平等の促進
2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実 (イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援 (ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実
3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう (※「女性活躍推進法」推進計画)	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進 (イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充 (ウ) 女性活躍の推進
4	地域で, 防災で, 男女共同参画をすすめます	(ア) 地域活動における女性の参画の促進 (イ) 防災分野における女性の参画の促進
5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援

プラン 2021 の進め方

「プラン 2021」の効果的な推進と進行管理のために、PDCA サイクルに基づき、取組の継続的な改善と推進を実施します。



① 個別事業の実施

前年度の取組状況及び高知市男女共同参画推進委員会の意見・提言を踏まえ、個別事業の概要及び活動指標(目標)を設定し、事業を実施します。

② 個別事業の自課評価

事業実施の翌年度に個別事業実施状況報告表にて、事業の報告及び自課評価を行います。

③ 基本目標の実施状況の報告

基本目標ごとに数値目標の達成状況等を取りまとめ、高知市男女共同参画推進委員会に報告します。

④ 高知市男女共同参画推進委員会による評価(点検) ※点数評価は中間と最終のみ

高知市男女共同参画推進委員会によるヒアリングを実施し、点検(評価)を行います。

⑤ 事業担当課へ意見・提言をフィードバック

高知市男女共同参画推進委員会の意見・提言を事業担当課へフィードバックします。
(事業担当課は翌年度の事業計画に反映させることを検討します。)

⑥ 高知市男女共同参画推進本部へ評価結果を報告

推進委員会による評価(点検)結果を高知市男女共同参画推進本部へ報告します。

⑦ 年次報告書として公表

年次報告表、個別事業の実施状況報告表等を取りまとめ公表します。

1 指標の進捗状況

高知市男女共同参画推進プラン2021では、ジェンダー平等社会の実現に向けて、5つの基本目標を掲げて取り組んでいます。各基本目標に対しては、17項目の指標を設定しています。各指標の進捗状況は次のとおりとなっています（表1）。

指標の進捗状況（表1）

基本目標	No	指標(数値目標)	基準値	令和3年度実績値	目標値(R7年度末)	担当課	
1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	1	市の審議会等で女性委員がいない審議会数	13会(118会中) (R2)	15会(115会中)	0会	人権同和・男女共同参画課	
	2	市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合	部長副部長 11.6% (R2)	部長副部長 8.9%	14%以上	人事課	
			課長 14.1% (R2)	課長 19.1%	22%以上		
			課長補佐 42.4% (R2)	課長補佐 46.8%	45%以上		
	3	男女の地位が「平等」と回答した人の割合	各項目の数値は以下のとおり	—	増加	人権同和・男女共同参画課	
			家庭生活 27.5% (R1)	—	35%以上		
			職場 25.9% (R1)	—	40%以上		
			学校教育 63.2% (R1)	—	75%以上		
			地域活動の場 46.2% (R1)	—	50%以上		
			政治の場 13.2% (R1)	—	20%以上		
法律や制度上 32.5% (R1)			—	35%以上			
慣習・しきたり 15.7% (R1)			—	25%以上			
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	4	DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1% (R1)	—	30%以下	人権同和・男女共同参画課	
	5	DVを内容まで知っている と答えた人の割合	44.1% (R1)	—	70%以上		
	6	セクシュアル・ハラスメントを 内容まで知っている と答えた人の割合	43.0% (R1)	—	70%以上		
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	7	待機児童数	26人 (R2.4)	11人	0人	保育幼稚園課	
	8	高知市男女共同参画推進 企業表彰の表彰企業数	3社 (R2)	8社	毎年3社以上	人権同和・男女共同参画課	
	9	高知市男性職員の育児休業 取得率	9.9% (R1)	17.9%	36%以上	人事課	
	10	高知市職員の技術職に占める 女性の割合	9.4% (R2)	11.4%	15%以上	人事課	
	11	社会資源「集いの場」状況	下記10項目の合計 630	610	705以上	—	
			いきいき百歳体操(か所)	373か所 (R1)	363か所	—	基幹型地域包括支援センター
			子育てサークル・子育て支援 サークル(登録団体数)	23団体 (R1)	11団体	—	子ども育成課
			地域子育て支援センター (か所)	14か所 (R1)	15か所	—	子ども育成課
			子育てサロン(か所)	18か所 (R1)	18か所	—	高知市社会福祉協議会
			子どもの居場所・子ども食堂 (か所)	36か所 (R1)	35か所	—	高知市社会福祉協議会
			サロン(か所)	86か所 (R1)	86か所	—	高知市社会福祉協議会
認知症カフェ(か所)			23か所 (R1)	26か所	—	基幹型地域包括支援センター	
地域交流デイサービス【ミニ デイ】(か所)			34か所 (R1)	34か所	—	高齢者支援課	
宅老所(か所)			22か所 (R1)	22か所	—	高齢者支援課	
いきいき百歳大交流会 (開催数)	1回 (R1)	未開催	—	基幹型地域包括支援センター			
4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめます	12	自治会長に占める女性の割合	16.0% (R1)	15.4%	25%以上	人権同和・男女共同参画課	
	13	防災士認定登録者に占める 女性の割合	30.2% (R1)	30.9%	50%以上	防災政策課	
5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	14	健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性 17.47年 女性 20.97年	男性 17.65年 女性 21.39年	男性 18.27年 女性 21.77年	健康増進課	
	15	子宮頸がん検診受診率	15.1% (R1)	14.2%	20%以上	健康増進課	
	16	乳がん検診受診率	18.8% (R1)	17.3%	22%以上	健康増進課	
	17	低出生体重児出生率 (出生百対)	10.0% (H30)	11.1% (R1)	9.4%以下	母子保健課	

2 施策（基本目標）に対する取組状況

令和3年度は、5つの基本目標に沿った取組として、20の担当課で57の個別事業を実施しました（5ページ）。個別事業の取組状況については、事業担当課にて自己評価（点検・評価）を行っています（個別事業実施状況報告（点検シート）11～67ページ）。

令和3年度の事業担当課の自己評価をみると、評価A「目標達成」が24事業（42.1%）、評価B「目標を概ね達成」が24事業（42.1%）となり、評価Aと評価Bを合わせた割合は84.2%となっています（下表2）。

また、個別事業の取組状況については高知市男女共同参画推進委員会が評価（点検）を行い（68～74ページ）、各基本目標の進捗状況について意見・提言を行いました（6～10ページ）。

令和3年度の個別事業の取組状況（表2）

	A(目標達成)	B(概ね達成)	C(少し下回った)	D(大きく下回った)
基本目標1	8	4	2	0
	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
基本目標2	8	4	0	1
	61.5%	30.8%	0.0%	7.7%
基本目標3	2	8	3	0
	15.4%	61.5%	23.1%	0.0%
基本目標4	3	2	0	2
	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%
基本目標5	3	6	0	1
	30.0%	60.0%	0.0%	10.0%
全体	24	24	5	4
	42.1%	42.1%	8.8%	7.0%

高知市男女共同参画推進プラン2021 令和3年度事業一覧

基本目標	取組の方向性	事業 №	事業・取組	担当課	事業費 (千円)	合計 (千円)
1 つくりましょ うの 人権が尊重さ れる社会を	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	男女共同参画の日「8月1日」事業	人権同和・男女共同参画課	45	6,921
		2	広報・啓発と情報発信（市民等向け）	人権同和・男女共同参画課	327	
		3	広報・啓発と情報発信（庁内向け）	人権同和・男女共同参画課	395	
		4	多様な性のあり方を尊重する取組の推進	人権同和・男女共同参画課	0	
		5	レインボースクール	人権・こども支援課	166	
		6	学校における男女平等教育の推進	人権・こども支援課	0	
		7	健康教育（性に関する指導）の推進	学校教育課	0	
		8	市職員に対する研修	人事課	48	
		9	ソーレにおける広報・啓発及び情報提供	ソーレ	5,854	
		10	男のセルフマネジメント講座	ソーレ	86	
	(イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進	11	審議会等の女性登用の推進	人権同和・男女共同参画課	0	91
		12	各役職段階に占める女性職員の割合の向上	人事課	0	
		13	女性リーダーの育成	ソーレ	91	
		14	政治分野への女性の参画に関する情報の提供・啓発	ソーレ	—	
2 社会をつくりま しよ うの ない	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	15	人権啓発の推進	人権同和・男女共同参画課	1,691	3,963
		16	DV防止啓発	人権同和・男女共同参画課	560	
		17	DV・デートDVに関する啓発及び情報提供	ソーレ	338	
		18	児童虐待予防推進事業	子ども家庭支援センター	846	
		19	情報モラル教育の推進	少年補導センター	528	
	(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	20	人権全般における相談体制の充実	人権同和・男女共同参画課	15	393
		21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	人権同和・男女共同参画課	0	
		22	相談事業（DVに関するもの）	ソーレ	0	
	(ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実	23	相談体制の充実	ソーレ	378	447
		24	ハラスメント防止研修	人事課	0	
		25	SOGI職員研修	人権同和・男女共同参画課	200	
		26	出前講座	ソーレ	29	
		27	性的少数者に関する電話相談	ソーレ	218	
3 平等を 実現し ましょ うの ジェン ダー	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進	28	男女共同参画推進企業表彰	人権同和・男女共同参画課	28	64
		29	男性職員の子育て参加の促進	人事課	0	
		30	「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充	産業政策課	9	
		31	男性対象家事の基礎講座の開催	ソーレ	27	
	(イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	32	地域の子育て支援・子育て相談	子ども育成課	109,979	174,694
		33	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	12,259	
		34	多様な保育サービスの充実	保育幼稚園課	52,165	
		35	生活支援サービスの充実	高齢者支援課	291	
	(ウ) 女性活躍の推進	36	高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上	人事課	0	20,839
		37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	子育て給付課	5,300	
		38	雇用促進・就労支援	産業政策課	14,978	
		39	女性消防吏員増加に向けた取組	消防局総務課	0	
40		女性のための就業支援講座	ソーレ	561		
4 地域を つくり ましょ うの 防災 を	(ア) 地域活動における女性の参画の促進	41	地域コミュニティ再構築事業	地域コミュニティ推進課	5,044	5,680
		42	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課	346	
		43	消防団の充実強化	消防局総務課	—	
		44	女性のチャレンジ・エンパワーメント支援	ソーレ	290	
	(イ) 防災分野における女性の参画の促進	45	避難所運営体制の整備	地域防災推進課	419	5,585
46		れんけいこうち防災人づくり塾	防災政策課	5,150		
47		女性防災プロジェクト	ソーレ	16		
5 生涯を 充実さ せま しよ うの 健康 生活	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	48	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催	高齢者支援課	31,638	145,950
		49	生涯学習活動の促進	文化振興課	—	
		50	スポーツ推進事業	スポーツ振興課	677	
		51	がん検診	健康増進課	89,162	
		52	成人歯周病検診	健康増進課	2,274	
		53	こころの相談窓口	健康増進課	250	
		54	思春期保健事業	母子保健課	0	
		55	妊娠・出産期等の支援	母子保健課	1,815	
		56	幼児健診	母子保健課	18,338	
		57	相談事業	ソーレ	1,796	

基本目標

1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう

取組の方向性	<p>(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市民に向けてSOGIやジェンダー平等について広報・啓発を行います。 ② 児童生徒の発達段階に応じた男女平等, 男女共同参画についての教育を行います。 ③ 家庭・職場・学校・地域で, ジェンダー平等の学習会・研修会等を実施します。 ④ 市民意識調査を実施し, 男女共同参画に関する実態把握を行います。 ⑤ ソーレ等と連携し, 積極的な情報提供, 啓発活動を実施します。 <p>(イ) 政策, 方針決定過程における男女平等の促進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 積極的に女性の登用を促すよう, 庁内外に働きかけをしていきます。 ② 女性が政治の場へ参画する一歩となるような人材育成に取り組みます。 ③ ソーレ等と連携し, 女性リーダー養成にむけた講座・研修会を実施します。 ④ 政治分野への女性の参画に関する情報の提供・啓発を行います。 								
	指標	【指標の現状値】							
指標		計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】	
市の審議会等で女性委員がいない審議会数		24会 [138会中]	15会 [115会中]	[会]	[会]	[会]	[会]	0会以下 【5会以下】	
市職員の女性管理職 (課長補佐以上)の割合		部長副部長	11.4%	8.9%	%	%	%	%	14%以上 【13%以上】
		課長	15.7%	19.1%	%	%	%	%	22%以上 【19%以上】
	課長補佐	39.2%	46.8%	%	%	%	%	45%以上 【44%以上】	
男女の地位が「平等」と回答した人の割合		社会全体 15.3% 他7項目	—	—	—	%	—	増加	
個別事業	個別事業(No.1~14)の取組状況は11~24ページ								

推進委員会からの意見・提言	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民への啓発活動や, 教育現場における男女平等教育の推進などの底上げ作業は地道に継続されている。またレインボースクールや男性のセルフマネジメントの講座などの, 新しい角度からの取り組みも加わり, 前進が見られる。 ・ 教育課題としてSOGIやジェンダー平等, 男女共同参画, 性の多様性や差別の問題を位置づけ, 次世代に向け種をまくこと(教育実践)が必要。 ・ 高知市の学校での成長に応じた教育や成人教育として, 積極的に性や家庭形成等について考え, 学べる環境を作ってほしいと切望する。 ・ 審議会の女性登用の推進はまだ不十分である。審議会に女性委員がいない審議会については, 個々の事情があると思うが, その理由を公表して現状ではやむを得ないと評価できるかどうか。そのうえでその審議会の今後のあり方を検討していく必要があると思う。 ・ 女性の管理職登用については徐々に進んでいるが, 市職員の男女比率(ほぼ半々)からいうと課長級以上の比率はまだまだ少ないと思う。市における各役職段階での女性職員の割合の向上や市職員への研修については, 将来のあるべき姿としての模範を市が示すという気概を持って, より力強く推進していく必要があり, 計画的に女性幹部職員の育成に努めてほしい。 ・ 政策・方針決定過程における男女平等の促進については課題が多い。女性リーダーや政治への参画については, より踏み込んだ取組が必要ではないか。現在のジェンダー課題を取り上げ, 探求し, 政策立案や立法化を主導できる政治リーダー育成講座や, 夫婦別姓等の喫緊の政策関連テーマについて学ぶ基礎講座に加え, より実践的・専門的な中級・上級講座などを計画し, 積極的に人材を養成する段階に差し掛かっているのではないかと思われる。

基本目標

2

DVやハラスメントのない社会をつくりましょう

取組の方向性	<p>(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実</p> <p>① 人権尊重の意識を高めるよう、関係機関と連携し、予防啓発を行います。 ② 若年層を対象としたDV防止等の啓発を強化していきます。</p> <p>(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援</p> <p>① 相談窓口の周知を図ります。 ② 関係機関との連携を強化し、DV等暴力の被害者が安心して相談、支援を受けられる体制を充実していきます。</p> <p>(ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実</p> <p>① ハラスメントを正しく理解するための広報・啓発を行います。 ② 相談窓口の周知を含めた相談体制を充実させます。 ③ 市職員等を対象とした各種ハラスメント研修を実施します。</p>																																
指標	<p>【指標の現状値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>計画策定時 (R元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度 (中間年度)</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>最終目標 【中間目標】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合</td> <td>65.1%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>30%以下 【-】</td> </tr> <tr> <td>DVを内容まで知っていると感じた人の割合</td> <td>44.1%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>70%以上 【-】</td> </tr> <tr> <td>セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると感じた人の割合</td> <td>43.0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>70%以上 【-】</td> </tr> </tbody> </table>	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】	DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1%	—	—	—	%	—	30%以下 【-】	DVを内容まで知っていると感じた人の割合	44.1%	—	—	—	%	—	70%以上 【-】	セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると感じた人の割合	43.0%	—	—	—	%	—	70%以上 【-】
指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】																										
DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1%	—	—	—	%	—	30%以下 【-】																										
DVを内容まで知っていると感じた人の割合	44.1%	—	—	—	%	—	70%以上 【-】																										
セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると感じた人の割合	43.0%	—	—	—	%	—	70%以上 【-】																										
個別事業	<p>個別事業(No.15～27)の取組状況は25～37ページ</p>																																

推進委員会からの意見・提言
<ul style="list-style-type: none"> ・ DVは表面化したり、相談があったりした時には、深刻な状況との認識を持ち、即対応のできる体制が必要。 ・ 職場のハラスメントは、会社の存在意義をもゆるがす問題との認識を持つことが必要であるため、更なる働きかけが必要。また、ハラスメントが起こらないことが前提となる予防の視点を取り入れた研修が大切と考える。 ・ 最終の数値目標達成のためには「これは人権問題だと、本人か周囲が気づく」「必要な相談窓口が用意されていることを前提として、そこにたどり着く」というプロセスが必要。啓発活動を地道に続けたり、相談員のスキルをアップする方向性は正しいと思うが、啓発活動については、もう少し裾野を広げる工夫・努力をしないと、目標の数値までたどりつけないのではないかと。

基本目標

3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう

- 取組の方向性**
- (ア) ワーク・ライフ・バランスの推進
- ① 男性の家事・育児・介護への参画を促進・支援します。
 - ② 市の男性職員の育児休業等の取得率の向上をめざします。
 - ③ 労働者の意識改革につながる働きやすい職場環境づくりを支援します。
- (イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充
- ① 男性も女性も子育てしながら、仕事との両立を図ることができるよう、多様な保育サービスの充実を図ります。
 - ② 子育て支援体制の充実を図ります。
 - ③ 介護をとりまく環境整備を支援します。
- (ウ) 女性活躍の推進
- ① 職業能力の開発のための講座や、再就職のための就労相談を行います。
 - ② ひとり親家庭の相談及び就業による自立を支援します。
 - ③ 市の女性職員の職域拡大を推進します。

指標

【指標の現状値】

指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
待機児童数	34人	11人	人	人	人	人	0人 【10人以下】
高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数	3社	8社	社	社	社	社	毎年3社以上 【毎年3社以上】
高知市男性職員の育児休業取得率	9.9%	17.9%	%	%	%	%	36%以上 【22%以上】
高知市職員の技術職に占める女性の割合	9.1%	11.4%	%	%	%	%	15%以上 【12%以上】
社会資源「集いの場」状況	630	610					705以上 【675以上】

個別事業

個別事業(No.28～40)の取組状況は38～50ページ

推進委員会からの意見・提言

- ・ 男性の育児休業取得率は、高知県庁(2022年8月10日付高知新聞報道では、2021年度 70.4%)と比較して大きく見劣りしている。県庁ができて、なぜ市役所ができないのかを分析して取り組んでほしい。県知事のように50%以上といった戦略的目標を公表し、背水の陣で取り組んではどうだろうか。その前提には、時間外労働の削減など、市役所の働き方改革への取組が必要ではないかと思う。
- ・ 育休の制度面は進みつつあるが、自分が2か月育休を取得した頃から約30年あまり経ても、男性の育休取得の状況が進んでいるとは言い難い。
- ・ コロナにより、保育園に預けたくても預けられない、両親のどちらかが交替で仕事を休むという非常事態をよく耳にする。その場合、女性にしわ寄せがきているケースもある。この辺りに手を差し伸べるのは、行政として限界があると思うが、実際に各職場で直面している課題である。
- ・ ひとり親の育児環境を整えることが大切。子どもを産み育てることに金銭面、仕事面等全く心配しなくてもよい状況をつくるのが大切。子どもを産み育てることを躊躇させているものは何かを見極め、その要因をなくすことが大切。
- ・ 指標に対する進捗は順調なようである。今後、頭打ちする要素がないかどうか検討していただきつつ、取組を進めてほしい。個別事業の自課評価が全般に高くないにもかかわらず、指標達成状況が悪くないというミスマッチをどう捉えるべきか、改善点があるかどうかについても検討いただきたい。

基本目標

4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう

取組の方向性	(ア) 地域活動における女性の参画の促進 ① 男女を問わず、幅広い世代の市民の参画により、地域活動等の活性化を支援します。 ② ソーレ等と連携し、地域や社会活動における女性リーダーを育成するための講座等を開催します。 (イ) 防災分野における女性の参画の促進 ① 女性の視点による防災対策を強化します。 ② 防災に関する地域の女性リーダーの育成・増加を図ります。							
	【指標の現状値】							
指標	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
	自治会長に占める女性の割合	13.7%	15.4%	%	%	%	%	25%以上 【22%以上】
	防災士認定登録者に占める女性の割合	30.2%	30.9%	%	%	%	%	50%以上 【40%以上】
個別事業	個別事業(No.41~47)の取組状況は51~57ページ							

推進委員会からの意見・提言								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「防災に女性の視点を」というのは、10年前にはなかったことだが、ソーレの事業を中心にしっかり前に進んでいると感じる。さらに市民に広報し、情報を共有をし、より多くの女性に研修会・勉強会に参加してもらう必要はある。 ・ 女性防災リーダーの育成においては、良い傾向だが、一方で防災会議等における女性の登用は低い状況にある。女性の登用拡大に向けて、より一層取り組んでもらいたい。 ・ 女性、子ども、障害児・者の意見が入っていない防災計画はありえないと思う。 ・ 最終目標としている指標に到達するためには、現在の進捗では不安がある。どの点をてこ入れすれば4年後に指標にたどり着くのか、てこ入れポイントを再検討されてはどうか。 								

基本目標

5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう

取組の方向性	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援							
	① さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等を開催します。 ② 男女ともに健康を保持・増進することができるよう、支援活動を行います。 ③ こころの健康づくりについて普及・啓発を行います。 ④ 心身の発育・発達と性に関する教育を行います。 ⑤ 女性特有のがん検診受診率向上に向けた取組を行います。 ⑥ 妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目ない支援を行います。							
指標	【指標の現状値】							
	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
	健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性17.47年 女性20.97年	男性17.65年 女性21.39年	男性 年 女性 年	男性 年 女性 年	男性 年 女性 年	男性 年 女性 年	男性18.27年 女性21.77年 【男性17.71年 女性21.21年】
	子宮頸がん検診受診率	15.1%	14.2%	%	%	%	%	20%以上 【17%以上】
	乳がん検診受診率	18.8%	17.3%	%	%	%	%	22%以上 【20%以上】
低出生体重児出生率(出生百対)	10.0%	11.1%	%	%	%	%	9.4%以下 【9.5%以下】	
個別事業	個別事業の取組状況(No.48～57)は58～67ページ							

推進委員会からの意見・提言	
・ 健康の基本は自己責任だと思うが、健康に対する意識付けによって行動変容が期待できると思うので、引き続き様々な健康支援策に理解を得るため効果的な広報活動や支援体制の充実をお願いする。 ・ 検診率の低さは、各事業所(会社)と行政の連携に課題があるように思うが、その原因について分析を進め、最終目標の到達に向けた道筋を検討していただきたい。	

全体に関すること

推進委員会からの意見・提言	
・ 高知市男女共同参画推進事業は、市長をトップとする推進本部を設置し取り組んでいるが、プラン2016の目標達成率が4割弱と残念な結果に終わっている。現在はプラン2021が進行しているが、本気で目標(指標)達成を目指すのであれば、推進本部がプランの結果にどれだけコミットしているかが大きく影響するものと考え。2000年から20年以上取り組んでいる男女共同参画推進事業がその目的を早期に達成するためにも推進本部のリーダーシップの発揮を期待する。 ・ 部局は、一般市民から上がってくる意見や決定事項に従うだけでなく、自らがリーダーシップをとって調整する役目を担っていると思う。例えば、スポーツ振興課は、地域のスポーツ少年団や体育会の幹部の養成は良いが、そこに女性が参加しないのはなぜかを考え、参加できるように調整していく必要があると思う。人権同和・男女共同参画課は、さらに各部が男女共同参画をスムーズに進めているか、進められていなければそれはなぜか、どうすれば進むのかを主体的に考え、全部局のハブ的存在にならないといけないと感じる。 ・ 高知市の部長以上が全員男性というのは、高知市役所という本丸の男女共同参画が進んでいないということ。50代後半は、男女雇用機会均等法世代である。この世代が平等になっていないというのは、長い間、女性は差別的な取扱いをされてきた証拠とも言えるのではないかと。どこの組織でも同様なことが見られるが、女性の管理職は50代後半くらいから男性と同等にいるべきだと考える。	

高知市男女共同参画推進プラン 2021

令和3年度

個別事業実施状況報告

(点検シート)

※裏面に点検シートの見方説明あり

高知市男女共同参画推進プラン2021 令和3年度 個別事業実施状況報告(点検シート)の見方

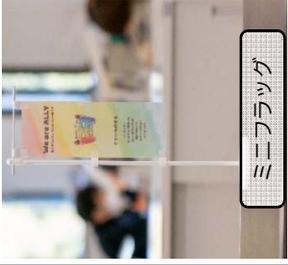
※ 点検シートの見方

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	活動指標に対する具体的な取組。事業の実施にあたり男女共同参画の観点から工夫や配慮した点を記載。	No.	事業名	◆具体的取組(工夫や配慮した点等) 啓発作品募集の他に、18月1日高知市男女共同参画の日に合わせて、以下の事業を実施し、啓発を図った。 ・企業表彰8社表彰(前年度比+5社) ・パネル展開催(8月16日～8月31日、市役所本庁舎1階北側通路) ・ジェンダー平等社会 図書企画展(7月20日～8月9日、オーネピア高知図書館2階展示の本棚、展示本 約120冊) ・啓発用横断幕の設置(1か所、てんこす)	◆検証(達成状況、その要因) ・啓発作品応募数 川柳458点(うち入賞5点)、写真18点(うち入賞4点) ・応募数は毎年変動があるため、300点以上の応募数を確保するには、募集広報にさらなる工夫が必要。	◆対応(改善、今後どのようにするか) ・事業時の広報として、SNSを用いたり等、新たな手段を適宜検討し、より多くの人に応募してもらえるよう努める。
				1	男女共同参画の日「8月1日」事業			
◆事業(概要) 8月1日の「高知市男女共同参画の日」に関連した啓発事業を実施する。 ・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ・横断幕設置 ※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。				◆男女共同参画の視点からの目的 広報・啓発を通じて、条例の理念及び「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、固定的な役割分担意識の解消を図り、男女共同参画に関する意識の増やすため男女共同参画推進について広報・啓発を行う。		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・展示本、写真作品が良かった。 ・図書企画展の展示本約90冊の貸出は良い成果だった。 ・一気には難しいが、少しずつジェンダー平等に対する意識が高まっていい。 ・パネル展等の情報発信をSNS等でできている。	【事業の評価】 A・・・100%以上(目標達成) B・・・80～100%未満(目標を概ね達成) C・・・60～80%未満(目標を少し下回った) D・・・60%未満(目標を大きく下回った)	
(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目)：社会全体25%以上(ほか全8項目増加)				◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効果性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の観点からの配慮があるか。				推進委員会において個別事業の取組状況を項目ごとに点検し、特に良かった点や課題等について、コメントをする。
事業費の決算額 ※費用が算出できない場合は「-」、人件費のみの場合の場合は「0円」とする。		事業の活動指標(目標)。 年度当初に設定したもの。		事業内容の写真やチラシ等		当該事業に関連するプラン2021の指標		



オーネピア高知図書館での図書企画展

取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																												
<p>1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう</p>	<p>取組の方向性</p> <p>事業名</p> <p>1 男女共同参画の日「8月1日」事業</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>8月1日の「高知市男女共同参画の日」に関連した啓発事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ・横断幕設置 <p>※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>広報・啓発を通じて、条例の理念及び「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、固定的な役割分担意識の解消を図り、男女共同参画に関する意識調査で「平等」と回答する市民の割合を増やすため男女共同参画推進について広報・啓発を行う。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。 <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 (ほか全8項目増加)</p>	<p>◆具体的取組(工夫や配慮した点等)</p> <p>啓発作品募集の他に、「8月1日高知市男女共同参画の日」に合わせて、以下の事業を実施し、啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業表彰8社表彰(前年度比+5社) ・パネル展開権(8月16日～8月31日、市役所本庁舎1階北側通路) ・ジェンダー平等社会 図書企画展(7月20日～8月9日、オーテピア高知図書館2階展示の本棚、展示本 約120冊) ・啓発用横断幕の設置(1か所、てんこす) <p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>45</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p>  <p>オーテピア高知図書館での図書企画展</p>	R3	R4	R5	R6	R7	45					<p>評価基準</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A:目標達成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B:概ね達成</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>C:少し下回った</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> </table> <p>自課評価</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発作品応募数 川柳458点(うち入賞5点)、写真18点(うち入賞4点) ・応募数は毎年変動があるため、300点以上の応募数を確保するには、募集広報にさらなる工夫が必要。 <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	R3	A	R4	A:目標達成	R5	B:概ね達成	R6	C:少し下回った	R7	D:大きく下回った	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集時の広報として、SNSを用いたり等、新たな手段を適宜検討し、より多くの人に応募してもらえるよう努める。 <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示本、写真作品が良かった。 ・図書企画展の展示本約90冊の貸出は良い成果だった。 ・一気には難しいが、少しずつジェンダー平等に対する意識が高まっていくといい。 ・パネル展等の情報発信をSNS等でできている。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日が「高知市男女共同参画の日」ということが市民にどれだけ浸透しているか検証できれば尚良い。 ・啓発応募団体に偏りがあるように思われるため、もう少し広く呼びかけられないか。 ・事業展開が啓発の趣旨により近くなってきたと思うが、今後は分野別応募数の目標設定等を行い、弱点を見つつけ手を打つなどに繋げるようにしてほしい。
R3	R4	R5	R6	R7																												
45																																
R3	A																															
R4	A:目標達成																															
R5	B:概ね達成																															
R6	C:少し下回った																															
R7	D:大きく下回った																															
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																															
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																															
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																															
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																															

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消						
基本目標	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう						
1	<p>事業名</p> <p>3 広報・啓発と情報発信(庁内向け)</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>庁内向け啓発・情報発信を通じ、男女共同参画やジェンダー平等、多様な性についての意識の浸透を図る。</p> <p>・庁内向け掲示板による情報発信</p> <p>・男女共同参画推進本部事務局推進委員会の活動推進</p> <p>・ALLY(アライ)の見える化推進</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>庁内における男女共同参画の意識の浸透、多様な性のあり方についての理解促進を図ることで、それらに配慮した施策の実施につなげる。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>・庁内向け掲示板での情報発信</p> <p>・男女共同参画推進本部事務局推進委員会の活動を行う。</p> <p>・ミニフラッグ、ピンバッジ等でALLY(アライ)の見える化を推進させる。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上(ほか全8項目増加)</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・男女共同参画推進本部事務局推進委員会の活動では、初めて動画による啓発を試みた。</p> <p>・職員研修時等に、参加者にいろいろのまちピンバッジを配付し、ALLYの見える化を呼びかけた。</p>	<p>R3</p> <p>R4</p> <p>R5</p> <p>R6</p> <p>R7</p> <p>845</p> <p>人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p>  	<p>評価基準</p> <p>A</p> <p>A:目標達成</p> <p>B:概ね達成</p> <p>C:少し下回った</p> <p>D:大きく下回った</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>・庁内向け掲示板で「にじいろのまち月間」と題し、全5回にわたり市の取組をPRした。</p> <p>・男女共同参画推進本部事務局推進委員会活動は、DVのない社会をめざして」をテーマに広報・啓発に取り組み、DV防止啓発パネルとDV防止啓発動画を作成した。活動報告は男女共同参画推進本部本部会、幹事会その他に掲示板にも掲載し、庁内に男女共同参画の意識の浸透を図った。</p> <p>・ALLYミニフラッグを市役所の各窓口や市内の小中学校に配置した。また、職員がにじいろのまちシンボルマークをモチーフにしたピンバッジを身に付け、ALLYの見える化推進に努めた。</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>・引き続き、庁内向け掲示板での情報発信と、男女共同参画推進本部事務局推進委員会の活動を行っていく。</p> <p>・ALLYの見える化推進について、ピンバッジ、ミニフラッグ以外の方法も検討する。</p>		
		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性</p> <p>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性</p> <p>・事業実施方法は適切か。</p> <p>・事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性</p> <p>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</p> <p>・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮</p> <p>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>・ミニフラッグは、話題の始まり、には良い。</p> <p>・職員がピンバッジをつけるということは自らが「ALLY」であることを宣言しているということであり、職員の理解がないとできないので良い取り組みだと思う。</p> <p>【課題等】</p> <p>・ミニフラッグとピンバッジが溢れすぎていて、一人一人が全てをちゃんと理解できているのだから。</p>			

取組の方向性		基本目標		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)										
1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	7	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<p>事業名 レインボースクール</p> <p>事業(概要) 外部講師を派遣し、教職員・保護者・児童生徒が「性の多様性」について学ぶ場を提供する。 トランスジェンダーの方から直接話を聞くことで、その人の生き様から「ありのままに生きることの素晴らしさ」を心で感じるとともに、自分自身を含む「性の多様性」について学ぶ。</p> <p>男女共同参画の視点からの目的 「多様な性のあり方」について学ぶことで、性別にとらわれることなく、自分らしさや一人一人の個性を尊重することの大切さを認識し、理解を深める。</p> <p>活動指標(目標) 市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)のうち、8校への派遣を目標とする。令和3年度は、高知県出身で京都市住のトランスジェンダー大久保さん招聘の予定。</p> <p>(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 (ほか全8項目増加)</p>	<p>具体的取組《工夫や配慮した点等》 4日間で8校の小中学校に対し、晝プロジェクト大久保さんらを講師として派遣し、性の多様性についてご自身の経験をもとに講話を行った。参加者は小学生・中学生・教職員を合わせ、合わせて1695名となった。 当初、1学期(6月)と2学期(10月)、それぞれ4校ずつだったが、1学期は新型コロナウイルス感染症による蔓延防止対策が講師側の居住地で発出されたため、10月に延期し10月前半、10月後半にそれぞれレインボースクールを実施することとした。 令和3年度の実施日 10/7(木)午前、午後の2校で実施 10/8(金) " " 10/28(木) " " 10/29(金) " "</p>	<p>評価基準</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> <tr><td>R7</td><td></td></tr> </table> <p>A</p> <p>A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った</p> <p>検証《達成状況, その要因》 性的指向・性自認について学ぶことのできる講師についての相談など、各学校からの相談が増えてきている。また、実施予定8校に対し、20数校から応募がある。 5・6年保健体育科において、性的指向・性自認についての記述があり、子どもたちは毎年、進学・進級し新しく学ぶ内容である。</p>	R3		R4		R5		R6		R7		<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》 本事業の初年度(R2)への申請が12校、2年目(R3)は15校、本年度が25校と年を追うごとに、申請をする学校が増加している。また、2年目は6校、3年目は10校のリポートでの申請がある。 これらの状況を踏まえ、より多くの児童生徒、保護者への啓発を進めるため、現在、木～金の午前、午後の4コマを年2回、計8コマ(8校)で実施している本事業を土曜にも開催できるようにし、12コマ(12校)で授業や講演等を開催できるようにする。 県内において自身の経験に基づき、啓発や講演活動に携わる方はまだまだごく少数である。今後も県内在住の性的指向・性自認に関する団体の方との連携も視野に入れ、児童生徒と直接出会う話をしたいだけの人材を発掘したいと考えている。</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百聞は一見に如かず。こういった活動を積み重ねていった方がより広まっていくと思う。 ・より多くの学校で講話が行われるとよい。 ・身近な体験により懸念の課題を学べる良さがあられるのではないかと。 ・効果判定のため、感想等を知らせてほしい。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もつと学校での講師派遣が必要。 ・要望20校に対し、実施8校はもつたない。講師の都合もあると思うが、予算流用も含めて柔軟に対応を。
R3																	
R4																	
R5																	
R6																	
R7																	
				<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <table border="1"> <tr><td>決算額(千円)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td></td><td>166</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>担当課 人権・こども支援課</p> <p>写真等</p>   <p>西部中で行われたレインボースクール</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		166					<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 <p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 <p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 <p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7												
	166																

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標 1	取組の方向性 ア	事業名 6 学校における男女平等教育の推進	No. 6	事業概要 ◆事業(概要) 学校における男女平等に関する学習や男女共同参画についての学習を推進するため、人権教育に関する情報提供や各学 校への指導・支援を行う。	R3 R4 R5 R6 R7	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	◆対応《改善、今後どのようにするか》 学校で行われる授業は、文部科学省の定め た学習指導要領を基準として、各学校で編成さ れた教育課程のもと、各教科、道徳、総合的な 学習、特別活動など標準授業時数に照らして 進められている。 本事業は、日々の授業に対し、人権課題の視 点との関連を考慮し、授業を構成し、児童生徒 への支援・指導を行うことを目的とするものであ る。 今後も、年次研や校内研等、様々な教職員 研修の場において、「女性」の13の人権課題の 一つとして「女性」の視点に触れ、教職員への啓 発を進めていく。
◆男女共同参画の視点からの目的 次代を担う子どもたちが、成長していく過 程において個性と能力を發揮できるよう、 男女共同参画について学び理解する機 会を提供するとともに、指導・支援してい く。	◆活動指標(目標) 市立小・中・義務教育・特別支援学校 (59校)において、男女平等や男女共同 参画を実現するための人権学習が計画・ 実践され、令和3年度末の人権教育実践 概要において「女性」の人権課題への取 組実績として記載される学校の割合を 100%とする。	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 例年、年間2回実施する人権教育主任研修会の 年度当初の会議にて、高知市の13の人権課題につ いて児童生徒の発達段階に合わせた学習計画を立 て、年度末には各学校で実践された内容を取りまと めた実践概要報告を作成し交流を行うことを提案し ている。 令和3年度第1回人権教育主任研修会は、蔓延 防止重点措置のため、高知市立小・中・義務教育 学校の人権教育主任を招集することができず、書面 の提案となった。 令和3年度に実施された、校内研修や年次研修等 での研修等において、人権教育は特別なことをする のではなく、すべての教育活動の中で行われるもの であることや、家庭科での「家族の役割」などの機会 に、男女平等の視点に留意し学習するなど、指導者 の少しの配慮により、様々な形で啓発が行われること を積極的に伝えていくようにした。	◆検証《達成状況、その要因》 市立小・中・義務教育学校(59校)において、男 女平等や男女平等参画を実現するための人権学 習が計画的に実践され、令和3年度末の実践概 要報告集において「女性」の人権課題への取組実 績として記載される学校の割合が100%であつ た。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・全ての学校が、「女性」の人権課題へ取り組ん で目標を達成している。 ・義務教育の期間で男女共同参画を実現する ための学習を推進している。			
					◆(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合 (全8項目):社会全体25%以上 ほか全 8項目増加	◆必要 性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆有効 性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。
◆算額 (千円)	R3 0	R4	R5	R6	R7		
◆担当課	人権・こども支援課						
◆写真等							
全178ページ							

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)							Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	1	ア	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	No.	事業名								◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・体育科・保健体育科における「性に関する指導」は、全校で実施されているものであるので、指導の進め方や他教科等との関わらせ方等、より良いものとなるよう支援していく。 ・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中ではあるが、体育科・保健体育科での指導をより深めるための方法として、外部講師を招いた指導や、人形等を用いた体験型学習の提案も引き続き行う。 ・養護教諭の研修会等で性に関する指導の取組を啓発する。	
				7	健康教育(性に関する指導)の推進	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される1年であったが、外部講師とオンラインでつなぎ、開催方法を工夫した学校もあった。 胎児人形や沐浴人形を用いた体験型学習を導入して、命の大切さを具体的に学習した。								
				◆事業(概要) 学校における「性に関する指導」について、体育科・保健体育科の他に生活科、理科、家庭科、道徳科等関連教科においても実施する他に、学校行事といった特別活動等、教育活動全体を通じて計画的に実施する。 子供たちの心身の発育・発達や性に関する内容について理解させ、健康づくりの大切さを認識させる。また、危険を回避するとともに、自らの健康を管理し、改善する能力を育てる。		R3	R4	R5	R6	R7	◆検証《達成状況, その要因》 男女が共に学習し、全員が胎児人形や沐浴人形を抱っこして体験することにより、男女の性差や家事労働の分担等の相互理解を図りつつ、一人一人を尊重する意識を深めた。			
										◆推進委員会の点検項目 【特に良かった点等】 意見なし				
				決算額(千円)	0						・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			
				担当課	学校教育課							【課題等】 ・事業の内容がどのよう取組、結果に結びついているのかが見えてこないように思う。		
				◆活動指標(目標) ・胎児人形やエプロンシアター等の教材を用いた体験型学習を促し、命の大切さを具体的に学習できるように指導・支援する。 ・養護教諭の研修会等で性に関する指導の取組を啓発する。		オンラインでの講話中								
				(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加										

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	1	ア	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	事業名		C		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 研修を受講しやすい環境を整えていく。 また, 各部署研修委員会とも協力しながら, 引き続き, 各種研修機関へ職員を派遣していく。	
				No.	8	市職員に対する研修	自課 評価		R3 R4 R5 R6 R7
◆事業(概要) こうち人づくり広域連合と連携し, 男女共同参画社会づくりに係る研修や人権研修を実施する。 また, 女性職員の能力開発や意識改革のため, 自治大学校や市町村アカデミーなど各種研修機関へ積極的に派遣する。				◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・こうち人づくり広域連合実施の研修へ対象となる職員を派遣し, 人権に関する啓発及び意識改革を行った。 ・派遣研修については, 各部署研修委員会から派遣職員の推薦を受け, 選考を行った。		◆検証《達成状況, その要因》 ○人権研修…階層別研修(一般研修131人, 新任係長54人), 人権研修推進員研修(82人), 職場人権研修(2,651人) ○男女共同参画セミナー…2年目課長補佐級職員研修(36人) ○派遣研修…国際文化アカデミー「女性リーダーのためのマネジメント研修」(1人) 男女の人権に対する啓発等の研修を実施した。人権研修推進員研修については, 毎年受講率が高く, 職場人権研修の実施に真剣に取り組み所属長の姿勢が伺える。ただし, 令和3年度はコロナ禍により, 職場人権研修が開催できなかった部署もあったため前年度より受講者数が大幅に低下した。また, 派遣研修はコロナ禍のため積極的に職員を派遣することができず, 目標を下回る結果となった。		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし	
◆活動指標(目標) ・こうち人づくり広域連合実施の階層別研修を受講することで, 各階層で男女の人権に関する啓発を継続する。 ・職員の意識改革のために, 男女共同参画セミナーへの2年目課長補佐級職員を派遣する。 ・女性リーダー職員育成のため, 研修機関等へ計画的に派遣することで女性職員の能力開発の機会を継続する。				◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効果性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		【課題等】 ・コロナ禍の影響は理解できるが, WEB研修なども検討を。 ・女性リーダー研修は良いが, 昇格の人事権を握っている人たちこそ, 男女共同参画の勉強が必要ではないか。総務や企画, 財務等での管理職登用が必要では。			
◆男女共同参画の視点からの目的 ・男女の人権に対する啓発等, 人権に対する市職員の意識啓発・能力発揮促進のために研修を実施する。 ・階層別研修や管理職の研修等に男女共同参画社会づくり研修を実施, 全職員また意思決定権限のある管理職員の意識改革を促す。				決算額(千円) 48			R3 R4 R5 R6 R7		
担当課 写真等				人事課					

基本目標	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																										
<p>1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう</p>	<p>取組の方向性</p> <p>7</p> <p>事業名</p> <p>ソールレにおける広報・啓発及び情報提供</p> <p>9</p> <p>◆事業(概要)</p> <p><広報・啓発> 情報紙「ソールレ・スコープ」発行(年4回), メールマガジン発行, SNSによる情報発信 <情報提供> 男女共同参画に関する図書・DVD・情報等を提供する。 図書・DVD購入, 図書団体貸出, 新聞クリップ</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら, 男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため, さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報紙 7,000部発行 ・メールマガジン発信件数 延べ2,500件 ・SNSによる情報発信 ・インプレッション数(Webページを閲覧することとで広告が表示された回数) FB 35,000 TW 200,000 ・図書貸出 6,500件 ・団体貸出先 3館 ・新聞クリップング 月2回更新 <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目): 社会全体25%以上 (ほか全8項目増加)</p>	<p>◆具体的取組<工夫や配慮した点等></p> <p><広報・啓発> ・ソールレスコープ発行(年4回) 各7,000部 ・メールマガジン発信件数 延べ4,210件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 7,769 Twitter インプレッション数 323,742</p> <p><情報提供> ・図書・DVD蔵書数 10,924冊・本 ・利用登録者数 8,099人(うち新規105人) ・図書団体貸出 15件 ・新聞クリップング 更新20回</p> <table border="1" data-bbox="901 1122 989 1615"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,854</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソールレ</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		5,854					<table border="1" data-bbox="287 589 478 1122"> <tr> <td rowspan="2">自課評価</td> <td>R3</td> <td rowspan="7">A</td> <td rowspan="7">評価基準 A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った</td> </tr> <tr> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>R7</td> </tr> <tr> <td colspan="3">◆検証<達成状況, その要因></td> </tr> <tr> <td colspan="3"> ・Facebookはインプレッション数ではなくリーチ数が提供されているため, 令和4年度から活動指標をリーチ数に変更する。 ・新聞クリップングは, 新型コロナウイルス感染症拡大により4回中止した。 </td> </tr> </table>	自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った	R4	R5	R6	R7	◆検証<達成状況, その要因>			・Facebookはインプレッション数ではなくリーチ数が提供されているため, 令和4年度から活動指標をリーチ数に変更する。 ・新聞クリップングは, 新型コロナウイルス感染症拡大により4回中止した。			<p>◆対応<改善, 今後どのようにするか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報発信 ・男女共同参画の担当職員向け研修「情報事業・広報事業担当者のための課題解決・実践研修」を受講し, 他センターと情報交換も行った。研修内容を踏まえ, ソールSNSの投稿のタイミング, ハッシュタグ等を工夫するとともに, 今後のSNS活用について検討した。 ・セミナーガイド(年2回発行)の印刷・配布を廃止し, ホームページ, SNS等, 他の媒体による広報を強化することとした。
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																									
	5,854																													
自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った																											
	R4																													
R5																														
R6																														
R7																														
◆検証<達成状況, その要因>																														
・Facebookはインプレッション数ではなくリーチ数が提供されているため, 令和4年度から活動指標をリーチ数に変更する。 ・新聞クリップングは, 新型コロナウイルス感染症拡大により4回中止した。																														

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
取組の方向性	ア	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消						
基本目標	1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう						
No.	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆ 検証《達成状況, その要因》		◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》		
10	男のセルフマネジメント講座	・男のセルフマネジメント講座 参加者数 会場8名, オンライン10名 開催日 11月20日(土) 講師: 西井開さん(Re-Design For Men 代表)		自課 評価 R3 R4 R5 R6 R7 評価基準 A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った		・「男のセルフマネジメント講座」を「男性家事・介護基礎講座」へ統合し、「男性家事・介護基礎講座」の実施回数を令和3年度の1回から令和4年度は2回に増やす。令和4年度のテーマは「介護」とし、男性介護者の経済的・肉体的・精神的な負担の軽減を図る。		
◆ 事業(概要)	男性の悩みや生きづらさに焦点を当て、性別役割分担意識に捉われない自分らしい生活を考える機会を提供する。	テーマ: 「いま、僕たちに必要なこと〜「男らしさ」というストレスから抜け出すために〜」		◆ 検証《達成状況, その要因》 ・満足度 8.6点(10点満点) ・「男らしさ」の定義を知り、その言葉に縛られることで生まれる生きづらさを考えるきっかけの講座となった。 ・講座後に行った会場受講者のみでのグループワークでは通常交流を持ちにくい男性同士でのコミュニケーションを楽しんでいる様子が見られた。				
◆ 男女共同参画の視点からの目的	男性の悩みや生きづらさを踏まえつつ、性別役割分担意識の解消と男女共同参画の意義についての理解促進を図る。	決算額(千円)	86	R3	R4	R5	R6	R7
◆ 活動指標(目標)	・男性のセルフマネジメント講座 参加者数20名	担当課	ソール					
(参考)関連する数値目標		写真等						

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)							Check(点検)		Action(見直し)			
基本目標	1	政策、方針決定過程における男女平等の促進		一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう							◆対応《改善, 今後どのようにするか》		◆推進委員会から点検コメント			
		<p>◆事業(概要)</p> <p>市が所管する各種審議会の女性委員比率の向上及び女性委員がいない審議会等の数を減少させるため、市内関係課へ調査、働きかけ等を継続的に行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>政策・方針決定過程への男女平等の促進により、多様な市民の意見を反映させることができる。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>委員の改選時期を迎える審議会等の担当課への働きかけを行う。 市内掲示板で女性の委員登用について働きかけを行う。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>市の審議会等で女性がいらない審議会数:0会</p>		<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内において審議会等への女性委員の登用について理解を求めため、男女共同参画推進本部本部会において、女性委員の登用及び取組状況を報告した。 <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員改選の時期を迎える審議会等の担当課にヒアリングを行った。ヒアリング時には担当課より審議会の専門分野に女性が少ない等の理由が挙げられた。 市内掲示板で女性委員の積極的な登用について呼びかけた。 							<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員改選の時期を迎える審議会等の担当課へのヒアリングを継続するとともに、あわせて女性委員の登用推進の必要性についても理解を深めてもらえるよう働きかけを継続していく。 		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>意見なし</p>			
		No.	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業がプランの数値目標に結びつくか。 <p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。 <p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 <p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の視点からの配慮があるか。 		<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性委員がいない、少ない審議会について、その理由を分析し継続的に検証すべきではないか。 審議会の開催時間が基本、就業時間で終わることも考える必要がある(そうでないと職員も委員も家庭責任があれば参加が困難)。 なぜ女性委員の登用が必要なのかをばっさりさせ、必要であれば根本的な取り組みが必要なのではないか。 					
		11	審議会等の女性登用の推進	0					<p>決算額(千円)</p> <p>0</p> <p>担当課</p> <p>人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p>		<p>評価基準</p> <p>A:目標達成</p> <p>B:概ね達成</p> <p>C:少し下回った</p> <p>D:大きく下回った</p>		<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員改選の時期を迎える審議会等の担当課へのヒアリングを継続するとともに、あわせて女性委員の登用推進の必要性についても理解を深めてもらえるよう働きかけを継続していく。 		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>意見なし</p>	

取組の方向性		基本目標		政策、方針決定過程における男女平等の促進			
1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	1	政策、方針決定過程における男女平等の促進				
Plan(計画) No. 事業名 12 各役段階に占める女性職員の割合の向上 ◆事業(概要) 高知市特定事業主行動計画に基づき、事務系の職種について男女の区別なく実績・能力に基づき、管理的地位への登用を行う。		Do(実施) ◆具体的取組(工夫や配慮した点等) ・令和3年3月に高知市特定事業主行動計画の見直しを行い、新たに令和3年度から令和7年度までの5年間の数値目標等を設定したところである。そのため、女性職員のキャリア形成やワークライフバランスに関する情報に加え、新たな特定事業主行動計画についても庁内掲示を活用して周知を図った。		Check(点検) R3 評価基準 R4 A:目標達成 R5 B:概ね達成 R6 C:少し下回った R7 D:大きく下回った ◆検証(達成状況, その要因) ○令和3年度の実績(女性職員の割合) ・部長副部长級:8.9% ・課長級:19.1% ・課長補佐級:46.8% ・女性職員の活躍のためには、長時間勤務の是正や男性の家事・育児等への参加、固定的性別役割分担意識の解消等が課題であり、女性職員に限らず広く職員全体への意識付けが必要であると考えている。そのためにも、引き続き庁内掲示を活用した積極的な情報提供に努めていきたい。		Action(見直し) ◆対応《改善, 今後どのようにするか》 特定事業主行動計画や、ワークライフバランスに関する情報等について、継続的に職員に周知を行うことにより、広く職員全体への意識付けを図っていく。	
◆活動指標(目標) ・女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報を庁内掲示により周知する。		人事課 写真等		◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし 【課題等】 ・係長級以上の割合は過去5年間変わらずかではあるが常に上昇しているが、課長級以上となると極端に下がっている。 ・意識づけや情報提供とともに、職員の方それぞれの特徴背景などを上司が面談等を通して共有していくことも大切。	
(参考)関連する数値目標 市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合:部長副部长14%以上 課長22%以上 課長補佐45%以上							

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性	1	政策、方針決定過程における男女平等の促進					
基本目標	1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう					
No.	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆ 検証《達成状況, その要因》		◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》	
13	女性リーダーの育成	・女性の活躍応援講座(連続講座) 参加者数 延べ69名 開催日 ①9月26日 ②10月17日 ③11月14日 参加者 ①22名 ②26名 ③21名 講師 平野智佐 (Office C Career代表) 第1回はロールモデルゲスト:野町道子(株)サニーマート 営業企画部 副部長 テーマ ①「コーチャングのコミュニケーションの基本」と「ファシリテーションの基礎」②「ファシリテーションの基本」③「新しいリーダーシップとは」		評価基準 R3 R4 R5 R6 R7 自課 評価 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った		・女性リーダー応援塾(全3回) 開催日 ①10月2日 ②10月23日 ③11月20日 講師 ①堀井利江(オフィスホリイ 代表) ②③小安美和(株式会社Will Lab 代表取締役) テーマ ①マインドアップセミナー「明日の私にご期待ください」②「しなやかで新しい女性活躍論」の講義 ③スキルアップセミナー「女性×はたらく」④「戦略的な」キャリアの構築や論理的思考・プレゼンスキルを学ぶ。 第1回(10月2日)は、会場だけでなくオンライン配信も行う。	
◆ 事業(概要)		・女性の活躍応援(連続講座) ファシリテーションやコミュニケーションのスキルを学び、必要に応じて自分のスキルを活用し、その場の運営にあたる力を養う。		◆ 検証《達成状況, その要因》 ・満足度 ①8.2点 ②8.5点 ③8.9点(10点満点) ・3回の連続講座をとおして、ファシリテーション力やコミュニケーション力を身に付けて、それぞれの職場や地域活動で活かし、リーダーシップの発揮につながっている。			
◆ 男女共同参画の視点からの目的		職場等で活用できるスキルやリーダーシップを発揮するために必要なことを学び、リーダーとしての資質を養うことで、男女共同参画に寄与する。		決算額 (千円) R3 91 R4 R5 R6 R7			
◆ 活動指標(目標)		・女性の活躍応援(連続講座) 参加者数 30名		担当課 ソーレ			
◆ (参考)関連する数値目標		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 (ほか全8項目増加)		写真等 			

Plan(計画)		Do(実施)							Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	1	政策、方針決定過程における男女平等の促進											
	1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう											
取得の方向性	イ												
事業名	No.	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》							R3	R4	R5	R6	R7
	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ソールスコープ第99号及びホームページに「女性が発言しやすい社会とは」を掲載 ・ホームページに「データで見えるここの男女共同参画2020」を掲載 											
◆ 事業(概要)		<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供及び啓発 											
◆ 男女共同参画の視点からの目的		<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供により、政治分野への女性の参画につなげる。 											
◆ 活動指標(目標)		<ul style="list-style-type: none"> ・情報紙等へ政治分野への女性の参画に関する情報を掲載し、啓発する。 											
(参考)関連する数値目標		<ul style="list-style-type: none"> ・男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上(ほか全8項目増加) 											
決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7							
担当課		ソール											
写真等													
◆ 検証《達成状況, その要因》		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から始めたWebアンケートの結果等も含め、これからも継続して情報提供・啓発を行う。 											
◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》		<ul style="list-style-type: none"> ・Webアンケートを実施し、アンケート結果をソールホームページ、情報紙「ソールスコープ」第102号に掲載した。 ・実施日 6月15日～7月15日 ・回答者数 273名 ・ホームページに「データで見えるここの男女共同参画2021」を掲載する。 											
評価		<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った 											
自課		A											

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性							
基本目標	2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう		DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実			
No.	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆ 検証《達成状況, その要因》		◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》	
15	人権啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●啓発活動 計31回 ●部落差別をなくす強調句間記念講演会 演題:「若者が語るイマドキの部落差別」 講師: 武田 緑さん 参加者 145名 ●部落差別をなくす強調句間地域講演会 演題:「ぬくもりを感じて」 講師: 中倉 茂さん 参加者 60名 ●企業向け講演会 演題:「インターネットと人権～企業が加害者にも被害者にもならないために～」 講師: 佐藤 佳弘さん 参加者 67名 ●人権の花運動(人権擁護委員との連携)実施 小学校等 10か所 ●サッカー, 野球冠協賛試合(高知県人権啓発センター主催)での啓発 計2回 ●出前講座 16回 計620名 		<p>R3</p> <p>R4</p> <p>R5</p> <p>R6</p> <p>R7</p> <p>自課 評価</p> <p>評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</p> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の中で女性の人権の観点から男女共同参画に関する啓発を行うことができた。 ・オンラインでの研修を実施することで, コロナ禍でも啓発活動を行うことができた。 ・出前講座では, 高知市が「にじいろのまち」をめざした取組についての依頼が多くあった。 		<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き出前講座等の啓発活動を行っていく。その中でオンライン開催等, 状況に応じた手法を検討する。 	
◆ 事業(概要)	人権尊重の意識を高める啓発活動を実施する。(講演会, 関係機関と連携した人権啓発, 出前講座など)	◆ 男女共同参画の視点からの目的		◆ 推進委員会の点検項目		◆ 推進委員会から点検コメント	
		市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め, 社会全体の人権意識の高揚をはかる。		<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 <p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。 <p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 <p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 		<p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にじいろのまち」の取り組みについての依頼があったということは, 主体的な取り組みが実を結んでいると評価できる。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる講演会を年5回以上を目標にしつかり実施しているが, ここに男女共同参画の視点があれば, 目的に合致する。 	
◆ 活動指標(目標)	講演会等の啓発活動を年5回以上とする。	決算額(千円)	1,691	担当課	人権同和・男女共同参画課	写真等	
(参考)関連する数値目標	DVを内容まで知っている人と答えた人の割合:70%以上						

基本目標		取組の方向性			
2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	7	DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実		
Plan(計画)					
No.	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》			
16	DV防止啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展では、男女共同参画推進本部事務局推進員の活動として新に作成した「DVってヒトゴトじゃない」のパネルを展示した。 ・DVカードの設置場所として、2021年4月から2か所の授乳室も新たに追加した。 ・新しい啓発手段として、高知市男女共同参画推進本部事務局推進員において、DV防止啓発動画を作成し(高知市公式Youtubeチャンネル、Youtube視聴回数174回 R4.5.16現在)、能楽山ビジョンや庁内デジタルサイネージ等での放送をした。 			
◆ 事業(概要)					
<ul style="list-style-type: none"> ・DVIに関する相談先の周知に努める。 ・DVIについて正しい知識を持てるよう、若年層への啓発に努める。 					
◆ 男女共同参画の視点からの目的					
DV等について正しい認識を持てるよう、若年齢期からの啓発に努める。					
◆ 活動指標(目標)					
DV等の防止啓発のために、パネル展開催(年1回以上)、パンフレット・ティッシュの配布(2,800枚(個))、庁内トイレへのDVカードの設置(37箇所)を継続する。					
(参考)関連する数値目標					
DVを内容まで知っている人と答えた人の割合:70%以上					
Do(実施)					
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7
560					
担当課	人権同和・男女共同参画課				
写真等					
Check(点検)					
自課評価	R3	R4	R5	R6	R7
◆ 検証《達成状況、その要因》					
<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展開催(11月15日～12月3日、市役所本庁舎1階北側通路) ・パンフレット 43枚、ポケットティッシュ 1,179個の配布 ・DVカードを39か所に設置。 ・ポケットティッシュに比べ、パンフレットの配布数が少ないので、配布方法について工夫できないか、検討する。 					
Action(見直し)					
◆ 対応《改善、今後どのようにするか》					
<ul style="list-style-type: none"> ・ポケットティッシュに比べ、パンフレットの配布数が少ないので、配布方法について工夫できないか、検討する。 ・従来からの啓発手段に加え、新たに作成した啓発動画を効果的に利用できる方法も研究し、啓発を継続する。 					
◆ 推進委員会から点検コメント					
【特に良かった点等】					
<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展、動画、SNS等、手段を考え、多様な媒体を使った取り組みがされている。 ・動画の作成、放映は従来アプローチできなかった人々へ届けられた可能性がある。 					
【課題等】					
意見なし					
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 				
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 				
工夫・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 				

<p>基本目標</p> <p>2</p>	<p>DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実</p> <p>DVやハラスメントのない社会をつくりましょう</p>	<p>取組の方向性</p> <p>ア</p>	<p>Plan(計画)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="284 1615 475 2063"> <p>No.</p> <p>17</p> </td> <td data-bbox="284 1122 475 1615"> <p>事業名</p> <p>DV・デートDVに関する啓発及び情報提供</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="475 1122 1461 1615"> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発(講演会, 出前講座) <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>DVの防止を広く県民に啓発するために講演会や出前講座を実施する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会(オンライン配信) 参加者数 40名 出前講座 10件 <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると答えた人の割合: 70%以上</p> </td> </tr> </table>	<p>No.</p> <p>17</p>	<p>事業名</p> <p>DV・デートDVに関する啓発及び情報提供</p>	<p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発(講演会, 出前講座) <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>DVの防止を広く県民に啓発するために講演会や出前講座を実施する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会(オンライン配信) 参加者数 40名 出前講座 10件 <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると答えた人の割合: 70%以上</p>		<p>Do(実施)</p>	<p>◆具体的取組(工夫や配慮した点等)</p> <ul style="list-style-type: none"> DV防止啓発講演会 参加者数 会場59名(うち男性9名) オンライン80名 実施日 11月7日 講師 北仲千里(NPO法人 全国女性性シエ ルターネット共同代表) 出前講座 県外講師 1件 ソーレ職員講師 2件 DV加害者プログラム体験ワークショップ 参加者数 11名(うち男性5名) <table border="1"> <tr> <td>決算額 (千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>338</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課</p> <p>ソーレ</p> <p>写真等</p> 	決算額 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7		338					<p>Check(点検)</p>	<table border="1"> <tr> <td>自課評価</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>評価基準</p> <p>A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った</p> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> DV防止啓発講演会は、非常時に社会的弱者の声を置き去りにされないように、女性に対する暴力の根絶を目指す活動に尽力されている講師に依頼した。参加者からは「第一線で活躍されている講師から具体的な話が聴けた」と好評だった。 出前講座は、20件23回実施し、うちDVVに関するものは3件。引き続き広報を積極的に進める。 DV加害者プログラム体験ワークショップは、別事業の講師を依頼した際に提案され実施した。新型コロナウイルス感染症拡大により、急遽オンライン開催に変更した。 	自課評価	R3	R4	R5	R6	R7							<p>Action(見直し)</p>	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> DV防止啓発講演会 実施日 11月13日 講師 高山直子(カウンセラー) 会場・定員 うち男女共同参画センター「ソーレ」100名、四万十市社会福祉センター50名(ライブ視聴) 会場だけでなくオンライン配信も行う。 出前講座については、他の男女共同参画センターの取組を参考に、チラシを見直す。また、ホームページ再構築により、広報の改善・手続きの簡素化を図る。
<p>No.</p> <p>17</p>	<p>事業名</p> <p>DV・デートDVに関する啓発及び情報提供</p>																																					
<p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発(講演会, 出前講座) <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>DVの防止を広く県民に啓発するために講演会や出前講座を実施する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会(オンライン配信) 参加者数 40名 出前講座 10件 <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると答えた人の割合: 70%以上</p>																																						
決算額 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																	
	338																																					
自課評価	R3	R4	R5	R6	R7																																	

基本目標		取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	ア	<p>事業名 児童虐待予防推進事業</p> <p>No. 18</p> <p>◆事業(概要) ・要保護児童の早期発見や適切な対応を図るために、関係機関、関係団体及び児童の福祉に關連する職務に従事する者等により構成される「要保護児童対策地域協議会」において、当該児童に關する情報や支援についての考え方を共有し、適切な連携のもとで対応する。</p> <p>・児童虐待問題に対する深い関心と理解促進。また、虐待の発生予防、早期発見・早期対応推進のため、児童虐待対応研修の実施や、広報紙、講演等を通じて、継続的な広報・啓発活動を行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 子どもがいる家庭におけるDVは、児童の人權を著しく侵害し、その心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えたとともに、将来の世代の育成にも懸念を及ぼす問題であり、関係機関等が連携しつつ、適切な対応に努める必要がある。</p> <p>また母親が被害者である場合、長期の支配下で依存傾向が強く、判断能力の低下や、経済的自立に段階的な対応が必要な場合があり、特に女性相談支援センターや母子生活支援施設との連携が重要となる。</p> <p>◆活動指標(目標) ・実務者会及び新規ケース連絡会を毎月開催し、関係機関との情報共有や援助方針の見直し等を行うことにより、要保護児童等への適切な支援を図る。 ・児童虐待についての正しい理解と認識を深めることができるよう、児童虐待予防講演会(年1回)を実施する。</p> <p>(参考)関連する数値目標 DVを内容まで知っている人と答えた人の割合:70%以上</p>	<p>◆具体的取組(工夫や配慮した点等) 要保護児童対策地域協議会の実施(実務者会議年24回・新規ケース連絡会年12回・代表者会議年1回・個別ケース会議年205回)を開催し、児童虐待予防をメインとして男女の人權尊重にも触れた。</p> <p>・児童虐待予防講演会を、令和3年11月7日に開催。(参加者84名、アンケート回収率90%) ・明確な町の広報誌以外に、各関係機関へのチラシの配布し、HP、facebook、ケーフルテレビ等を利用し、積極的に呼びかけし参加者を募った。</p> <p>・関係機関に対し、児童虐待対応研修等を実施。(延べ9回、延参加者164名)また、併せて子育て支援研修も行った。</p>	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>自課 評価 B</p> <p>評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》 講演会のテーマ「はじめに伝える性教育」は、参加者が偏ることが予想されたが、男性の参加者もあり、男女共同参画の観点からも一定の理解を得ている。</p> <p>児童虐待対応研修においては、児童虐待対応にかける発生予防、早期発見・早期対応推進がメインとなっている。子育ての部分では、日頃からの子育て母だけではなく父についても積極的な関わりを持つことも理場では、伝えておりエンゲージングについても触れる等して意識啓発していくことを努めていくことも必要と考えている。</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》 令和4年度も引き続き講演会を通しての一般市民向けへの児童虐待予防の啓発と関係機関への児童虐待対応研修を行い、また、必要に応じて子ども家庭支援センター職員が関係機関へ出向いて研修を行う出前講座の対応も行うこととしており、力を注ぎ対応していく。</p> <p>昨年度は性暴力被害者支援センターひょうご理事事長を招き、性教育の大切さから始まり性的虐待等の予防へ繋がる講演を行った。毎年市民向けの講演会テーマは変更し、今年度はヤングケアラーをテーマとしている。社会課題として周知求められ、多くの市民に問題を認識してもらい、声が上り、多く市民に問題を行政として把握し、必要な支援つなげるようにしていく。</p> <p>講演会は市民向けとして、広く参加者を募っているため、形式は講演会の講師の先生へ一任しているが、今後はより充実した講演にするために啓発方法は講師とも協議していく。関係機関への虐待対応研修では、事例を上げて積極的にワーキングショップ形式も行い、関係職員の対応力の向上を図っている。今後も継続していくこととしている。</p>
			<p>決算額 (千円) 846</p> <p>担当課 子ども家庭支援センター</p> <p>写真等 </p> <p>令和3年度児童虐待予防講演会</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の観点からの配慮があるか。</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし</p> <p>【課題等】 ・もっと力を入れるべき。 ・講演会テーマは子育て・性教育に關する男女共同参画としては大事故だが、児童虐待予防のテーマとして適切なものか、という点で疑問。 ・児童虐待防止は、大きな講演会で何かを学ぶ、というところで進捗する段階なのか疑問。今は、いろいろなるころで児童虐待が起きており、市民として何ができるのかという段階のように思う。特定の児童虐待の事例を振り取り、参加者一人ひとりが考えを出し合い、皆で討論するワーキングショップのような形の啓発方法なども検討すべきではないか。</p>	

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)																								
基本目標	1	取組の方向性																												
	2	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援																												
事業名	No.	事業名																												
	20	人権全般における相談体制の充実																												
◆事業(概要)		<ul style="list-style-type: none"> 様々な人権問題についての相談に応じ、関係機関と連携し必要な支援を行う 特設人権相談所の開設 相談にあたる職員の人権の向上を目的に各種研修会へ参加する 		<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権相談 42件(うち、DVIに関するもの15件) 必要に応じ、専門の窓口を案内した。 職員が各種研修へ参加(人権啓発指導者養成研修会、県主催犯罪被害者等支援研修会他)し、資質向上を図った。 特設人権相談(人権擁護委員による相談)について市ホームページでの案内した。 人権擁護委員の周知を目的に、6月1日「人権擁護委員の日」に合わせ、市本庁舎1階で啓発活動を行った。 		<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き研修等に参加し、職員の資質向上に努める。 人権擁護委員と連携し、人権の花や「人権擁護委員の日」などの啓発活動を行っていく。 																								
◆男女共同参画の視点からの目的		<ul style="list-style-type: none"> あらゆる人権課題の解決とすべての人の人権が尊重される社会の実現を目指す。 		<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修等を通じて、職員の資質向上を図ることができ、人権相談に対しても適切に対応できた。 																										
◆活動指標(目標)		<ul style="list-style-type: none"> 人権相談の受付、必要な機関につなげる。 研修等を通じて相談にあたる職員の資質向上及び相談窓口の周知を図る。 法務局人権擁護委員と連携し、市民からの予約に応じて特設人権相談所を開設する。 		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td colspan="5">人権同和・男女共同参画課</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td colspan="5">写真等</td> </tr> </table>		必要性	R3	R4	R5	R6	R7	効率性	15					有効性	人権同和・男女共同参画課					工夫・配慮	写真等					<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】 意見なし</p>
必要性	R3	R4	R5	R6	R7																									
効率性	15																													
有効性	人権同和・男女共同参画課																													
工夫・配慮	写真等																													
◆活動指標(目標)		<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVIについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>		<p>【課題等】 意見なし</p>																										

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)
取組の方向性						
基本目標	2	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援				
		DVやハラスメントのない社会をつくりましょう				
		◆事業(概要) ・緊急かつ重大な被害を未然に防止するため、スムーズな庁内・庁外の連携を図る。 ・相談者の安全に配慮し、DV等被害者支援の知識や能力を持つ職員育成に務める。		◆検証《達成状況, その要因》 ・庁内担当者間で情報漏えいのリスクについて情報共有し、連携を深めることができた。 ・庁内だけでなく庁外の機関である女性相談支援センターとも連携を図ることができた。		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・引き続き庁内関係各課と密に連絡を取り合い、情報共有することで、連携を深める。 ・女性相談支援センター等の庁外機関とも連携を図っていく。
		◆男女共同参画の視点からの目的 ・被害者が配偶者等からの暴力で心身ともに傷ついていること、個別の状況があることに留意し、その人の立場に配慮した対応を徹底する。不適切な対応により被害者に更なる被害(二次的被害)が生じることのないよう配慮する。		◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
		◆活動指標(目標) ・令和2年3月に発生したDV被害者情報の漏えいについて、原因等を検証し、庁内会議の場で共有し、再発防止に努める。 ・DV被害者を支援する関係各課との連携、情報共有を図る。		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・4月に会議を開催し、情報漏えいについて原因や再発防止策を庁内で共有した。 ・女性相談支援センターの行政向け出張講座(11月10日)を受講し、女性相談支援センターと情報交換することができた。		◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし 【課題等】 ・前年度末に発生した情報漏洩への対策が中心だが、計画した対策を行ったからA評価ということではよいのか。
		◆活動指標(数値目標) DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下		評価基準 A R3 R4 R5 R6 R7 自課評価		
		決算額(千円) 0		担当課 人権同和・男女共同参画課 写真等		
		必要性		効果性		
		有効性		工夫・配慮		

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	取組の方向性	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援					
	2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう					
1	No.	事業名		R3 R4 R5 R6 R7		評価基準	
	22	相談事業(DVIに関するもの)		0		A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	
◆事業(概要)		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆検証《達成状況, その要因》		◆対応《改善, 今後どのようにするか》	
<ul style="list-style-type: none"> 女性対象:一般相談(開館日)のうち, DVIに関する相談 		<ul style="list-style-type: none"> 女性対象相談2,066件のうち, 暴力に関する相談74件。必要に応じて関係機関と連携した。 		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大のため, 一般相談(面談)を8/20~9/26, 2/12~3/6中止した。 		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大のため, 8/18~9/16一般相談の面談を中止し, 電話のみの対応とした。 専門相談(法律相談, こころの相談, 男性のための悩み相談)は, 実施場所を面談室から講習室等の広い部屋に変更のうえ継続して実施している。 	
◆男女共同参画の視点からの目的		◆活動指標(目標)		決算額(千円)		写真等	
DVIに関する相談を通じ, DV被害を早期に発見し, 支援につなげる。		総合的な窓口として, 相談に応じるとともに, DV支援関係機関と適切に連携する。		R3	R4	R5	R6
		ソール		0			
		担当課					
		写真等					
							
		ソール					

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	1	取組の方向性		DV・性犯罪等暴力の被害者への支援			
	2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう					
事業名	No.	事業名		R3		◆対応《改善, 今後どのようにするか》	
	23	相談体制の充実		R4		・相談員スキルアップ研修 開催日 ①9/3 ②10/15 ③12/11 講師 ①原ミナ汰(NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク共同代表理事) ②川竹佳子(高知弁護士会「性の平等委員会」委員/弁護士) ③中塚幹也(岡山大学ジェンダークリニック医師/岡山大学大学院保健学研究科教授/GID(性同一性障害)学会理事)	
◆事業(概要)	相談関係者に対する研修・啓発		R5		A:目標達成		◆検証《達成状況, その要因》
	相談員スキルアップ研修		R6		B:概ね達成		
相談関連講座		R7		C:少し下回った		・相談員スキルアップ講座は、難しい内容を専門家の立場から解りやすく丁寧に説明して頂き、児童相談所や大学の保健管理センターなど新たな職場から様々な職種の参加者を獲得できた。	
◆男女共同参画の視点からの目的		社会的な中で女性が行われている立場を理解し、ジェンダーに敏感な視点からの相談業務ができるようにする。		R7		・相談員が知っておきたいLGBTs支援のための方への対応と多職種連携 ・相談関連講座 令和3年度の1講座から令和4年度は3講座に増やす。①よりよい関係を築くコミュニケーション講座(7/31, 8/7), ②アンガーマネジメント(2月)(予定), ③女性の居場所づくり「ゆるりしつぽ」(6/6, 7/11, 9/26, ほか2回)	
◆活動指標(目標)		相談員スキルアップ研修 参加者数 100名 相談関連講座 参加者数 20名		R3			
(参考)関連する数値目標		DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下		R4			
◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		相談員スキルアップ研修 参加者数 84名(うち男性11名) 相談関連講座 参加者数 22名		R5			
決算額(千円)		378		R6			
担当課		ソーレ		R7			
写真等							

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
基本目標	2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう		あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実					
	ウ	取組の方向性							
事業名		◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 (1)動画視聴による研修 【対象】全職員 【視聴期間】10月4日(月)～11月12日(金) 【内容】性の多様性の基礎知識等のe-ラーニング動画(渋谷区作成) (2)オンライン研修 【講師】永田 龍太郎さん(渋谷区男女共同参画・ダイバーシティ推進課課長) 【日時】11月18日(木)15:00～16:30 【対象】各部署から推薦の職員50名 【内容】(1)の動画研修を受けて挙げられた質問について講師が解説する質疑応答形式 →LGBTQを含めた様々な多様性を理解し行政運営につなげていくことが大切だと感じたなど多くの気づきを得て、さらに理解を深めることができた。		◆ 検証《達成状況, その要因》 ・動画による研修のアンケート回答数(参加者数)480件 →SOGI(性的指向・性自認)について理解が深まったかという問いに対し、非常に深まった39.4%、少し深まった53.8%で、合わせて93.2%であった。 ・オンラインで実施することで、多くの職員が受講することができ、職員のSOGIに対する理解が深まった。		◆ 推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効果性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・アンケートを実施し、分析している点は良かった。 ・動画視聴による研修を全職員を対象にしているところがよい。 【課題等】 ・理解不足の職員の失言や行動で制限をうけないよう更なる理解促進を図ってほしい。	
No.		◆ 事業(概要) 多様な性のあり方に関して理解を促進するための職員研修の実施		◆ 男女共同参画の視点からの目的 生物学的な性別、性自認、性的指向に関わらず、個人として尊重され、その個性と能力を発揮する機会が確保される社会づくりを目指す。		◆ 活動指標(目標) 研修アンケートにおいて、理解が深まったと回答した割合 9割以上			
25		SOGI職員研修		◆ 活動指標(数値目標) (参考)関連する数値目標 セクシャル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上					
No.		200		R3 R4 R5 R6 R7		R3 R4 R5 R6 R7			
担当課		人権同和・男女共同参画課		写真等		 <p>オンライン研修の様子及び感想コメントの共有</p>			

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)					
基本目標	取組の方向性	あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実									
	2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう									
事業名	No.	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》									
	26 出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ・県外講師 1件1回 参加者数 59名(うち男性28名) ・サポーター講師 3件5回 参加者数 252名(うち男性228名) ・職員講師 2件2回 参加者数 294名(うち男性125名) 									
事業(概要)	◆検証《達成状況, その要因》										
	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター講師によるハラスメント防止に関する出前講座の実施。 ・出前講座を20件23回実施し, うちハラスメント(DV含む)に関するものは6件8回。引き続き広報を積極的に進める。 ・サポーター講師の発掘(分野の拡大, 地元講師等)を図り, 広報によるニーズ掘り起しを必要がある。 										
活動指標(目標)	◆活動指標(目標)										
	要請に応じて出前講座講師を派遣する。										
数値目標	(参考)関連する数値目標										
	セクシャル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合: 70%以上										
No.		R3		R4		R5		R6		R7	
29		29									
担当課		ソーレ									
写真等											
評価基準		<ul style="list-style-type: none"> A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った 									
自課評価		<ul style="list-style-type: none"> R3 R4 R5 R6 R7 									
Action(見直し)		◆対応《改善, 今後どのようにするか》									
		<ul style="list-style-type: none"> ・他の男女共同参画センターの取組を参考に, チラシを見直す。 ・ホームページ再構築により, 広報の改善・手続きの簡素化を図る。 									

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	2	あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう					
	ウ	あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実					
取組の方向性	あ						
事業名	No.	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・にじいろコール相談件数 12件					
	27	性的少数者に関する電話相談					
◆ 事業(概要)	にじいろコール(LGBTsに関する相談) 毎月第4土曜日 13:30~16:30 専用電話番号で専門の相談員がLGBTなどの相談を受ける。						
	◆ 男女共同参画の視点からの目的 性的少数者を対象にしたLGBTsに関する相談を実施し、多様な性への理解を深める。						
◆ 活動指標(目標)	相談件数 36件						
	(参考)関連する数値目標 -						
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	218	
担当課	ソーレ						
写真等							
評価	R3	D					
	R4	評価基準					
自課	R5	A:目標達成					
	R6	B:概ね達成					
評価	R7	C:少し下回った D:大きく下回った					
	◆ 検証《達成状況, その要因》 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、にじいろコールを8/20~9/26, 2/12~3/6中止した。 ・令和3年度は試行的な実施であり、令和4年度からはより周知を図るため広報を積極的に進める。						
◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》 ・令和4年度から「専門相談」と位置づけ、本格実施とした。毎月初と相談日直前の2回、SNSで広報している。 ・県の「新型コロナウイルス感染症対応の目安」におけるステージに関わらず、継続して実施している。							

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性	ア						
基本目標	3	ワーク・ライフ・バランスの推進		家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう			
No.	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・表彰企業の募集では、チラシ配付のほか、商工会議所や青年会議所等の関係団体へも周知を依頼し、市内事業者に対し、事業を広く広報した。		◆ 検証《達成状況, その要因》 ・表彰企業数 8社(応募8社)。8月2日に本庁舎特別応接室にて表彰式を実施した。 ・表彰結果を市広報紙や労働ニュース等に掲載し、表彰企業をPRするとともに、市内事業者に男女共同参画推進を図った。		◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》 ・企業表彰を通じて、市内事業者に男女共同参画の取組を浸透させていくことができるよう、応募企業数の確保に努める。	
28	男女共同参画推進企業表彰	◆ 事業(概要) 「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」に基づき、男女共同参画の推進に關する活動を積極的に実施している事業者を表彰し、市内事業者の男女共同参画推進を目指す。		◆ 推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・応募企業が指標を上回っており、周知に努めている。 ・表彰制度があることで活動意欲がでる。 ・事業がある程度定着してきたと思われる。 【課題等】 ・表彰企業は大手が多く、中小企業にハードルが高い。そこで、従来の基準とは別に自薦・他薦できるようにしてはどうか。	
		決算額(千円)	R3 28	R4	R5	R6	R7
		担当課	人権同和・男女共同参画課				
		写真等					
		◆ 男女共同参画の視点 育児・介護休業制度の充実やワーク・ライフ・バランスの推進、女性活躍を支援する取組などを積極的に実施している事業者を表彰することで、働く場におけるジェンダー平等の意識向上を図る。					
		◆ 活動指標(目標) 表彰企業数 3社以上					
		(参考)関連する数値目標 高知市男女共同参画推進企業の表彰企業数:毎年3社以上					

取組の方向性		基本目標		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
3	7	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう		ワーク・ライフ・バランスの推進		<p>事業名</p> <p>29 男性職員の子育て参加の促進</p> <p>事業(概要)</p> <p>男性職員の育児休業等の取得促進を図るとともに、子育てに理解ある職場風土の形成を図るため、子育てや関係する各種制度について職員への継続的な情報提供を行う。</p> <p>男女共同参画の視点からの目的</p> <p>男性職員が積極的に育児に参加することで、女性が仕事と子育ての二者択一を迫られる状況の解消につながる。</p> <p>活動指標(目標)</p> <p>子どもが生まれた男性職員とその所属長に対し、男性職員が取得できる休暇や共済組合の給付制度についての周知文書を送付する。</p> <p>育児休業を取得した男性職員の名簿や、子育てに関する情報提供について、庁内掲示により情報提供を行う。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市男性職員の育児休業取得率: 36%以上</p>		<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>評価基準</p> <p>A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った</p> <p>検証《達成状況, その要因》</p> <p>令和3年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性職員育児休業取得率: 17.9% 配偶者出産時特別休暇取得率: 83.9% 育児参加特別休暇取得率: 51.8% <p>職員への継続的な情報提供により、男女問わず育児に関する制度等について職員間で共有されてきている。</p> <p>男性職員の子育て参加の促進のためには、子どもが生まれた男性職員本人への動機付けだけでなく、上司や同僚等の理解も重要であることから、庁内掲示等を活用し広く周知を行っていく。</p>		<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>令和4年度は育児に関する休暇制度や給付制度の見直しが予定されているため、変更点等について職員全体に周知を行うとともに、子どもが生まれた男性職員に対して送付しているパンフレットについても見直しを図ることにより、積極的に情報提供を行っていく。</p>	
				決算額(千円)	0	R3 R4 R5 R6 R7		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業がプランの数値目標に結びつくか。 <p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。 <p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 <p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の視点からの配慮があるか。 	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地道に頑張っている。 給付制度についてまとめたパンフレット作成。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の取得状況を日々または月で把握しているのか。また、対象者の把握はできているのか。 男性を含め、組織の働き方そのもの(休暇がとれる、突然の残業はなくてよい仕事の進め方等)も、ともに考えていく必要がある。 		

基本目標		取組の方向性																	
3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	7	ワーク・ライフ・バランスの推進																
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <h3>Plan(計画)</h3> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>30</td> <td>「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充</td> </tr> </table> <p>◆事業(概要) 平成18年度から発行している「高知市労働ニュース」で労働関係の施策について周知を図る。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 働きたい人が性別にかかわらずその能力を十分に発揮できるように、労働者や事業者に対して法や制度の周知を図る。</p> <p>◆活動指標(目標) ・「高知市労働ニュース」を年4回発行し、情報誌への折込や労働組合等に配布するとともに、市ホームページに掲載し幅広く広報を図る。 ※配布先:情報誌「情報プラットフォーム」:1000部,労働組合:200か所</p> <p>(参考)関連する数値目標 高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数:毎年3社以上</p> </div> <div style="width: 70%;"> <h3>Do(実施)</h3> <p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 中小企業等に対する助成制度を中心に、労働関連法の改正等の情報を掲載した。できるだけ多くの方に読んでいただけるように、読者目録に興味を引く内容となるよう心がけた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 産業政策課 写真等</p>  </div> </div>				No.	事業名	30	「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充	予算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		9				
No.	事業名																		
30	「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充																		
予算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7														
	9																		
<h3>Check(点検)</h3> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">評価基準</th> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A:目標達成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B:概ね達成</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>C:少し下回った</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況,その要因》 年4回発行(令和3年度の主な内容) 6月号:テレワーク導入支援事業費補助金ほか 9月号:改正高年齢者雇用安定法の施行について、令和3年度高知市男女共同参画推進企業表彰式ほか 12月号:高知市技能功労者表彰式、高知労働局との雇用対策協定の締結ほか 3月号:育児・介護休業法の改正、にじいろのまち ALLY募集ほか</p>				評価基準		R3	B	R4	A:目標達成	R5	B:概ね達成	R6	C:少し下回った	R7	D:大きく下回った				
評価基準																			
R3	B																		
R4	A:目標達成																		
R5	B:概ね達成																		
R6	C:少し下回った																		
R7	D:大きく下回った																		
<h3>Action(見直し)</h3> <p>◆対応《改善,今後どのようにするか》 令和4年度についても、引き続き労働ニュースを発行し、雇用、労働の制度改正に関するニュースを中心に、時宜に合った情報を届ける。</p> <p>◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし</p> <p>【課題等】 意見なし</p>																			

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性	ア	ワーク・ライフ・バランスの推進					
基本目標	3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう					
No.	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・男性家事講座 参加者数 9名 実施日 1月23日 講師 雨森学(「食空間クード・パレーヌ」オーナーシェフ)		C		◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》 ・「男のセルフマネジメント講座」を「男性家事・介護基礎講座」へ統合し, 「男性家事・介護基礎講座」の実施回数を令和3年度の1回から令和4年度は2回に増やす。令和4年度のテーマは「介護」とし, 男性介護者の経済的・肉体的・精神的な負担の軽減を図る。	
31	男性対象家事の基礎講座の開催			R3 R4 R5 R6 R7			
◆ 事業(概要) ・男性家事講座 男性の家事への参画を促進し, 男女の性別役割分業についての気づきや, 家庭生活を含めたワーク・ライフ・バランスの充実について考える機会を提供する。				◆ 検証《達成状況, その要因》 ・満足度 9.3点(10点満点) ・急な新型コロナウイルス感染症拡大によりキャンセルが多くなった。 ・普段あまり料理をしていない男性を対象の料理講座を実施し, 家庭でも実践してみようというきっかけづくりになることを考えた。性別役割分担や男女の平等意識の違いなど, 資料を配布して説明する時間を設けた。			
◆ 男女共同参画の視点からの目的 男性の家事・育児への参加を促進し, 男女の性別役割分業への気づきや, ワーク・ライフ・バランスについての認識を深める。				R3 R4 R5 R6 R7			
◆ 活動指標(目標) ・男性家事講座 参加者数 16名		決算額(千円)		27			
		担当課		ソール			
		写真等					
(参考)関連する数値目標				-			

基本目標	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
3	<p>取組の方向性</p> <p>1</p> <p>事業名</p> <p>33 ファミリー・サポート・センター事業</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>子育てと仕事の両立支援を主な目的とした有償ボランティアによる相互援助活動。育児の援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(援助会員)が会員となり、ファミリー・サポート・センターが仲介。事業は(公財)高知勤労者福祉サービスセンターに委託して実施。</p> <p>援助内容は、保育施設、学校等への子どもの送り迎え、保育施設の間外や学校の放課後等、また保護者の病気や冠婚葬祭等の雇用時の子どもの預かり など。援助会員になるためには、所定の講習の受講が必要。</p> <p>利用料は援助活動終了後、依頼会員が援助会員に直接支払う仕組み。利用料⇒600円～700円/時間(曜日や時間により異なる)</p> <p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>就労形態の多様化や共働き家庭の増加等を踏まえ、仕事と家庭生活の両立を支援していくことで、男女がともにいきいきと社会参加できる環境づくりに寄与する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 1,300人 ・新規会員数 50人/年 <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>援助会員募集及び講習会案内を市広報誌に掲載するほか、地域の窓口センターや地域子育て支援センターに会員募集のチラシやファミリー・サポートセンターの広報誌を配置してもらい、広く周知を行った。</p> <p>また、令和3年度初の試みとして、2か所の地域子育て支援センターでの事業説明会を実施。参加者の9割が会員登録につながるなど、大きな成果をあげた。</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、援助会員の受講が必須である講習会の回数が減り、十分な援助会員の増にはつながらなかった。しかしながら、援助を必要としている人のマッチングには支障がない範囲であった。今後も、援助を希望する人や援助したい人に情報を届けることができるよう広報方法等の工夫・検討を行う。特に、令和3年度から開始した地域子育て支援センターでの事業説明会を継続して行い、必要な人に届く周知に努めたい。</p> <p>依頼会員登録者数727人(男性36人、女性691人)、3年度新規登録79人(男性6人、女性73人)。援助会員登録者数443人(男性28人、女性415人)、3年度新規登録9人(男性2人、女性7人)。両方会員登録者数51人(男性1人、女性50人)、3年度新規登録4人(男性1人、女性3人)。</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>会員拡大のための取り組みとして、①援助会員獲得のためのポスティングや店舗等でのPR強化、②地域子育て支援センターでの事業説明会を行っている。①については今年度新たに取組むものであり、援助会員の空白地域等を対象にチラシをポスティングしたり、スポーツクラブや量販店などにチラシを配置してもらうことでファミリー・サポートセンターを知り、機会を増やし、興味をもってもらうことで会員増につなげる取り組みを行っている。事業説明会については、今年度は育児中の利用者が多い地域子育て支援センターにて、市職員が病児保育事業とともに説明することで、職場復帰後の支援について見直しを持つことができるように図っている。</p>
3	<p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 1,300人 ・新規会員数 50人/年 	<p>決算額 (千円) 12,259</p> <p>担当課 子ども育成課</p> <p>写真等</p> 	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 <p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。 <p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 <p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の観点からの配慮があるか。 	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での事業説明会を新たに実施し、参加者の9割が登録するなど、会員増の工夫を行っている。 ・事業説明会の成果が顕著。 ・相互援助活動、良い試みだと思ふ。事業を知ってもらえるよう、発信の継続を。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズは多いと思われるので、さらなる充実を。

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性							
基本目標	3	育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう					
	1	事業名					
	34	多様な保育サービスの充実					
		◆事業(概要)					
		<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センター事業(一般型)…子育て家庭への交流の場の提供と交流の促進, 地域の子育て情報の提供や育児講座の実施, 育児相談への対応等を行う。 子育て相談事業…子ども・子育て相談, 育児相談, 育児相談, きめ細やかな支援を行う。 利用者支援事業…子ども・子育て相談, 育児相談, 育児相談, きめ細やかな支援を行う。 施設整備…1園(秦中央保育園) 					
		◆男女共同参画の視点からの目的					
		地域での人間関係の希薄化や, 子育ての孤立化は深刻な状況であり, 子育て不安は高まっている。こうした状況を改善するため, 支援体制の充実を図る。親子を, また親同士を「つなぐ」という取組みが重要になってきており, 地域ぐるみで子育てを進めていくことが大切であると考えている。					
		◆活動指標(目標)					
		・地域子育て支援センターの利用者数の維持又は増加を目指す。					
		(参考)関連する数値目標					
		待機児童数:0人					
		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	・地域子育て支援センター事業では, 施設ごとに毎月のおたよりの発信や, ホームページやInstagramを活用して活動の様子などを知らせてもらえるようPRの工夫をした。また, 新型コロナウイルス感染症の影響で, 来所できない場合でも, 電話相談だけでなくZoomやSNSなどを活用し, オンライン相談や情報発信に取り組み, 親子が地域で孤立しないよう配慮した。 ・子ども・子育て相談支援員を配置し, 教育・保育施設などを円滑に利用できるよう, 情報提供などの支援を行った。 ・施設整備では, 保育ニーズの高い北部地域において, 秦中央保育園の移転新築を行い, 耐震性確保や保育環境の改善を図った。	R3 R4 R5 R6 R7	評価基準 A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った	◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響は引き続きあるが, 地域子育て支援センターに来所した親子が安心して利用できるよう, 施設における感染対策を継続していく。また, SNSやおたよりの発信を通じて, 感染対策の取組み状況なども発信することで, 利用にあたっての不安軽減につなげる。 ・利用者支援では, 教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう情報提供を行い, 利用にあたっての不安などに対し, 丁寧に聞き取りを行うなど, きめ細やかな支援体制を継続していく。	
		◆検証《達成状況, その要因》	・地域子育て支援事業(一般型)保育所併設等8施設で実施し, 延べ利用者数は21,158人であった。令和2年度(8施設で26,151人)より減少したが, これは新型コロナウイルス感染症により交流スペースの休止期間があったことや, 定員制を設定したこと, 利用を控える人がいたことなどが要因と考える。 ・待機児童は11名(令和3年4月現在)。令和2年4月現在は26名。				
		◆推進委員会の点検項目	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。			◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・コロナ禍, オンライン相談やSNSでの発信など工夫が見られる。	
		効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。				
		有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。			【課題等】 ・コロナ禍で交流スペースを休止せざるを得なかったことで, 利用者が減少したのは仕方ない。	
		工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				
		決算額(千円)	R3 488,265	R4	R5	R6	R7
		担当課	保育幼稚園課				

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)					
基本目標	3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう		育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充		◆ 男女共同参画の視点からの目的 既存の地域の集いは、女性の参加者がほとんどであることから、男性でも参加できる、集いの場や地域の課題解決活動の創出を目指し、第2層協議体の活動を支援する。		◆ 対応《改善、今後どのようにするか》 旭の協議体のように、住民主体の地域課題解決に向けた取り組みに、男女がともに参画できるように支援していく。 また、男女ともにニーズや課題も異なると思われるため、それぞれのニーズにあった事業開発や展開ができるよう取り組んでいく。					
	1	No.	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 現在、第2層協議体として定期開催している地区は、旭のみであるが、他地区では、高知市社会福祉協議会が取組を進めている「ほっちゃんネットワーク会議」を第2層協議体として共同開催するなど、地域包括支援センターが介入して活動展開を進めている地区も出てきており、令和3年度の第2層協議体は35回開催。住民にとって負担とならないよう既存の会議体などを活用するなど話し合いの場づくりに努めている。 また、コロナ禍で感染対策の観点から住民同士が集まり協議する場が激減しており、旭の協議体では試験的にZOOMを活用した会議方法を取り入れるなどの工夫をした。		◆ 検証《達成状況、その要因》 新型コロナウイルスを受け、地域の中で集まって協議する機会が激減しており、なかなか進展できていないのが現状。 しかし、旭の協議体から、コロナ禍における高齢者の孤立などが課題としてあがり、住民主体の活動として、基準緩和型通所Bとして「ふらっと旭」がモデル事業として令和4年1月開設。地域の支えあい活動の推進と高齢者の社会参加・介護予防を目的に住民目らがプログラムを検討し、取組はじめている。		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・これからの活動が期待できると思う。					
		35	生活支援サービスの充実	◆ 活動指標(目標) 第2層協議体の開催及び事業実施回数 252回(令和3～5年度の3年間累計回数)		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	◆ 推進委員会の点検項目	◆ 課題等 意見なし
				担当課 高齢者支援課		291						必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。
				写真等								効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。
												有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。
												工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	3	ウ	事業名 高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・県内の工業系高校や大学に具体的な業務内容、勤務条件に福利厚生制度等を加えた職場の魅力を積極的に広報し、インターンシップ生として学生を受け入れた。また、仕事内容について具体的にイメージできるように、採用ガイドブックに先輩職員の声を掲載した。 ・ノー残業デー(毎週水曜日)の実施。夏季休暇取得時に計画的な年休取得を通知。 ・人事考課、職員申告書、所属長からのヒアリング等をもとに、職員の状況を把握し配属先の配慮に努めた。 ・仕事と育児・介護の両立のためのハンドブックを作成し、休暇等の周知に努めた。	R3 R4 R5 R6 R7	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	◆ 対応《改善、今後どのようにするか》 近年の制度変更、特に令和4年度の育児・介護休業法の改正を踏まえた「仕事と育児・介護の両立のためのハンドブック」の改訂等を実施し、働きやすい職場環境の整備や、その情報提供を推進する。		
			◆ 事業(概要) 女性職員が働きやすい職場環境の整備、高知市特定事業主行動計画に基づく技術系職員の女性の採用者数の拡大の取り組み等を実施し、高知市職員における技術職に占める女性の割合の向上を図る。				◆ 検証《達成状況、その要因》 ○令和3年度実績 ・技術職受験者に占める女性の割合:8.9% ・技術職採用者に占める女性の割合:14.3% ・インターンシップ生として受け入れることで、学生等が具体的に仕事の内容をイメージすることができた。 ・制度等の周知により、職員が個々に必要な制度等の利用を検討することができた。 今後このような取組を継続して実施していく。		
			◆ 男女共同参画の視点からの目的 女性が能力を十分に発揮できる職場環境を形成し、多角的な視点で業務を推進することで、住民の多様なニーズに対応できる。	決算額(千円) 0	R3 R4 R5 R6 R7		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・仕事と育児・介護の両立のためのハンドブック作成の取組は良い。 ・先輩職員の声を学生に届ける工夫が良い。		
			◆ 活動指標(目標) ・インターンシップの受入れ、県内の高校・大学等での具体的な業務内容や福利厚生事業の説明等、採用後のイメージを持ちやすいような職場案内を積極的に行っていく。	担当課 人事課			◆ 推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		
			(参考)関連する数値目標 高知市職員の技術職に占める女性の割合:15%以上	写真等 求人財。採用ガイド			【課題等】 ・職場におけるジェンダー平等の実現には、働き方そのもの(休暇が取れる、突然の残業はしなくてよい仕事の進め方等)も、ともに考えて行く必要がある。 ・制度面の他にトイレや休憩室など施設面での環境整備はできているのか。		

<p>基本目標</p> <p>3</p>	<p>取組の方向性</p> <p>ウ</p>	<p>家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう</p> <p>女性活躍の推進</p>																								
<p>Plan(計画)</p>	<p>No.</p> <p>37</p>	<p>事業名</p> <p>ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>ひとり親家庭の幅広い相談内容に対して必要な情報提供や助言等を行う相談業務を行う。子育て給付課に母子・父子自立支援員2名を配置し開庁日は常時相談を受け付けている。</p> <p>就業相談は、県と共同で「ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業」をNPO法人に委託し、就業情報の提供、就業のための各種資格や技能取得のための制度案内、保育所等に関する情報提供を実施している。ほかに、弁護士や司法書士の専門相談員による課題整理も行い自立を支援している。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>従前は母子及び寡婦家庭中心の支援であったが、近年は支援の対象を父子家庭も含めたひとり親家庭全般とし、様々な悩みに適切な助言を与えることで生活の安定を図り、就業相談の内容を充実させることによって経済的な自立を目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>・ひとり親家庭等就業・自立支援センターの利用者(相談者)が、目標値の1,000件を超えるよう、センターの周知徹底に努める。</p> <p>・就業実績数が目標値の50名を上回るよう支援する。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p>																								
<p>Do(実施)</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで相談が受けられるように、環境を整えた。 ・弁護士や司法書士に加え、心理カウンセラー、キャリアコンサルタント、社会福祉士やファイナンシャルプランナーなど専門家を相談を充実させた。 ・支援対象者でありながら、必要な支援を受けられないひとり親家庭に対し、自立に向けた適切な支援を受けられるよう、利便性の高いWEBアプリケーションを開発した。(令和4年度運用開始) 	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">子育て給付課</td> </tr> <tr> <td>写真等</td> <td colspan="5">  </td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		5,300					担当課	子育て給付課					写真等					
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																					
	5,300																									
担当課	子育て給付課																									
写真等																										
<p>Check(点検)</p>	<p>自課評価</p> <p>R3</p> <p>R4</p> <p>R5</p> <p>R6</p> <p>R7</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、6月から開所したため相談件数は目標を達成することができなかったが、オンライン相談を始めるとして、691件と前年(647件)から増加した。 ・就業相談は、従前どおり、ソールレ2Fのひとり親家庭支援センターにて実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、県下の出張相談があまりできず、就業実績は3名と前年(21件)より大きく減少した。 																								
<p>Action(見直し)</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン相談や令和4年度から運用を開始したWEBアプリケーションを生かしながら、必要な支援を受けられないひとり親家庭に対し、自立に向けた適切な支援を受けられるようにしていく。 ・就業実績を増やすことができるように、高知県の女性性ごと応援室やハローワーク等と連携をとりながら、就業相談や求人情報の提供を行っていく。 	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標達成のため、さらなる工夫を期待する。 ・ニーズはあると思う。 ・本事業は、高知県において特に母子世帯支援と女性の経済的自立の支援に欠かせないものだと考える。 ・オンラインの活用はどうか。オンライン相談の推移を見守っていきたい。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響があったとはいえ、50名目標で3名では達成度としてはかなり低い。他に原因がないか分析しての対応が必要。 ・就業実績が大幅に減少しているが、例年、出張相談から就業につながることが多いか。 																								

基本目標		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
3	取組の方向性	事業名		◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 各セミナーは、オンラインによる開催等も活用しながら、新型コロナウイルス対策を徹底して実施した。 参加者は、就職につなげられるように、セミナーのテーマ設定等を検討した。 求職者側と求人側の双方のニーズをマッチングさせるため、セミナーや合同面接会等の参加者のうち希望者を高知市無料職業紹介所の登録につなげ、継続的な支援を行った。		R3 R4 R5 R6 R7		◆ 対応《改善、今後どのようにするか》 令和4年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①就職氷河期世代支援事業 勤務の都合等で平日のセミナーへの参加が難しい方のために、新たに土・日・祝日開催のセミナーを実施し、さまざまな立場の方が参加しやすいように事業を拡充する。 ②地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業の令和4年10月から受託に当たり、就職面接会の回数を増やすなど就業者数の増加に向けて事業を拡充する。 ③高知市無料職業紹介所 令和4年度は、本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業が、国からの受託の関係で4～9月に6か月間の中断期間が生じ、本事業の実績が下がる年度となるが、紹介所の現登録者に対し、根気強くサポートを続けていくことで下げ幅を小さくする。	
	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	No. 38 雇用促進・就労支援		◆ 決算額(千円) 14,978		◆ 必要 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・参加者の就職率が高く事業が成功している。 ・参加者数は指標を下回ったが、就業者数は92人に対し、117人なので評価でよいと思う。 ・コロナ対策を徹底するなど工夫が原られる。 ・求職者と求人側のセミナーや合同面接等を行い、継続的な支援をしている。	
	女性活躍の推進	◆ 事業(概要) 就職氷河期世代を対象とした就職支援のためセミナーや、地域雇用活性化推進事業による女性や高齢者等を対象にした就職支援セミナーや企業説明会等を開催し、就職につなげる。 また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、性別・年齢にかかわらず継続的な就職支援を行う。		◆ 活動指標(目標) ・就職氷河期世代をはじめ、女性や高齢者等さまざまな年代層を対象としたセミナー等の実施により、性別や年齢にかかわらず、男女ともにいきいきと働ける社会の実現に寄与する。		◆ 効率 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		【課題等】 ・費用対効果が適切かどうか。 ・参加者の半数とはいえ、100人近くの人々の就職につなげたのは貴重な成果。だが、半数の人々は就職できていないようなので、継続的な取組が必要。	
		◆ 男女共同参画の視点からの目的 就職氷河期世代をはじめ、女性や高齢者等さまざまな年代層を対象としたセミナー等の実施により、性別や年齢にかかわらず、男女ともにいきいきと働ける社会の実現に寄与する。		◆ 有効 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		◆ 配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			
		◆ 活動指標(目標) ・就職氷河期世代支援事業や雇用活性化推進事業による就職支援のセミナーの参加者数、セミナー受講後の就業者数(高知市無料職業紹介所による就業者を含む)。 参加者:197人 就業者数:92人		◆ 写真等 産業政策課		◆ 工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			
		◆ (参考)関連する数値目標		◆ 担当課 産業政策課					
				◆ 写真等 					

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
取組の方向性	ウ	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・就労支援パソコン講座 参加者数 ワード① 10名 参加者数 エクセル① 13名 参加者数 ワード② 11名 参加者数 エクセル② 中止 実施日 ワード①7/3～7/5 エクセル①7/17～7/19 ワード② 7/31～8/2 エクセル② 8/21～8/23		R3 R4 R5 R6 R7		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 従来のパソコン講座に加えて, 仕事で求められる対話力(コミュニケーションスキル)をテーマにした講座を開催した。 ・就労支援パソコンEXCEL基礎講座 実施日 ①7/9～7/10 ②7/23～7/24 参加者数 ①15名 ②14名 ・「対話力」トレーニング 実施日 8/28 講師 平野智佐 (Office C Career代表) 参加者数 14名	
基本目標	3	◆事業(概要) ・就労支援パソコン講座 パソコンのスキルを基礎から学び, 仕事選びの幅を広げる。		自課 評価 評価基準 A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った			
		◆男女共同参画の視点からの目的 パソコンスキル等, 職場で活用できるさまざまなスキルを身につけることで, 仕事選びの幅を広げ, 女性活躍の機会を増やす。		◆検証《達成状況, その要因》 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため1回中止した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により, 申込みは減少傾向にある。 ・参加者には, 解りやすい説明で有意義だったと好評だった。 ・ソールは初めての方が多く, 今後の来館者増につながる事が期待できる。			
		◆活動指標(目標) ・就労支援パソコン講座(ワード及びエクセル基礎講座 各2回) 参加者数各15名		決算額 (千円)		R3 R4 R5 R6 R7	
		(参考)関連する数値目標		担当課		ソール	
				写真等			
		家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう		女性活躍の推進			

基本目標		取組の方向性																		
4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう	ア	地域活動における女性の参画の促進																	
<p>Plan(計画)</p> <table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>41</td> <td>地域コミュニティ再構築事業</td> </tr> </table> <p>◆事業(概要) 伝統的な地縁組織などが家族構成の変化や少子化・高齢化、また人口減少社会の到来などによって、将来的な住民自治活動の継続が懸念される中で、今後の地域コミュニティのあり方、協力信頼による住民自治の継続、市民と行政の協働のまちづくりの仕組みづくりを目指すもの。 なお、主な事業として、地域内での連携・協力による地域課題の解決を目指す仕組みである「地域内連携協議会」の設立・運営に関する支援や地域の将来を見据えた「新コミュニティ計画」の策定・推進がある。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 住民自治活動や市民と行政の協働のまちづくりを進めるうえで、女性の参画により、多様な市民の意見を反映させることができる。</p> <p>◆活動指標(目標) 地域内連携協議会の認定(のべ数): 29 地域</p> <p>(参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合: 25%以上</p>				No.	事業名	41	地域コミュニティ再構築事業													
No.	事業名																			
41	地域コミュニティ再構築事業																			
<p>Do(実施)</p> <p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 【地域内連携協議会】地域内の団体が互いに連携・協力しあえる仕組みを構築している。 【新コミュニティ計画】地域主体の取組が多く盛り込まれ、地域の活動計画として役割を果たすものとなっている。今後、女性の参画による多様な市民の意見を反映できるように、地域の状況に沿った支援を行っていく。</p> <table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td>5,044</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 地域コミュニティ推進課 写真等</p> 				決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		5,044									
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7															
	5,044																			
<p>Check(点検)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">自課評価</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>A: B: C: D:</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》 【地域内連携協議会】のべ29地域(30小学校区)で認定。R3年度は一宮東小学校区で設立された。 【新コミュニティ計画】H29久重地域、H30よこせと地域の2地域をモデル地域として、第六地域、潮江南地域で新コミュニティ計画の策定、久重地域、よこせと地域で新コミュニティ計画の更新を目指している。</p>				自課評価	評価基準					R3	R4	R5	R6	R7						
自課評価	評価基準																			
	R3	R4	R5	R6	R7															
<p>Action(見直し)</p> <p>◆対応(改善、今後どのようにするか) 令和4年度に行う新コミュニティ計画の策定・更新に向けた取組において、まちづくりに関する地域住民へのアンケートや、策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるよう努める。</p>																				
<p>◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし</p>																				
<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <th>必要性</th> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <th>効率性</th> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <th>有効性</th> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <th>工夫・配慮</th> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>				必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。									
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																			
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																			
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																			
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																								
4	ア	<p>事業名</p> <p>42 スポーツ指導者の育成</p> <p>事業(概要)</p> <p>地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るため、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。</p> <p>男女共同参画の視点からの目的</p> <p>スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じて健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</p> <p>活動指標(目標)</p> <p>スポーツ指導員認定更新講習会を年4回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p>具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、講習会を定員を定め、予約制とした。また、開催数を通常の4回から9回に増やした。開催時は、換気・消毒を徹底し、当日の検温を実施するなど、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底した。</p> <table border="1" data-bbox="284 1124 478 1617"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td>346</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 スポーツ振興課</p> <p>写真等</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	346						<table border="1" data-bbox="284 591 478 1124"> <tr> <th>自課評価</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>評価基準</p> <p>A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</p> <p>検証《達成状況、その要因》</p> <p>講習受講者は24名(更新対象者79名)と少なかったが、これは、更新講習者に高齢者が多く、新型コロナウイルス感染症への感染リスクを懸念し、受講しない者が多かったためである。</p> <p>推進委員会の点検項目</p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	自課評価	R3	R4	R5	R6	R7							<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策を講じた講習会開催を継続する。 ・講習受講者がより参加しやすいカリキュラムについて検討する。 <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数で開催できるような開催回数を増やすなど工夫できている。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性指導員や多様な性など、男女共同参画につなげる視点が必要。 ・今後、若者や女性のスポーツ指導者を育てる取組を希望する。
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																								
346																													
自課評価	R3	R4	R5	R6	R7																								

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう		地域活動における女性の参画の促進		地域活動における女性の参画の促進		地域活動における女性の参画の促進		
		事業名 43 消防団の充実強化		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和3年度中に御量瀬分団屯所の移転新築工事を行い、令和4年10月1日に竣工。トイレ等、女性団員に配慮した構造となっている。 令和3年度は女性団員による活動検討会を5回予定し、新型コロナウイルス感染症のため2回しか行えなかったものの、研修や講習会を実施し、意見の交換が行われた。		◆検証《達成状況、その要因》 御量瀬分団屯所の建設は予定どおりの日程で完成、引き渡しが完了した。 女性団員の活動検討会は、新型コロナウイルス感染症のため、予定していた回数を実施することができず、消化不良な点も認めず、コロナ禍での集団研修について課題が残った。		◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・今年度完成予定の南部分団屯所は、昨年度完成した御量瀬分団屯所と同様に、女性団員に配慮した構造となっている。 ・本年度は4回の女性団員活動検討会を計画し、第1回を6月24日に中央消防署で実施した。 また、あらかじめ予備日を設け、コロナの感染状況を考慮しながら、柔軟な会の設定ができるような計画とした。 (女性団員は60人在籍※R4.1時点)		
◆事業(概要)		消防団員の定数確保とともに、地域の防災拠点としての機能を併せ持つ消防分団屯所の整備を図り、消防団が地域防災の中核的な役割を担えるよう、体制強化に取り組む。		◆男女共同参画の視点からの目的 事業の実施により、消防団の役割や必要性の周知を図るとともに、男女共同参画を推進し、地域防災における女性の参画の促進をすすめる。		◆活動指標(目標) 活躍する女性消防団員の意見を伺いながら、消防団の活性化を図り、広報活動等に活かして女性消防団員の増加及び男女共同参画や地域防災活動の普及啓発を行う。		(参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上		
決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7	◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。			
担当課		消防局総務課							【課題等】 ・コロナ禍においても検討会等を開催できる工夫を。 ・女性消防団員の現状が何人で目標値の人数の記載がないと検証が困難。	
写真等									有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工配夫、 配慮、 か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

<p>取組の方向性</p>	<p>地域活動における女性の参画の促進</p>																									
<p>基本目標</p>	<p>4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう</p>																									
<p>Plan(計画)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="288 1995 475 2063"> <p>No.</p> </td> <td data-bbox="475 1995 1479 2063"> <p>事業名</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1615 475 1995"> <p>44</p> </td> <td data-bbox="475 1615 1479 1995"> <p>女性のチャレンジ・エンパワーメント支援</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="288 1615 1479 1615"> <p>◆事業(概要)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="288 1615 1479 1615"> <p>・エンパワメント講座 自己肯定感やコミュニケーション力を高めることで、女性が自分らしく社会に参画するために必要なスキルを見につける。 ・女性の多様なライフスタイル応援事業 子どもを出産しないことによる社会からの圧力で、自尊感情が低下した女性に対し、多様な生き方に気づき、前向きに自分らしさを取り戻せるための機会を提供する。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="288 1615 1479 1615"> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="288 1615 1479 1615"> <p>女性が能力を十分に発揮し、男女共同参画の視点で地域参画できるよう、課題を学び知識やスキル等も身につける講座を開催する。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="288 1615 1479 1615"> <p>◆活動指標(目標)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="288 1615 1479 1615"> <p>・エンパワメント講座(オンライン配信)参加者数30名 ・女性の多様なライフスタイル応援事業(オンライン配信)参加者数20名</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="288 1615 1479 1615"> <p>(参考)関連する数値目標</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="288 1615 1479 1615"> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p> </td> </tr> </table>		<p>No.</p>	<p>事業名</p>	<p>44</p>	<p>女性のチャレンジ・エンパワーメント支援</p>	<p>◆事業(概要)</p>		<p>・エンパワメント講座 自己肯定感やコミュニケーション力を高めることで、女性が自分らしく社会に参画するために必要なスキルを見につける。 ・女性の多様なライフスタイル応援事業 子どもを出産しないことによる社会からの圧力で、自尊感情が低下した女性に対し、多様な生き方に気づき、前向きに自分らしさを取り戻せるための機会を提供する。</p>		<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p>		<p>女性が能力を十分に発揮し、男女共同参画の視点で地域参画できるよう、課題を学び知識やスキル等も身につける講座を開催する。</p>		<p>◆活動指標(目標)</p>		<p>・エンパワメント講座(オンライン配信)参加者数30名 ・女性の多様なライフスタイル応援事業(オンライン配信)参加者数20名</p>		<p>(参考)関連する数値目標</p>		<p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>					
<p>No.</p>	<p>事業名</p>																									
<p>44</p>	<p>女性のチャレンジ・エンパワーメント支援</p>																									
<p>◆事業(概要)</p>																										
<p>・エンパワメント講座 自己肯定感やコミュニケーション力を高めることで、女性が自分らしく社会に参画するために必要なスキルを見につける。 ・女性の多様なライフスタイル応援事業 子どもを出産しないことによる社会からの圧力で、自尊感情が低下した女性に対し、多様な生き方に気づき、前向きに自分らしさを取り戻せるための機会を提供する。</p>																										
<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p>																										
<p>女性が能力を十分に発揮し、男女共同参画の視点で地域参画できるよう、課題を学び知識やスキル等も身につける講座を開催する。</p>																										
<p>◆活動指標(目標)</p>																										
<p>・エンパワメント講座(オンライン配信)参加者数30名 ・女性の多様なライフスタイル応援事業(オンライン配信)参加者数20名</p>																										
<p>(参考)関連する数値目標</p>																										
<p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>																										
<p>Do(実施)</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンパワメント講座(オンライン配信)参加者数 8名, オンライン3名 ・女性の多様なライフスタイル応援事業(オンライン配信)参加者数 オンライン7名 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="906 1615 991 2076"> <p>決算額(千円)</p> </td> <td data-bbox="991 1615 1050 2076"> <p>290</p> </td> <td data-bbox="1050 1615 1109 2076"> <p>R3</p> </td> <td data-bbox="1109 1615 1168 2076"> <p>R4</p> </td> <td data-bbox="1168 1615 1227 2076"> <p>R5</p> </td> <td data-bbox="1227 1615 1286 2076"> <p>R6</p> </td> <td data-bbox="1286 1615 1345 2076"> <p>R7</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="991 1391 1050 1615"> <p>担当課</p> </td> <td colspan="6" data-bbox="991 1122 1479 1391"> <p>ソール</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1050 1391 1109 1615"> <p>写真等</p> </td> <td colspan="6" data-bbox="1050 1122 1479 1391">  </td> </tr> </table>		<p>決算額(千円)</p>	<p>290</p>	<p>R3</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>	<p>R7</p>	<p>担当課</p>	<p>ソール</p>						<p>写真等</p>									
<p>決算額(千円)</p>	<p>290</p>	<p>R3</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>	<p>R7</p>																				
<p>担当課</p>	<p>ソール</p>																									
<p>写真等</p>																										
<p>Check(点検)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="288 1122 475 2076"> <p>自課評価</p> </td> <td data-bbox="475 1122 534 2076"> <p>R3</p> </td> <td data-bbox="534 1122 593 2076"> <p>R4</p> </td> <td data-bbox="593 1122 652 2076"> <p>R5</p> </td> <td data-bbox="652 1122 711 2076"> <p>R6</p> </td> <td data-bbox="711 1122 770 2076"> <p>R7</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 589 475 1122"> <p>評価基準</p> </td> <td colspan="5" data-bbox="288 589 1479 1122"> <p>A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="6" data-bbox="288 589 1479 589"> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="6" data-bbox="288 589 1479 589"> <p>・令和元年度の企画(会場開催のみ。30名近い応募あり)が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止措置で中止となったため、再度同内容で企画したもの。開催時間が昼食をまたいでいた点、開催日が連休の間であった点が参加しにくかったのではないかと見られる。</p> <p>・開催日がまん延防止等重点措置適用となったため、オンライン開催のみに切り替えた結果、会場受講希望者3名減となった。</p> <p>・テーマを「不妊」としたが、一般女性だけでなく当事者の参加も少なかった。早い段階で不妊相談窓口へ広報が必要だった。</p> </td> </tr> </table>		<p>自課評価</p>	<p>R3</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>	<p>R7</p>	<p>評価基準</p>	<p>A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</p>					<p>◆検証《達成状況, その要因》</p>						<p>・令和元年度の企画(会場開催のみ。30名近い応募あり)が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止措置で中止となったため、再度同内容で企画したもの。開催時間が昼食をまたいでいた点、開催日が連休の間であった点が参加しにくかったのではないかと見られる。</p> <p>・開催日がまん延防止等重点措置適用となったため、オンライン開催のみに切り替えた結果、会場受講希望者3名減となった。</p> <p>・テーマを「不妊」としたが、一般女性だけでなく当事者の参加も少なかった。早い段階で不妊相談窓口へ広報が必要だった。</p>					
<p>自課評価</p>	<p>R3</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>	<p>R7</p>																					
<p>評価基準</p>	<p>A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</p>																									
<p>◆検証《達成状況, その要因》</p>																										
<p>・令和元年度の企画(会場開催のみ。30名近い応募あり)が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止措置で中止となったため、再度同内容で企画したもの。開催時間が昼食をまたいでいた点、開催日が連休の間であった点が参加しにくかったのではないかと見られる。</p> <p>・開催日がまん延防止等重点措置適用となったため、オンライン開催のみに切り替えた結果、会場受講希望者3名減となった。</p> <p>・テーマを「不妊」としたが、一般女性だけでなく当事者の参加も少なかった。早い段階で不妊相談窓口へ広報が必要だった。</p>																										
<p>Action(見直し)</p>	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンパワメント講座(会場・オンライン配信)を3月に予定している。 ・令和4年度は女性の多様なライフスタイル応援事業を廃止し、令和3年度受講生が立ち上げた自主グループに対し、講座の企画・実施を委託している。(県民からの企画提案事業) 																									

基本目標		取組の方向性	
4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう	1	防災分野における女性の参画の促進
			46
◆事業(概要) 事業の実施により、年齢・性別を問わず幅広い住民が交流を深め、地域で連携し、地域の防災力向上を図る。		◆具体的取組(工夫や配慮した点等) 令和3年度は、6月から8月にかけて講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により、7月から10月にかけての講座開催に日程変更をし、また、日程によっては県外在住の講師の来高が難しく、講師の変更も行いながら全8回の講座を開催した。また、参加定員については、感染症対策等の観点から、令和元年度までの定員250名から、定員160名に縮小した。従来より定員を縮小させたこと、令和2年度は、開催を延期した上に、規模を縮小して(休日の昼間に1回開催)開催をしたことから、想定よりも早く申込み定員に達した。	
◆男女共同参画の視点からの目的 事業の実施により、年齢・性別を問わず幅広い住民が交流を深め、地域で連携し、地域の防災力向上を図る。		◆活動指標(目標) ・れんけいこうち防災人づくり塾 令和3年度 全8回開催(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小し、1回の開催) ・受講者に、防災における男女共同参画の視点の啓発を行う。	
(参考)関連する数値目標 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上		防災政策課 	
Plan(計画)		Do(実施)	
事業名 No.		評価基準 A R3 R4 R5 R6 R7	
46 れんけいこうち防災人づくり塾		令和3年度れんけいこうち防災人づくり塾修了者数(サテライト3会場含む):132人 内訳:男性77人(60%) 女性55人(40%) 受講者アンケート結果(高知市会場) Qお住まいの地域防災活動に男性・女性の意見が反映されていると感じるか。※()は前年数値 ①男性の意見が反映されていない5%(6%) ②女性の意見が反映されていない18%(20%) ③どちらでもない12%(18%) ④分からない55%(56%) ⑤無回答0%(0%) 防災士認定登録者数に占める女性の割合:30.9%(R3)	
Check(点検)		Action(見直し)	
◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・コロナ禍であったが、しっかりと開催している。 ・参加者の男女のバランスもとれており、アンケートをとっているところも良い。 ・男女ともに防災人づくり塾を修了しており、交流も深まると思う。		◆対応《改善、今後どのようにするか》 平成30年度から、れんけいこうち広域都市圏事業の一環として県内にサテライト会場を設け、ウェブ会議システムを使って講座をリアルタイム配信している。令和4年度は、以前の課題であったサテライト会場への映像音声配信の質を上げるため、対策を講じ、鮮やかな映像音声を配信することができた。 年齢・性別を問わず幅広い住民に参加してもらうためサテライト会場の箇所数や運営方法について検討を行う。また、防災における男女共同参画の視点に関する講座等を引き続き行い、受講者に啓発をしていく。	
◆推進委員会の点検項目		◆課題等 意見なし	
必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。		効果性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

<p>取組の方向性</p> <p>4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう</p>	<p>1 防災分野における女性の参画の促進</p>	<p>Plan(計画)</p> <table border="1"> <tr> <td>No.</td> <td>事業名</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>女性防災プロジェクト</td> </tr> </table> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性防災プロジェクト(連続講座) <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>男性中心で構成されることが多い地域の防災組織等に対し、女性が積極的に発言するための知識を深め、地域での活躍につなげる。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性防災リーダー養成推進講座(連続講座・5回) 参加者数20名 <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上</p>	No.	事業名	47	女性防災プロジェクト	<p>Do(実施)</p> <p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性防災プロジェクト(連続講座5回)参加者数 会場168名,オンライン26名 実施日 ①5月15日 ②6月26日 ③7月17日 ④10月16日 ⑤12月11日 メイン講師 神原咲子(高知県立大学看護学部 特任教授) 	<p>Check(点検)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>A</td> <td>評価基準</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>A:目標達成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td>B:概ね達成</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>C:少し下回った</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況,その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトとして開催5年目となる本講座は、講師がその時に最新の防災情報をアップデートしたものを提供しており、新しく受講する者だけでなく再受講者も多い。再受講者には講師の指示の下、新受講者へのアドバイスも担ってもらったことでリーダーとして地域で活躍できるための指導力を付ける練習の場ともなっている。 	R3	A	評価基準	R4		A:目標達成	R5		B:概ね達成	R6		C:少し下回った	R7		D:大きく下回った	<p>Action(見直し)</p> <p>◆対応《改善,今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性防災プロジェクト(連続講座5回)実施日 ①6/25 ②7/9 ③7/30 ④8/27 ⑤9/10 メイン講師 神原咲子(神戸市看護大学教授/高知県立大学看護学部特任教授)
No.	事業名																							
47	女性防災プロジェクト																							
R3	A	評価基準																						
R4		A:目標達成																						
R5		B:概ね達成																						
R6		C:少し下回った																						
R7		D:大きく下回った																						
		<p>決算額(千円)</p> <p>16</p>																						
		<p>担当課</p> <p>ソーレ</p>																						
		<p>写真等</p> 																						

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
基本目標	5	取組の方向性	7	<p>生涯にわたる健康生活を充実させましょう</p> <p>あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援</p>				
		No.	48	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、高知県の感染対応目安のステージが特別警戒となった時点で地域の体操会場には、自粛要請をかけている。</p> <p>自宅での体操継続ができるようメディアやSNS、チラシの配布などの対応をした。</p> <p>低栄養予防については、啓発用の冊子やチラシなどを作成し、誰でも取り組みやすい方法でもあったことから、事業に参加してくださった方などの食習慣の改善にはつながった方が多かったです。</p>				
		事業名		<p>◆事業《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しやしやし百歳体操の実施 低栄養予防(栄養改善活動)事業の実施 いきいき百歳サポーター育成教室の実施 				
		目的		<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>介護予防活動への住民参画を促進することで、より活動的な生活となり、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるようになる。</p> <p>既存のいきいき百歳体操等の集いに、体操会場の人間関係を通じ、男性の参加を促す。</p>				
		活動指標(目標)		<p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいき百歳体操参加者数9,000人/年 いきいき百歳サポーター新規育成数120人/年 いきいき百歳体操等会場における低栄養予防啓発活動の実施箇所割合30%、参加者の理解度 70% <p>(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年</p>				
		決算額(千円)	R3 31,638	R4	R5	R6	R7	
		担当課		高齢者支援課				
		必要性	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業がプランの数値目標に結びつくか。 					
		効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。 					
		有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 					
		工夫・配慮	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の視点からの配慮があるか。 					
		評価基準	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>新型コロナウイルスの影響が大きく、なかなか活動ができない状況。対象が高齢者ということもあり、感染対策の徹底など利用者やお世話役(サポーター)などの負担も大きい。体操習慣継続のため家庭で取り組む工夫についても検討したが、仲間と一緒に取り組むことで継続できてきた経過もあるため、なかなか個人での活動継続にはつながりにくい。(体操参加者6,436名)</p> <p>低栄養予防については、今年度12か所(8%)の体操会場で栄養改善活動(計4回支援)を実施。また、健康講座での啓発活動を16回(340名)実施した。参加者の理解度は98%。</p> <p>サポーター養成講座は、コロナの影響から1回のみ開催、15名を新規に養成した。</p>					
		自課評価	R3	R4	R5	R6	R7	
		評価基準	<p>A:目標達成</p> <p>B:概ね達成</p> <p>C:少し下回った</p> <p>D:大きく下回った</p>					
		対応《改善、今後どのようにするか》	<p>現状で実施可能な健康づくりのための講座内容・手法を検討しながら活動展開していく。講座を通して、住民同士の交流を図る機会の提供につなげる。</p> <p>体操参加者のみでなく、そういった集いの場に参加をしない方々に対しても啓発チラシなどを活用して発信できるように努める。</p>					
		推進委員会から点検コメント	<p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数は、対象者が高齢者ということやむを得ない結果だと思ふ。その中でもなんとかつなげようとしており、良いと思う。 コロナ禍で集まることができないため、メディアやSNS、チラシ配布など取組を工夫している。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業のコスト、費用対効果は適当か。 					

基本目標		取組の方向性			
5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	7	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援		
Plan(計画)					
No.	事業名				
49	生涯学習活動の促進				
◆事業(概要) 市立公民館で年間を通じて各種講座を開設し、広く市民に生涯学習の機会を提供する。					
◆男女共同参画の視点からの目的 性別・年齢を問わず、生きがいづくりと健康増進、また受講生同士の交流の場となるような講座を実施する。					
◆活動指標(目標) ・中央公民館各種講座等受講者数(3,000人) ・地域の市立公民館事業参加者数(3,000人)					
(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年					
Do(実施)					
◆具体的取組(工夫や配慮した点等) ・コロナウイルス感染拡大防止対策のガイドラインを参考に定め、徹底した予防対策を講じながら、受講生が安心して参加できる環境作りに努めた。 ・コロナ禍でも事業が実施できるよう受講定員を見直すとともに、接触・飛沫感染リスクが高い講座については、講座内容を変更して開設し、市民への学習機会が減少しないよう努めた。 ・耐震改修工事のため、長期間にわたり施設が使用できない旭文化センターにおいては、地域住民の学習機会を確保するため、代替施設(イオン旭店)にて各種講座を実施した。					
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7
	-				
担当課	文化振興課				
					
Check(点検)					
R3		評価基準			
R4		A:目標達成			
R5		B:概ね達成			
R6		C:少し下回った			
R7		D:大きく下回った			
◆検証(達成状況, その要因) ・コロナの感染状況により事業や講座が中止となったり、定員を減らし事業等を実施したため、コロナ前の数値と比較すると受講者数は減少したが、講座内容等の見直しを行うことで、地域の公立公民館で実施した受講後のアンケート調査では、生涯学習の中で身に付けた知識や技術を活かそうとしている人の割合はR3年度は96%と満足度は高くなっている。 ・中央公民館各種講座等受講者数 1,539人 ・地域の市立公民館事業参加者数 3,767人					
Action(見直し)					
◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・今後も継続して新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底していく。 ・講座の内容等についても、受講者アンケートの意見を参考にできる限り取り入れ、受講者のニーズに応えることで、満足度を維持するよう努める。					
◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・参加人数が目標以下なのは、仕方のないことと思う。その中でも工夫して開催しようと良く努力している。 ・身につけた技術や知識を活かそうとしている割合が96%と高い。 【課題等】 意見なし					
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。				
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。				
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
5	基本目標	生涯にわたる健康生活を充実させましょう		あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援		7		◆対応《改善, 今後どのようにするか》 新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら, 体育会事業を実施していく。	
		No.	事業名	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により, 地区運動会等は中止。近隣地区合同スポーツイベントは, 3地区申込みがあったが, 1地区は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。		R3	D		
		50	スポーツ推進事業	◆ 事業(概要) 小学校区ごとに設置の地区体育会で開催される地区運動会や近隣地区合同スポーツイベント等が実施されるよう地区体育会への活動支援を実施し, 男女ともに年齢を問わずスポーツに触れる機会の提供を図る。		R4			
			◆ 男女共同参画の視点からの目的 生涯を通じた健康支援のため男女ともに, スポーツ活動に親むことができるよう, 生涯スポーツ社会の実現を目指す。	R5		R6			
			◆ 活動指標(目標) 地区体育会での地区運動会の開催 近隣地区合同スポーツイベントの実施	R7		R7			
			(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.27年 女性21.77年	決算額 (千円)	677	R6			
				担当課	スポーツ振興課				
				写真等					
				◆ 推進委員会の点検項目		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし			
				必要性	事業がプランの数値目標に結びつくか。				
				効率性	事業実施方法は適切か。 事業コスト, 費用対効果は適当か。				
				有効性	事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		【課題等】 ・計画の事業が未実施のため評価できない。 ・男女共同参画の視点をもう少し明確に。 ・コロナ禍でコミュニケーションにつながる地区運動会ができず残念。 ・スポーツイベントとコロナとの共存を考えれば, 従来型のアスリート系の競技のみならず, 健康増進の取組などを取り入れ, 時機に応じた内容の準備が必要ではないか。		
				工夫・配慮	男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

基本目標		取組の方向性																			
5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援																			
<h2>Plan(計画)</h2> <table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>51</td> <td>がん検診</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ◆事業(概要) 胃がん検診、大腸がん検診、胸部検診(以上、40歳以上の市民対象)、子宮頸がん(20歳以上の女性市民対象)、乳がん検診(40歳以上の女性市民対象)を実施する。実施にあたっては、利便性向上を図るとともに対象者への受診勧奨を行う。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ◆男女共同参画の視点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、がんの早期発見のための検診機会を確保する。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ◆活動指標(目標) ・子宮頸がん検診受診率 16%以上 ・乳がん検診受診率 18%以上 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> (参考)関連する数値目標 子宮頸がん検診受診率:20%以上 乳がん検診受診率:22%以上 </td> </tr> </table>				No.	事業名	51	がん検診	◆事業(概要) 胃がん検診、大腸がん検診、胸部検診(以上、40歳以上の市民対象)、子宮頸がん(20歳以上の女性市民対象)、乳がん検診(40歳以上の女性市民対象)を実施する。実施にあたっては、利便性向上を図るとともに対象者への受診勧奨を行う。		◆男女共同参画の視点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、がんの早期発見のための検診機会を確保する。		◆活動指標(目標) ・子宮頸がん検診受診率 16%以上 ・乳がん検診受診率 18%以上		(参考)関連する数値目標 子宮頸がん検診受診率:20%以上 乳がん検診受診率:22%以上							
No.	事業名																				
51	がん検診																				
◆事業(概要) 胃がん検診、大腸がん検診、胸部検診(以上、40歳以上の市民対象)、子宮頸がん(20歳以上の女性市民対象)、乳がん検診(40歳以上の女性市民対象)を実施する。実施にあたっては、利便性向上を図るとともに対象者への受診勧奨を行う。																					
◆男女共同参画の視点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、がんの早期発見のための検診機会を確保する。																					
◆活動指標(目標) ・子宮頸がん検診受診率 16%以上 ・乳がん検診受診率 18%以上																					
(参考)関連する数値目標 子宮頸がん検診受診率:20%以上 乳がん検診受診率:22%以上																					
<h2>Do(実施)</h2> <p>◆具体的取組(工夫や配慮した点等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4月:年度末年齢42~45歳の方のうち前年度に受診していない方と、46~63歳の方のうち過去5年間に高知市実施の検診の受診履歴のある方で前年度に受診していない方へ、乳がん検診・子宮頸がん検診個別受診券と集団案内を送付。 ○6月:乳がん検診は年度末年齢が41歳、子宮頸がん検診は年度末年齢が21歳の方へ、無料クーポン券付受診券を送付。 ○広報あかるいまち7月号で乳がん検診と子宮頸がん検診の受診啓発記事を掲載。 ○11月:高知市内の町内会へがん検診の受診案内の回覧を依頼。 ○12月:高知市のがん検診を未受診の方がいる世帯へ受診案内はがきを送付。 ○1月:高知市成人式で配布されるチラシに子宮頸がん検診受診案内を掲載。 ○2月:次年度の集団検診申込書を送付。 <table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>89,162</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">健康増進課</td> </tr> </table> 				決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		89,162					担当課	健康増進課				
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																
	89,162																				
担当課	健康増進課																				
<h2>Check(点検)</h2> <table border="1"> <tr> <th>自課評価</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん検診:14.2% ・乳がん検診:17.3% <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、検診受診を控える方がいることから、例年よりも受診率が低下した。県内の新規感染者が増えるなど集団検診実施当日にキャンセルが多数であるなどの影響があった。また、個別検診を実施している病院においては、感染症対策のため、以前よりも予約の人数を少なくしているところもある。</p>				自課評価	R3	R4	R5	R6	R7												
自課評価	R3	R4	R5	R6	R7																
<h2>Action(見直し)</h2> <p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>令和4年度から一部の検診についてオンラインでの申込み受付を開始することとしている。これまで、年度当初の集団検診郵送申込み以外は、電話による申込みのみだったため、平日8時30分から17時15分の限られた時間帯しか受付できなかった。オンライン化によって24時間申込み可能となることから、日中忙しい世代の方でも申込みをしていただきやすくなり、利便性を向上させることができる。</p> <p>なお、受診者の多くは60代以上であるため、オンラインのみとはせず郵送や電話申込みとの併用とする。</p> <p>また、受診機会を逃さず年間を通して受診していただけるように啓発物の文言見直し等も進めていく。</p> <p>若年層への啓発については高知市LINE公式アカウントの活用などを検討する。</p>																					
<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で受診を控えることもやむを得ないと思う。コロナ収束後にコロナ前より受診者が減少しないよう効果的な啓発の継続を。 ・取組は継続的に行っている。受診率が上がらない要因を引き続き考えたい必要がある。 ・検診の重要性を学ぶ機会を若者に伝えるなどの取組も今後あってもよいかも。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診していない方への案内は十分されていると思うが、検診率は低いと思う。 ・従来に比べ、受診者を増やそうとする取組が多面的になってきている。さらに検討してほしいのは3月の検診補助。働いている女性は、検診等は後回しになりがちで、3月に検診を受けようとする、補助対象期間を過ぎることになり、負担が大きくなる。医療機関への支払い等が関係しているとのことだが検討を。 																					
<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <th>必要性</th> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 </td> </tr> <tr> <th>効率性</th> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 </td> </tr> <tr> <th>有効性</th> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 </td> </tr> <tr> <th>工夫・配慮</th> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 </td> </tr> </table>				必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 	工夫・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 										
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 																				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 																				
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 																				
工夫・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 																				

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)																	
基本目標	5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう		あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援		◆ 具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・高知市近隣の市町村でも受診できるように県内統一広域での個別歯科医療機関委託で実施。 ・4月に対象者9,014名へ個別に案内通知。 ・各種保健事業でのPR。 ・広報あかるいまちの「健診案内」(毎月)や啓発記事(6月・11月・2月)を掲載。 ・ホームページでのPR。 ・オナーページでのPR(6月)。 ・申込者がすべて受診に結びつくように、受診票を送付する際に対応するチラシはナッジ理論を活用して作成した。		◆ 対応《改善、今後どのようにするか》 令和4年度、いきいき健康チャレンジスタートイベントでの口の健康に関する講話と、6月に本庁舎通路でも来庁者向けにPRを行う。引き続き、対象年齢の方への個別通知、広報あかるいまち、高知市ホームページへの掲載と、新たに高知市公式LINEを活用した周知を行う。 また、量販店での普及啓発や、11月の「いい歯の日」に合わせ、歯科のイベント等でも普及啓発を行っていく予定である。																	
	7	事業名 52 成人歯周病検診		◆ 事業(概要) かかりつけ歯科医を持つ割合の少ない壮年期の節目年齢である40歳、50歳(年度末年齢)の市民を対象に、歯周病検診を委託歯科医療機関における個別検診により実施する。		◆ 検証《達成状況、その要因》 ・申込者 697名に対して、401名(2月末請求分まで)の受診であった。 新型コロナウイルス感染拡大状況により、歯科受診を控える傾向がある中、マスク生活による口腔衛生の悪化や口の動きの制限など口腔内への悪影響の予防や取組の必要性を広報やホームページを中心に啓発し、目標に近い受診者数となった。		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・良い事業。 ・コロナ禍での健診事業でありながら目標をほぼ達成、頑張っている。 ・最近、歯周病検診が重要視されているので、メディアを使ってさらなる呼びかけを。																	
		◆ 男女共同参画の視点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、生活習慣病などの全身疾患に関連する歯周病を早期に発見し、歯科受診のきっかけづくりとして、成人歯周病検診を実施する。		◆ 活動指標(目標) ・受診者数 430人		◆ 推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		【課題等】 意見なし																	
		(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.27年 女性21.77年		<table border="1"> <tr> <td>決算額 (千円)</td> <td>R3 2,274</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">健康増進課</td> </tr> <tr> <td>案内通知</td> <td colspan="5"> <p>高知市成人歯周病検診(無料)の告知です</p>  <p>告知期間：令和3年4月1日～令和3年2月1日 申し込み：令和3年2月1日まで ※告知ポスターは、個別の発行は、個別の通知や個別の案内の発行、口周部を重点的に健康します。お申し込みの際は、口周部を重点的に健康することを目的として発行しています。 この機会に個別検診を受けてみませんか？</p> <p>実施期間：令和3年4月1日～令和3年2月1日 申し込み：令和3年2月1日まで 1. 検診は無料で実施し、痛みもありません。 2. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 3. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 4. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 5. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。</p> <p>検診を受けるとは？ 検診は、検診期間中に実施し、検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。</p> <p>お申し込みは高知市保健所健康増進課まで 電話：088-803-8005</p> </td> </tr> </table>		決算額 (千円)	R3 2,274	R4	R5	R6	R7	担当課	健康増進課					案内通知	<p>高知市成人歯周病検診(無料)の告知です</p>  <p>告知期間：令和3年4月1日～令和3年2月1日 申し込み：令和3年2月1日まで ※告知ポスターは、個別の発行は、個別の通知や個別の案内の発行、口周部を重点的に健康します。お申し込みの際は、口周部を重点的に健康することを目的として発行しています。 この機会に個別検診を受けてみませんか？</p> <p>実施期間：令和3年4月1日～令和3年2月1日 申し込み：令和3年2月1日まで 1. 検診は無料で実施し、痛みもありません。 2. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 3. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 4. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 5. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。</p> <p>検診を受けるとは？ 検診は、検診期間中に実施し、検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。</p> <p>お申し込みは高知市保健所健康増進課まで 電話：088-803-8005</p>					◆ 推進委員会の点検項目 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	
決算額 (千円)	R3 2,274	R4	R5	R6	R7																				
担当課	健康増進課																								
案内通知	<p>高知市成人歯周病検診(無料)の告知です</p>  <p>告知期間：令和3年4月1日～令和3年2月1日 申し込み：令和3年2月1日まで ※告知ポスターは、個別の発行は、個別の通知や個別の案内の発行、口周部を重点的に健康します。お申し込みの際は、口周部を重点的に健康することを目的として発行しています。 この機会に個別検診を受けてみませんか？</p> <p>実施期間：令和3年4月1日～令和3年2月1日 申し込み：令和3年2月1日まで 1. 検診は無料で実施し、痛みもありません。 2. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 3. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 4. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 5. 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。</p> <p>検診を受けるとは？ 検診は、検診期間中に実施し、検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。 検診期間中は検診予約が優先的に受け付けられます。</p> <p>お申し込みは高知市保健所健康増進課まで 電話：088-803-8005</p>																								

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう		あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援		◆ 具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・精神保健福祉相談は、専用の相談電話(2回線)で主に受付し、希望者や必要時には来所や訪問での相談にも対応した。 ・パソコンやスマートフォンから簡単にストレスや落ち込み度などの心の状態がチェックでき、相談窓口が表示されるシステム「こころの体温計」を、高知市ホームページからアクセスできるようにするとともに、名刺サイズのカードにQRコードを載せ配布することで、周知した。 ・高知市公式LINEで相談窓口、こころの体温計へのアクセスを呼びかけた。 ・県と連携して相談窓口の掲載されたウェブサイトやSNSを窓口に設置し、相談窓口の周知を行った。		◆ 対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き高知市ホームページ、高知市公式LINEなどを活用し、アクセスしやすい相談の場となるよう、広報を行う。 また、市民のこころの健康が保たれるよう相談対応の質を向上していく。	
		◆ 事業(概要) 市民の誰もがこころの健康について相談できる場として、新型コロナウイルス感染症や、その対策の影響を受けて仕事や生活に不安を感じている方などの相談にも対応する。		◆ 検証《達成状況、その要因》 ・精神保健福祉相談(訪問・来所・電話)の延べ件数 5,223件。 ・こころの体温計へのアクセス数 25,581。 パソコンやスマートフォン、LINE等の活用により、相談窓口を効果的に周知できていると思われる。					
基本目標	7	◆ 男女共同参画の視点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、相談対応を通してこころの健康を保つための支援を行う。		◆ 推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・様々な工夫を凝らして相談に応じており、目標の倍近い実績もあげていて大変素晴らしい。公式LINEを効果的に活用した広報の成果である。 ・こころの体温計は良い取組。企業にも周知されるとよい。 ・コロナ禍で相談件数が指標を上回っている。引き続きお願いする。		【課題等】 意見なし	
		◆ 活動指標(目標) 精神保健福祉相談 延べ2,800件		決算額(千円) 250 担当課 健康増進課 配布したカード				(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.27年 女性21.77年	

取組の方向性		Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
5	基本目標	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援 生涯にわたる健康生活を充実させましょう							
7	事業名	54 思春期保健事業		◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》 学校及び養護教諭との連携を図るために、養護教諭定例会にて毎年啓発活動を行なっている。適切な時期での性教育実施のため今後も継続して実施していく。		R3 R4 R5 R6 R7 評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った		◆ 対応《改善、今後どのようにするか》 学校及び養護教諭との連携を継続する。 思春期教室のサポートについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大により保健師業務が逼迫したまま、出務が困難な状況は変わらず、学校からの貸出依頼には対応できない。性教育関係の物品貸出も含め市内の小中学校へ教材や事業内容の周知を行う。	
	事業(概要)	◆ 事業(概要) ・養護教諭の定例会での啓発を行う。 【思春期教室】 学校で性教育を実施できるように、対象者や授業の内容に合ったサポート、資料教材の提供、物品の貸出しを行う。開催：学校からの依頼		サポート授業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大により保健師業務が逼迫し、出務が困難となったため、助産師を紹介するなどの対応となった。性教育関係の物品貸出は例年並みであるが、学校等依頼分については全て対応できた。今後とも依頼に応じていくとともに、教材や事業内容の検討を行う。		◆ 検証《達成状況、その要因》 学校で性教育を実施できるように、養護教諭定例会で思春期教室のサポートや性教育関係の物品貸出等について説明、啓発を実施。(毎年) 思春期教室(サポート授業)保健師0回 性教育関係の物品貸出 小学校:4校、高等学校:2校、その他:5か所 延18回		◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし	
	◆ 男女共同参画の視点からの目的	・生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重し、相手を思いやり良好な人間関係を構築した上で性関係をもつために適切な行動を取ることができるよう、男女共に生命の誕生やいのちについて伝えていく。 ・男性も主体的に育児をすることの重要性や育原の喜びを、原重と両親の高世代に伝える。 ・将来男女が協力して育児を行うことができるよう、育児に関する実技も男女ともに実施する。		決算額(千円) 0		R3 R4 R5 R6 R7		◆ 推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
	◆ 活動指標(目標)	・命を大切にする心や、男女がそれぞれの体の特徴や違いを理解し尊重し合う心を育てるための取り組みを行う。 ・養護教諭定例会での啓発を行う。(年1回) ・学校等の依頼により、思春期教室の開催や物品等の貸出しを行う。		担当課 母子保健課		R3 R4 R5 R6 R7		有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	
	(参考)関連する数値目標	—						【課題等】 ・学校教育現場では、もっと利用が多くてもよいのでは。	

<p>取組の方向性</p>	<p>5</p>		<p>基本目標</p>	<p>Do(実施)</p>	<p>Check(点検)</p>	<p>Action(見直し)</p>
<p>5</p>	<p>7</p>	<p>事業名 妊娠・出産期等の支援</p>	<p>◆具体的取組(工夫や配慮した点等) ・市内3か所の子育て世代包括支援センターを開設。妊娠届出時の面接率100%を目指した。 ・パパママ教室は、場所を子育て世代包括支援センターに変更し、沐浴体験や妊婦体験を取り入れパートナーの育児参加を促した。 ・子育て相談はぐくみ(月2回開催)。保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士などの専門職を配置し、様々な相談に対応できる体制にした。 ・こんには赤ちゃん事業として保健師・訪問員による乳児家庭全戸訪問に取り組んだ。</p>	<p>◆検証(達成状況, その要因) ・妊娠届出時の妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数 347組。 ・こんには赤ちゃん事業は、新生児期に入院治療が続き、母子の市外への里帰り等により、訪問不成立の家庭がある。訪問率95.2%。訪問できなかった世帯に対しても、情報提供の実施をすともにも、乳児一般健康診査受診歴や予防接種履歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努めている。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室好評。コロナによる開催中止は残念。 ・訪問不成立の家庭に対してフォローができていた。引き続き100%を目指してほしい。また、状況把握の継続を。 ・妊娠中や出産後の育児の不安軽減につながる事業だと思う。 【課題等】 ・支援センター等の場に出かけることが苦手だという声を聞くことがあるが。</p>
<p>Plan(計画)</p>	<p>◆事業(概要) ・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援の第一歩として、子育て世代包括支援センターに母子保健コーナーを配置し、母子健康手帳交付時の窓口面接、相談支援、医療機関との連絡調整を行うことにも必要な支援につなげる。 ・妊娠期に出席・産後・子育てに関する知識・技術を習得し、子育てがイメージできるよう妊婦の他にもパートナーや家族と一緒に参加できる「パパママ教室」を開催する。 ・妊婦や子育て中の保護者が一人で悩まず気軽に相談できる機会として「妊産婦子育て相談はぐくみ」を開催する。 ・生後4か月までの乳児のいる全ての子育て家庭を訪問し、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。</p>	<p>◆活動指標(目標) ・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期に出席・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会を提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組</p>	<p>◆参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.4%以下</p>	<p>◆具体的取組(工夫や配慮した点等) ・市内3か所の子育て世代包括支援センターを開設。妊娠届出時の面接率100%を目指した。 ・パパママ教室は、場所を子育て世代包括支援センターに変更し、沐浴体験や妊婦体験を取り入れパートナーの育児参加を促した。 ・子育て相談はぐくみ(月2回開催)。保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士などの専門職を配置し、様々な相談に対応できる体制にした。 ・こんには赤ちゃん事業として保健師・訪問員による乳児家庭全戸訪問に取り組んだ。</p>	<p>◆検証(達成状況, その要因) ・妊娠届出時の妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数 347組。 ・こんには赤ちゃん事業は、新生児期に入院治療が続き、母子の市外への里帰り等により、訪問不成立の家庭がある。訪問率95.2%。訪問できなかった世帯に対しても、情報提供の実施をすともにも、乳児一般健康診査受診歴や予防接種履歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努めている。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>
<p>生涯にわたる健康生活を充実させましょう</p>	<p>あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援</p>	<p>◆活動指標(目標) ・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。 ・妊娠期に出席・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会を提供。地域の中の子育てサービスや相談先の提供。 ・パパママ教室参加組数 170組</p>	<p>◆参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.4%以下</p>	<p>◆具体的取組(工夫や配慮した点等) ・市内3か所の子育て世代包括支援センターを開設。妊娠届出時の面接率100%を目指した。 ・パパママ教室は、場所を子育て世代包括支援センターに変更し、沐浴体験や妊婦体験を取り入れパートナーの育児参加を促した。 ・子育て相談はぐくみ(月2回開催)。保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士などの専門職を配置し、様々な相談に対応できる体制にした。 ・こんには赤ちゃん事業として保健師・訪問員による乳児家庭全戸訪問に取り組んだ。</p>	<p>◆検証(達成状況, その要因) ・妊娠届出時の妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数 347組。 ・こんには赤ちゃん事業は、新生児期に入院治療が続き、母子の市外への里帰り等により、訪問不成立の家庭がある。訪問率95.2%。訪問できなかった世帯に対しても、情報提供の実施をすともにも、乳児一般健康診査受診歴や予防接種履歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努めている。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>
<p>必要</p>	<p>事業がプランの数値目標に結びつくか。</p>	<p>必要性</p>	<p>◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</p>	<p>◆推進委員会からの点検コメント 【特に良かった点等】 ・妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室好評。コロナによる開催中止は残念。 ・訪問不成立の家庭に対してフォローができていた。引き続き100%を目指してほしい。また、状況把握の継続を。 ・妊娠中や出産後の育児の不安軽減につながる事業だと思う。 【課題等】 ・支援センター等の場に出かけることが苦手だという声を聞くことがあるが。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>	<p>◆検証(達成状況, その要因) ・妊娠届出時の妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・こんには赤ちゃん事業は、新生児期に入院治療が続き、母子の市外への里帰り等により、訪問不成立の家庭がある。訪問率95.2%。訪問できなかった世帯に対しても、情報提供の実施をすともにも、乳児一般健康診査受診歴や予防接種履歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努めている。</p>
<p>効率</p>	<p>事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>	<p>効率性</p>	<p>◆推進委員会の点検項目 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>	<p>◆検証(達成状況, その要因) ・妊娠届出時の妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・こんには赤ちゃん事業は、新生児期に入院治療が続き、母子の市外への里帰り等により、訪問不成立の家庭がある。訪問率95.2%。訪問できなかった世帯に対しても、情報提供の実施をすともにも、乳児一般健康診査受診歴や予防接種履歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努めている。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>
<p>有効</p>	<p>事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>	<p>有効性</p>	<p>◆推進委員会の点検項目 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>	<p>◆検証(達成状況, その要因) ・妊娠届出時の妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・こんには赤ちゃん事業は、新生児期に入院治療が続き、母子の市外への里帰り等により、訪問不成立の家庭がある。訪問率95.2%。訪問できなかった世帯に対しても、情報提供の実施をすともにも、乳児一般健康診査受診歴や予防接種履歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努めている。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>
<p>工夫</p>	<p>男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>工夫・配慮</p>	<p>◆推進委員会の点検項目 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>	<p>◆検証(達成状況, その要因) ・妊娠届出時の妊婦の面接率100%達成。 ・パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大により中止が重なり、参加組数は目標に届かなかった。参加組数 71組。 ・こんには赤ちゃん事業は、新生児期に入院治療が続き、母子の市外への里帰り等により、訪問不成立の家庭がある。訪問率95.2%。訪問できなかった世帯に対しても、情報提供の実施をすともにも、乳児一般健康診査受診歴や予防接種履歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努めている。</p>	<p>◆対応(改善, 今後どのようにするか) 令和4年度から市内4か所目の子育て世代包括支援センターを設置。母子保健コーナーも9名に増員し、令和4度も妊婦の面接率100%を継続する。パパママ教室・子育て相談はぐくみともにもコロナ禍のなか開催継続する。妊娠、出産、産後、子育てにかかると相談・支援・情報提供に取り組み。子育て世代包括支援センターうち3か所は地域子育て支援センターと併設しており、地域において気軽に子供連れで訪れやすい雰囲気形成、周知を図る。また、パパママ教室や子育て相談はぐくみの開催場所を子育て世代包括支援センターにて開催しており、きつかけづくりを行う。</p>



基本目標		取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	事業名	◆ 具体的取組 《工夫や配慮した点等》 新型コロナウイルス感染症感染拡大により2か月余り幼児健診を中止した。この影響により健診受診率は、1歳6か月児健診、3歳児健診とともに前年度より下がっている。			◆ 対応 《改善、今後どのようにするか》 コロナ禍により令和2・3年と健診を中止した期間があったため、その影響により受診率が下がった経過あり。令和4年度は繰り越された対象者を呼出すため、健診体制の調整に苦慮している。いまだ感染拡大が続く中、感染予防策を最大限にとり、健診継続を維持することで受診率向上を図る。また、1歳6か月児健診では、子ども育成課と連携により新たに親子絵本ふれあい事業にも取り組む。 健診未受診の幼児には、子育て支援訪問員や保健師が手紙や訪問により受診勧奨を継続実施する。
			No.	56	◆ 事業(概要) 母子保健法に基づく健康診査として、幼児の成長発達の確認及び子育ての助言を行うため、1歳6か月児健診及び3歳児健診を実施する。 幼児健診受診促進事業として、一定期間の未受診児に対し、子育て支援訪問員や保健師が訪問し受診勧奨をする。訪問して会えない場合、文書による勧奨も実施。(県の幼児健診受診促進補助金を活用。)		
			◆ 男女共同参画の視点からの目的 受診率向上及び父親の子育て参加の機会促進のため、各健診のうち一定数の日曜健診を実施する。	◆ 検証 《達成状況、その要因》 1歳6か月児健診受診率 94.4% 受診勧奨訪問実績(延) 95件 3歳児健診受診率 95.6% 受診勧奨訪問実績(延) 152件	◆ 推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆ 推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 意見なし 【課題等】 ・コロナ禍で健診が中止となり、率が下がっているようだから継続を。	
			◆ 活動指標(目標) 子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。 1歳6か月児健診受診率 95% 3歳児健診受診率 95%	◆ 活動指標(目標) ◆ 活動指標(目標) 子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。 1歳6か月児健診受診率 95% 3歳児健診受診率 95%	◆ 活動指標(目標) ◆ 活動指標(目標) 子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。 1歳6か月児健診受診率 95% 3歳児健診受診率 95%	◆ 活動指標(目標) ◆ 活動指標(目標) 子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。 1歳6か月児健診受診率 95% 3歳児健診受診率 95%	
			◆ (参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.4%以下	◆ (参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.4%以下	◆ (参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.4%以下	◆ (参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.4%以下	

Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
基本目標	5	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援 生涯にわたる健康生活を充実させましょう					
	7	取組の方向性					
事業名	No.	◆ 具体的取組《工夫や配慮した点等》		◆ 検証《達成状況, その要因》		◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》	
	57	・女性対象相談 2,066件 一般相談 1,954件(DV含む) 法律相談 75件 こころの相談 37件 ・男性対象相談 53件		評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った ◆ 検証《達成状況, その要因》 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、一般相談(面談)、専門相談を8/20～9/26、2/12～3/6中止した。		◆ 対応《改善, 今後どのようにするか》 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、8/18～9/16一般相談の面談を中止し、電話のみの対応とした。 専門相談(法律相談, こころの相談, 男性のための悩み相談)は、実施場所を面談室から講習室等の広い部屋に変更のうえ継続して実施している。	
活動指標(目標)	◆ 事業(概要)		◆ 男女共同参画の視点からの目的		◆ 活動指標(目標)		
	・女性対象：一般相談(開館日) ・専門相談(法律相談/月2回, こころの相談/月2回) 令和3年度からこころの相談を月2回に拡充 ・男性対象：男性のための悩み相談 月3回		人生100年時代を見据え, 心身の健康を保ち, 男女が生涯にわたり参画し続けられるようにする。		・一般相談 1,600件		
決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7	
担当課		ソール					
写真等							
◆ (参考)関連する数値目標		健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.27年 女性21.77年					

高知市男女共同参画
推進委員会による点検
(参考資料)

令和3年度個別事業実施状況報告についての高知市男女共同参画推進委員会による点検結果(参考資料)

数値は(○:特に良かった, ×:課題がある, ()書き:△)とした委員の人数。委員総数は10人。

事業No	事業名	担当課	点検項目						有効性	男女共同参画の視点での工夫や配慮 男女共同参画の視点からの工夫や配慮があるか	点検コメント (特に良かった点,悪かった点,課題等)
			必要性	効率性	事業実施方法は適切か	事業コスト、費用対効果は適当か	事業の活動指標の達成状況は順調か	事業効果の向上のために具体的取組は妥当か			
1	男女共同参画の日「8月1日」事業	人権回和・男女共同参画課	○	○	○	○	○	○	○	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示本, 写真作品良かった。 ・ 図書企画展の展示本約90冊の貸出は良い成果だった。 ・ 一気には難しいが, 少しずつジェンダー平等に対する意識が高まっていけばいい。 ・ パネル展等の情報発信をSNS等でできている。 ・ 8月1日が「高知市男女共同参画の日」ということが市民にどれだけ浸透しているか検証できれば尚良い。 ・ 啓発広聴団体に偏りがあるように思われるため, もう少し広く呼びかけられないか。 ・ 事業展開が啓発の趣旨により近くなってきたと思うが, 今後は分野別応募数の目標設定等を行い, 弱点を見つけ手を打つなどに繋げるようにしてほしい。
2	広報・啓発と情報発信(市民等向け)	人権回和・男女共同参画課							1		<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル展とSNSの活用等それぞれの年代に向けての多様な啓発が行われている。 ・ 「にじいろ階段」は具体的に, ジェンダー平等における市の方向性がわかりやすい。 ・ 市民向け, 企業向けそれぞれの啓発の工夫がされている。 ・ 「にじいろ階段」が何を示すのかが近くにあるよい。
3	広報・啓発と情報発信(庁内向け)	人権回和・男女共同参画課								1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニフラッグは, 話題の始まり, には良い。 ・ 職員がピンバッジをつけるという事は自らが「ALLY」であることを宣言しているということであり, 職員の理解がないとできないので良い取り組みだと思う。 ・ ミニフラッグとピンバッジが溢れすぎていて, 一人一人が全てをちゃんと理解できているのだろうか。
4	多様な性のあり方を尊重する取組の推進	人権回和・男女共同参画課	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な性の尊重「生きにくさ」への支援を市が表明したことが知られて良い。 ・ 順調に運用がされている。
5	レインボースクール	人権・こども支援課							1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 百間は一見に如かず。こういった活動を積み重ねていった方がより広まっていくと思う。 ・ より多くの学校で講話が行われるとよい。 ・ 身近な体験により懸念の課題を学べる良さがあるのではないかと。 ・ 効果判定のため, 感想等を知らせてほしい。 ・ もっと学校での講師派遣が必要。 ・ 要望20校に対し, 実施8校はもったいない。講師の都合もあると思うが, 予算流用も含めて柔軟に対応を。

事業No	事業名	担当課	点検項目						点検コメント (特に良かった点、悪かった点、課題等)
			必要性 事業がプラン 数値目標達成 に結びつくか	効率性		有効性		男女共同参画 の視点での工 夫や配慮 男女共同参画 の視点からの 工夫や配慮 があるか	
				事業実施方法 は適切か	事業コスト 費用対効果 は適当か	事業の活動指 標の達成状況 は順調か	事業効果の向 上のために 具体的取組 は妥当か		
6	学校における 男女平等教育 の推進	人権・こども 支援課	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 全ての学校が、「女性」の人権課題へ取り組んで目標を達成している。 義務教育の期間で男女共同参画を実現するための学習を推進している。 活動指標や検証に「女性」の人権課題への取組として記載されているが、「ジェンダー平等」の課題への取組と表現し、その内容には女性ばかりでなく男性や多様な性の人権課題への取組が含まれるようにすべき。この観点では、事業名についても再考が必要ではないか。
7	健康教育(性に 関する指導)の 推進	学校教育課							<ul style="list-style-type: none"> 事業の内容がどのように取組、結果に結びついているのかが見えてこないように思う。
8	市職員に対す る研修	人事課					1		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響は理解できるが、WEB研修なども検討を。 女性リーダー研修は良いが、昇格の人事権を握っている人たちこそ、男女共同参画の勉強が必要ではないか。総務や企画、財務等での管理職登用が必要では。
11	審議会等の女 性登用の推進	人権同和・ 男女共同参 画課	1				1		<ul style="list-style-type: none"> 女性委員がない、少ない審議会について、その理由を分析し継続的に検証すべきではないか。 審議会の開催時間が基本、就業時間で終わることも考える必要がある(そうでないと職員も委員も家庭責任があれば参加が困難)。 なぜ女性委員の登用が必要なのかをはっきりさせ、必要であれば根本的な取り組みが必要なのではないか。
12	各役職段階に 占める女性職 員の割合の向 上	人事課							<ul style="list-style-type: none"> 係長級以上の割合は過去5年間わずかではあるが常に上昇しているが、課長級以上となると極端に下がっている。 意識づけや情報提供とともに、職員の方それぞれの持つ背景などを上司が面談等を通して共有していくことも大切。
15	人権啓発の推 進	人権同和・ 男女共同参 画課			1	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 「にじいろのまち」の取り組みについての依頼があったということは、主体的な取り組みが実を結んでいると評価できる。 人権に関わる講演会を年5回以上を目標にしっかりと実施しているが、ここに男女共同参画の視点があれば、目的に合致する。
16	DV防止啓発	人権同和・ 男女共同参 画課		1					<ul style="list-style-type: none"> パネル展、動画、SNS等、手段を考え、多様な媒体を使った取り組みがされている。 動画の作成、放映は従来アプローチできなかった人々へ届けられた可能性はある。

事業No	事業名	担当課	点検項目						点検コメント (特に良かった点、悪かった点、課題等)
			必要性 事業がプラン 数値目標達成 に結びつくか	効率性		有効性		男女共同参画 の視点での工 夫や配慮 男女共同参画 の視点からの 工夫や配慮 があるか	
				事業実施方法 は適切か	事業コスト 費用対効果 は適当か	事業の活動指 標の達成状況 は順調か	事業効果の向 上のために 具体的取組 は妥当か		
18	児童虐待予防 推進事業	子ども家庭 支援セン ター	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと力を入れるべき。 ・ 講演会テーマは子育て・性教育に関する男女共同関連としては大事だが、児童虐待予防のテーマとして適切なのか、という点で疑問。 ・ 児童虐待防止は、大きな講演会で何かを学ぶ、ということと進展する段階なのか疑問。今は、いろいろなどところで児童虐待が起きており、市民として何ができるのかという段階のように思う。特定の児童虐待の事例を振り返り、参加者一人ひとりが考えを出し合い、皆で討論するワークショップのような形の啓発方法なども検討すべきではないか。
19	情報ワラル教 育の推進	少年補導セ ンター		2	1	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報ワラル教育(出前授業) ・ 依頼への対応100%。依頼にしっかり対応することが大切。 ・ 職員派遣の際に、依頼内容に応じ、行く職員の工夫している。 ・ 生徒1人1台タブレットが配付され、ますます情報と接する機会が増えていると思う。子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、教育現場の責任として教育を充実してほしい。
20	人権全般にお ける相談体制 の充実	人権同和・ 男女共同参 画課		2		1			
21	DV等被害者支 援ネットワーク 会議の連携強 化	人権同和・ 男女共同参 画課		1					<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度末に発生した情報漏洩への対策が中心だが、計画した対策を行ったからA評価ということとよいのか。
24	ハラズメント防 止研修	人事課			2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の総意(共通認識)が大切。 ・ ハラスメントについて管理職の意識が高いことはよい。 ・ 研修の必要性が分かる。ぜひ、研修の成果を民間にも広げてほしい。 ・ パワハラは管理職にとって難しい対応だと思う。正しく理解できるよう繰り返し理解を深めるための研修を継続的に行ってほしい。 ・ 業務の都合で参加できなかった管理職には後日見てもらうなどの工夫も必要。 ・ 受講率84%だが、全員受けるべき。もっと受講率が高くてよい。
25	SOGI職員研 修	人権同和・ 男女共同参 画課		3				1	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートを実施し、分析している点は良かった。 ・ 動画視聴による研修を全職員を対象にしているところがよい。 ・ 理解不足の職員の失言や行動で制限をうけないよう更なる理解促進を図ってほしい。

事業No	事業名	担当課	点検項目							点検コメント (特に良かった点、悪かった点、課題等)	
			必要性 事業がプログラ ン数値目標達成 に結びつくか	効率性		有効性		男女共同参画 の視点での工 夫や配慮 男女共同参画 の視点からの 工夫や配慮 があるか			
				事業実施方法 は適切か	事業コスト 費用対効果 は適当か	事業の活動指 標の達成状況 は順調か	事業効果の向 上のために 具体的取組 は妥当か				
28	男女共同参画 推進企業表彰	人権回和・ 男女共同参 画課	○	○	○	○	○	○	○	×	<ul style="list-style-type: none"> 応募企業が指標を上回っており、周知に努めている。 表彰制度があることで活動意欲がでる。 事業がある程度定着してきたと思われる。 表彰企業は大手が多く、中小企業にハードルが高い。そこで、従来の基準とは別に自薦・他薦で きるようにしてはどうか。
29	男性職員の子 育て参加の促 進	人事課		2		1	1		1		<ul style="list-style-type: none"> 地道に頑張っしてほしい。 給付制度についてまとめたパンフレット作成。 職員の取得状況を日々または月で把握しているのか。また、対象者の把握はできているのか。 男性を含め、組織の働き方そのもの(休暇がとれる、突然の残業はしなくてよい仕事の進め方 等)も、ともに考えていく必要がある。
30	「高知市労働 ニュース」の充 実・情報提供の 拡充	産業政策課							1		
32	地域の子育て 支援・子育て相 談	子ども育成 課				2	1				<ul style="list-style-type: none"> SNSやZOOMを活用した支援は良い。 施設の利用者数が指標を上回り、特に父親の割合も高く、良い傾向。 延べ利用者数が目標を達成しているにもかかわらず、平成30年度の6割程度というのは、コロ ナ禍の影響を勘案しての目標であれば、コロナが落ち着いた場合の目標値は見直すべきと思う。
33	ファミリー・サ ポート・セン ター事業	子ども育成 課		1		1	4				<ul style="list-style-type: none"> 地域での事業説明会を新たに実施し、参加者の9割が登録するなど、会員増の工夫を行ってい る。 事業説明会の成果が顕著。 相互援助活動、良い試みだと思ふ。事業を知ってもらえるよう、発信の継続を。 二一スは多いと思われれるので、さらなる充実を。
34	地域の子育て 支援・子育て相 談	保育幼稚園 課							1		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍、オンライン相談やSNSでの発信など工夫が見られる。 コロナ禍で交流スペースを休止せざるを得なかったことで、利用者が減少したのは仕方がない。
35	生活支援サー ビスの充実	高齢者支援 課									<ul style="list-style-type: none"> これからの活動が期待できると思う。

事業 No	事業名	担当課	点検項目						点検コメント (特に良かった点、悪かった点、課題等)		
			必要性 事業がプラン 数値目標達成 に結びつくか	効率性		有効性		男女共同参画 の視点での工 夫や配慮 男女共同参画 の視点からの 工夫や配慮 があるか			
				事業実施方法 は適切か	事業コスト 費用対効果 は適当か	事業の活動指 標の達成状況 は順調か	事業効果の向 上のために 具体的取組 は妥当か				
43	消防団の充実 強化	消防局総務 課	○	○	○	○	○	○	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転新築工事を行い、女性団員に配慮した構造になっている。 ・ コロナ禍においても検討会等を開催できる工夫を。 ・ 女性消防団員の現状が何人かで目標値の人数の記載がないと検証が困難。 	
45	避難所運営体 制の整備	地域防災推 進課		1					2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性をメンバーに加えてのマニュアル作りは、女性の視点が生かされる良い取組。 ・ 施設のマニュアルが今後活用されればよい。 ・ 一般的に避難所では性による分業が多いと言われる。避難所運営本部など意思決定機関に女性 の割合を増やす必要がある。 ・ 検討会が開催できている地域とできていない地域とは何か地域差があるのか。 	
46	れんげいこうち 防災人づくり 塾	防災政策課		3						1	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍であったが、しっかりと開催している。 ・ 参加者の男女のバランスもとれており、アンケートをとっているところも良い。 ・ 男女ともに防災人づくり塾を修了しており、交流も深まると思う。
48	さまざまな世 代やライフスタ イルに応じた健 康づくりのため の講座等の開 催	高齢者支援 課		1						2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数は、対象者が高齢者ということをやむを得ない結果だと思う。その中でもなんとかつ なげようと工夫しており、良いと思う。 ・ コロナ禍で集まることができないため、メディアやSNS、チラシ配布など取組を工夫している。 ・ 事業のコスト、費用対効果は適当か。
49	生涯学習活動 の促進	文化振興課		1						1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数が目標以下なのは、仕方のないことと思う。その中でも工夫して開催しようと良く努力 している。 ・ 身につけた技術や知識を活かそうとしている割合が96%と高い。
50	スポーツ推進 事業	スポーツ振 興課	1	1 (1)						1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の事業が未実施のため評価できない。 ・ 男女共同参画の視点をも少し明確に。 ・ コロナ禍でコミュニケーションにつながる地区運動会ができず残念。 ・ スポンサーイベントとコロナとの共存を考えれば、従来型のアスリート系の競技のみならず、健康 増進の取組などを取り入れ、時機に応じた内容の準備が必要ではないか。
51	がん検診	健康増進課		2						1	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で受診を控えることもやむを得ないと思う。コロナ収束後にコロナ前より受診者が減 少しないよう効果的な啓発の継続を。 ・ 取組は継続的に行っている。受診率が上がらない要因を引き続き考えていく必要がある。 ・ 検診の重要性を学ぶ機会を若者に伝えるなどの取組も今後あってもよいかも。 ・ 受診していない方への案内は十分されていると思うが、検診率は低いと思う。 ・ 従来に比べ、受診者を増やそうとする取組が多面的になっている。さらに検診してほしいのは3 月の検診補助。働いている女性は、検診等は後回しになりがちで、3月に検診を受けようとする 補助対象期間を過ぎることになり、負担が大きくなる。医療機関への支払い等が関係していると のことだから検診を。

事業 No	事業名	担当課	点検項目						点検コメント (特に良かった点、悪かった点、課題等)		
			必要性		効率性		有効性				
			事業がプラン 数値目標達成 に結びつくか	事業実施方法 は適切か	事業コスト 費用対効果 は適当か	事業の活動指 標の達成状況 は順調か	事業効果の向 上のために 具体的取組 は妥当か	男女共同参画 の視点での工 夫や配慮 男女共同参画 の視点からの 工夫や配慮 があるか			
52	成人歯周病検 診	健康増進課	○	×	○	×	○	×	○	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良い事業。 ・ コロナ禍での健診事業でありながら目標をほぼ達成、頑張っている。 ・ 最近、歯周病検診が重要視されているので、メディアを使ってさらなる呼びかけを。
53	こころの相談 窓口	健康増進課		1		2		2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な工夫を凝らして相談に応じており、目標の倍近い実績もあげていて大変すばらしい。公 式LINEを効果的に活用した広報の成果である。 ・ こころの体温計は良い取組。企業にも周知されるとよい。 ・ コロナ禍で相談件数が指標を上回っている。引き続きお願いする。 	
54	思春期保健事 業	母子保健課		1					1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育現場では、もっと利用が多くてもよいのでは。 	
55	妊娠・出産期等 の支援	母子保健課		1		1		1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦の面接率100%達成。 ・ パパママ教室好評。コロナによる開催中止は残念。 ・ 訪問不成立の家庭に対してフォローができています。引き続き100%を目指してほしい。また、状 況把握の継続を。 ・ 妊娠中や出産後の育児の不安軽減につながる事業だと思ふ。 ・ 支援センター等の場に出かけることが苦手だという声を聞くことがあるが。 	
56	幼児健診	母子保健課		1				1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で健診が中止となり、率が下がっているようだが継続を。 	
全体への意見			<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標、取組欄に数値目標・実績数値がないと検証ができない。 ・ 課の取り組みが記載されているだけで男女共同参画の推進にどう寄与するかの記載がないも のも見られた。 								

数值報告

数値報告

施策	番号	担当課	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	1	人権同和・男女共同参画課	高知市男女共同参画に関する市民意識調査(5年毎に実施) ①抽出方法 ②抽出日 ③調査期間 ④有効回収数 ⑤有効回収率	-	-	①住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出3,000人 ②令和元年10月2日 ③令和元年10月10日～11月11日 ④1,023人(うち女性605人) ⑤34.1%	-	-
	2	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「社会通念、慣習・しきたり」などで男女の地位が平等だと感じる人の割合」	-	-	15.7%(市)	-	-
	3	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「男は仕事、女は家庭などの性別による固定的な役割分担意識に同意しない割合」	-	-	70.3%(市)	-	-
	4	人権同和・男女共同参画課	①市審議会等の女性委員比率 ②女性委員0の市審議会等の比率	①29.1% (1,450人のうち女性422人) ②16.7% (132会のうち22会が女性0人)	①31.0% (1,408人のうち女性437人) ②17.1% (129会のうち22会が女性0人)	①30.1% (1,502人のうち女性452人) ②17.3% (138会のうち24会が女性0人)	①32.3% (1,417人のうち女性457人) ②11.0% (118会のうち13会が女性0人)	①31.1% (1,317人のうち女性432人) ②13.0% (115会のうち15会)
	5	人事課	高知市管理・監督職(係長級以上)女性比率	31.3% (587人うち女性184人)	31.6% (607人うち女性192人)	33.1% (612人うち女性203人)	33.3% (620人うち女性207人)	36.0% (630人うち女性227人)
	6	学校教育課	市立学校(小・中・特別支援学校)における ①女性教職員人数(比率) ②女性管理職人数(比率)	①951人(66.0%) ②37人(29.1%)	①983人(65.4%) ②37人(29.4%)	①932人(67.6%) ②41人(32.5%)	①897人(66.2%) ②40人(32.3%)	①920人(66.4%) ②43人(33.3%)
	7	人権同和・男女共同参画課	【男女共同参画研修】(階層別) ①対象階層 ②参加人数	「男女共同参画の視点からのワーク・ライフ・バランス」 ①主査級 ②257名	「男女共同参画の視点からのワーク・ライフ・バランス」 ①主査補・技査補級 ②231名	「男女共同参画の視点からのワーク・ライフ・バランス」 ①主事・技師級 ②306名	「ちやんど知りたいLGBTs」 ①係長級 ②190名	「SOGI職員研修」 ①全職員 ②530名
	8	人事課(人材育成)	【男女共同参画研修】 対象:新任課長補佐研修 参加人数	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 平成30年1月9日 2年目課長補佐級職員等21名	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 平成31年1月16日 2年目課長補佐級職員等42名	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和元年1月22日 2年目課長補佐級職員等54人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月6日 2年目課長補佐級職員等40人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年11月5日 2年目課長補佐級職員等36人

数値報告

施策	番号	担当課	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	9	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「DVを経験したことがある人の割合」	-	-	25.2%(市)	-	-
	10	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合」	-	-	65.1%(市)	-	-
	11	人権同和・男女共同参画課	ソーシ 女性対象一般相談のうち「暴力」に関する相談件数	136件	124件	136件	97件	74件
	12	子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターにおける児童相談のうち「児童虐待相談」件数	197件	221件	230件(修正)	217件	180件
	13	少年補導センター	街頭補導状況【市少年補導センター】 ①在学少年(小・中・高校・他の学校) ②非在学少年(有職・無職)	①143人(うち女子47人) ②10人(うち女子2人)	①53人(うち女子14人) ②9人(うち女子0人)	①90人(うち女子8人) ②3人(うち女子0人)	①80人(うち女子23人) ②15人(うち女子1人)	①168人(うち女子28人) ②17人(うち女子4人)
	14	少年補導センター	相談受理状況【市少年補導センター】 ※後開電話相談【7月119「シカ-119」含む(※平成30年度で事業終了)】 ①在学少年(小・中・高校・他の学校) ②非在学少年(有職・無職)	①138人(うち女子42人) ②5人(うち女子3人)	①172人(うち女子66人) ②9人(うち女子4人)	①167人(うち女子46人) ②1人(うち女子0人)	①132人(うち女子54人) ②2人(うち女子0人)	①97人(うち女子53人) ②2人(うち女子1人)
	15	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「性別による不当な扱いと感じる項目と割合」	-	-	賃金格差 11.6% 昇給・昇格 11.3% 自由に休暇とりにくい 19.2% 育児・介護休暇とりにくい 7.1%	-	-
	16	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「家事を全くしない男性の割合」	-	-	15.2%	-	-
	17	人事課	①男性の育児休暇取得者数・取得率(市職員) ②配偶者出産休暇取得者数・取得率(市職員)	①4人 5.5% ②62人 84.9%	①6人 8.3% ②57人 79.2%	①7人 9.9% ②52人 73.2%	①9人 12.5% ②57人 79.2%	①10人 17.9% ②47人 83.9%
	18	人事課	市新規採用職員(事務職)女性比率 <実施年度別>	61% (59人のうち女性36人)	73% (60人のうち女性44人)	57.4% (54人のうち女性31人)	51.2% (41人のうち21人)	78.1% (64人のうち50人)

数値報告

施策	番号	担当課	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を表現しましょう	19	人事課(人材育成)	【女性職員の人材育成・能力開発研修】参加人数 ①自治大学(25日間) ②市町村アカデミー(a 4日間・b 8日間) ③国際文化アカデミー(5日間) ④その他の研修	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③0人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人
	20	学校教育課	高等学校進学率 ①全体 ②男 ③女	①97.7% ②96.6% ③98.9%	①98.6% ②98.2% ③99.1%	①98.7% ②97.6% ③99.5%	①98.6% ②98.4% ③98.8%	①98.3% ②98.0% ③98.8% 未進学(就職含む) 男 21名 女 11名
	21	子育て給付課	ひとり親家庭自立支援相談件数(延件数) <医療・健康、就労、児童、経済的支援等> ①母子家庭相談数 ②父子家庭相談数	①母子家庭 1,418件 ②父子家庭 23件	①母子家庭 1,412件 ②父子家庭 22件	①母子家庭 1,019件 ②父子家庭 30件	①母子家庭 1,084件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 825件 ②父子家庭 28件
	22	子育て給付課	母子家庭等就業・自立支援センター事業【高知県と共同実施】 (就業相談・就業情報提供等支援サービス)提供 ①相談件数 ②就業者数	①830件 ②27人(高知市のみ)	①543件 ②26人(高知市のみ)	①632件 ②31人(高知市のみ)	①647件 ②21人(高知市のみ)	①691件 ②3人(高知市のみ)
	23	産業政策課	就職につながった市主催セミナー修了者 ①若者就職応援セミナー	①4人(うち女性3人)	①11人(うち女性4人)	①12人(うち女性8人)	①3人(うち女性2名)	①5人(うち女性2人)
	24	母子保健課	母子訪問指導(美人数/延人数) ①妊婦 ②産婦 ③新生児 ④未熟児 ⑤乳児 ⑥幼児 ⑦その他 ⑧赤ちゃん誕生おめでとう訪問<全戸訪問>(美人数/対象者数=訪問率)	訪問指導(美人数/延人数) ①妊婦 (80/148) ②産婦 (203/453) ③新生児 (44/54) ④未熟児 (26/56) ⑤乳児 (277/619) ⑥幼児 (977/1,211) ⑦その他 (16/23) ①～⑦合計 2,564人(延) ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,576/2,647=97.3%)	訪問指導(美人数/延人数) ①妊婦 (103/203) ②産婦 (246/582) ③新生児 (55/77) ④未熟児 (23/45) ⑤乳児 (362/899) ⑥幼児 (804/1,094) ⑦その他 (21/24) ①～⑦合計 2,924人(延) ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,361/2,436=96.9%)	訪問指導(美人数/延人数) ①妊婦 (90/179) ②産婦 (274/466) ③新生児 (53/62) ④未熟児 (30/51) ⑤乳児 (407/938) ⑥幼児 (846/1,175) ⑦その他 (12/29) ①～⑦合計 2,900人(延) ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,230/2,289=97.4%)	訪問指導(美人数/延人数) ①妊婦 (74/130) ②産婦 (224/441) ③新生児 (47/83) ④未熟児 (10/35) ⑤乳児 (350/776) ⑥幼児 (744/871) ⑦その他 (20/39) ①～⑦合計 2,375人(延) ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,101/2,205=95.3%)	訪問指導(美人数/延人数) ①妊婦 (56/96) ②産婦 (231/400) ③新生児 (57/71) ④未熟児 (13/28) ⑤乳児 (283/485) ⑥幼児 (504/626) ⑦その他 (11/15) ①～⑦合計 1,721人(延) ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,118/2,223=95.2%)

数値報告

施策	番号	担当課	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を表現しよう	25	母子保健課	ババママ教室 (初めての妊娠の方とパートナー対象) ①美参加組数 ②延参加組数	①59組 ②169組	①65組 ②183組	元年度から内容・回数等変更 ・ババママ教室 妊婦73人、家族73人 ・ババママひろば 妊婦73人、家族69人 合計参加総数146組、288人	・ババママ教室 妊婦84人、家族84人 ・ババママひろば 妊婦106人、家族97人 合計参加総数190組、371人	・ババママ教室 妊婦71人、家族68人 合計参加総数71組、139人
	26	子ども育成課	ファミリーサポートセンター ①依頼会員登録者数 ②援助会員登録者数 ③町方会員登録者数 ④活動件数	①818人(男性36人、女性782人) ②426人(男性25人、女性401人) ③67人(男性1人、女性66人) ④8,167件	①794人(男性33人、女性761人) ②430人(男性22人、女性408人) ③61人(男性1人、女性60人) ④6,456件	①784人(男性34人、女性750人) ②441人(男性26人、女性415人) ③62人(男性1人、女性61人) ④5,521件	①741人(男性34人、女性707人) ②447人(男性29人、女性418人) ③55人(男性0人、女性55人) ④4,278件	①727人(男性36人、女性691人) ②443人(男性28人、女性415人) ③51人(男性1人、女性50人) ④5,743件
	27	子ども育成課	病児・病後児童保育実施施設・利用人数 ①袖木病院 <定員:6人> ②三愛病院 <定員:6人> ③うららか保育園<定員:3人> ④もみのき病院 (合計・利用人数)	① 492人 ② 600人 ③ 252人 ④ 499人 (計1,843人)	① 419人 ② 590人 ③ 272人 ④ 440人 (計1,721人)	① 492人 ② 614人 ③ 235人 ④ 451人 (計1,792人)	① 153人 ② 131人 ③ 125人 ④ 128人 (計537人)	① 281人 ② 170人 ③ 182人 ④ 196人 (計829人)
	28	子ども育成課	子育て相談件数(延件数) ③抽導子育て支援センター a「あい」 b「ほけっとランド」 c「くすくすひろば」 d「はるの・わくわくほけっと」	③a 148件 b 124件 c 42件 d 14件	③a 263件 b 93件 c 89件 d 186件	③a 361件 b 66件 c 130件 d 148件	③a 203件 b 119件 c 103件 d 164件	③a 213件 b 118件 c 192件 d 143件
	29	子ども育成課	放課後児童クラブ ①クラブ数 ②原簿数 ③指導員数(男女比)	①85 ②3,516人 ③144人(うち女性143人)	①88 ②3,457人 ③141人(うち女性140人)	①92 ②3,507人 ③154人(うち女性153人)	①89 ②3,355人 ③152人(うち女性151人)	①88 ②3,202人 ③151人(うち女性150人)
	30	保育幼稚園課	保育所入所児童数/就学前児童数(入所率) (入所地保育所は除く)	8,894人/15,906人(55.9%)	8,788人/15,627人(56.2%)	8,657人/15,216人(56.9%)	8,513人/14,653人(58.1%)	8,238人/14,043人(58.7%)

数値報告

施策	番号	担当課	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう	31	保育幼稚園課	市保育所待機児童数 ①4月1日時点 ②1月1日時点 児童の年齢	①73人 0歳 5人 1-2歳 63人 3歳以上 5人 ②228人 0歳 159人 1-2歳 65人 3歳以上 4人	①43人 0歳 8人 1-2歳 33人 3歳以上 2人 ②203人 0歳 156人 1-2歳 44人 3歳以上 3人	① 34人 0歳 5人 1-2歳 28人 3歳以上 1人 ②168人 0歳 116人 1-2歳 52人 3歳以上 0人	①26人 0歳 0人 1-2歳 24人 3歳以上 2人 ②109人 0歳 89人 1-2歳 18人 3歳以上 2人	①111人 0歳 0人 1-2歳 11人 3歳以上 0人 ②79人 0歳 70人 1-2歳 8人 3歳以上 1人
	32	保育幼稚園課	延長保育実施保育所数/認可保育所全数 利用人数	①民営 40園/全62園 ②市営 17園/全27園 ①1,383人+②177人=1,560人	①民営 40園/全61園 ②市営 16園/全26園 ①1,541人+②172人=1,713人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,481人+②163人=1,644人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,316人+②147人=1,463人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,316人+②117人=1,433人
	33	保育幼稚園課	一時保育実施保育所数 利用人数	①民営 7園 ②市営 2園 ①+②=11,417	①民営 7園 ②市営 2園 ①+②=11,058人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=9,251人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=5,361人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=4,783人
	34	保育幼稚園課	低月齢保育児受入れ実施保育所数 受入れ人数(待機人数) ①4月1日時点 ②1月1日時点	86園 ①515人(5人) ②846人(159人)	84園 ①509人(8人) ②839人(156人)	84園 ①487人(5人) ②832人(116人)	84園 ①467人(0人) ②818人(89人)	84園 ①377人(0人) ②776人(70人)
	35	保育幼稚園課	子育て相談件数(延件数) ①<保育園>	①2,372件	①2,613件	①2,926件	①2,565件	①2,285件
	36	子ども家庭支援センター	子育て相談件数(延件数) ②子ども家庭支援センター(実数/延件数)	953件(延件数)	1,015件(延件数)	1,057件(延件数)	1,162件(延件数)	1,148件(延件数)
	37	スポーツ振興課	スポーツ推進指導員数(うち女性数)	385人(うち女性135人)	387人(うち女性134人)	380人(うち女性136人)	363人(うち女性129人)	357人(うち女性130人)
	38	人権回和・男女共同参画課	地区人権啓発推進委員会の女性委員比率	36.8% (1,029人のうち女性379人)	36.5% (1,155人のうち女性422人)	36.3% (1,141人のうち女性363人)	37.8% (993人のうち女性375人)	37.7% (976人のうち女性368人)
4 地域で、防災で男女共同参画をすすめます								

数値報告

施策	番号	担当課	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4 地域で、防災で男女共同参画をすすめます	39	くらし・交通安全課	交通安全指導員協議会人数(うち女性数)	186人(うち女性55人)	191人(うち女性57人)	196人(うち女性58人)	184人(うち女性57人)	169人(うち女性55人)
	40	地域防災推進課	自主防災組織数(組織率)	794組織(94.9%)	807組織(95.1%)	816組織(96.0%)	824組織(96.0%)	832組織(96.8%)
5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	41	健康増進課	がん検診受診率(検診対象者に対する受診者割合) 【市健康増進課】 ①子宮頸がん ②乳がん	①子宮頸がん 16.2% ②乳がん 19.9%	①子宮頸がん 15.4% ②乳がん 19.1%	①子宮頸がん 15.1% ②乳がん 18.8%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.4%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.3%
	42	健康増進課	女性健康診査受診者数 対象:20~39歳 内容:一般検診・歯科検診・子宮頸がん検診	260人	209人	219人	179人	145人
	43	【高知県】 (母子保健課)	中絶件数(うち10代)【高知県】	945件(87件)	887件(81件)	812件(70件)	756件(70件)	694件(53件)
	44	地域保健課	HIV検査件数 相談件数<検査時の相談は除く・夜間含> 【市地域保健課】	検査 247件 相談 23件	検査 358件 相談 92件	検査 368件 相談 47件	検査 201件 相談 22件	検査 258件 相談 12件

こうち男女共同参画センター
(ソーレ) 事業報告

令和3年度 事業実施報告（こうち男女共同参画センター「ソーレ」）

I 情報収集及び提供に関する業務

1 図書・情報資料収集・提供事業

(1) 図書・DVDの購入・整理

蔵書数		図書利用登録者数	
本	9,920冊	新規利用登録者数	105人
ビデオ・DVD	1,004本		
計	10,924冊・本	〃 累計	8,099人



図書・情報資料室

(2) 図書団体貸出

市町村図書館や学校、団体等に100冊まで貸し出し、図書情報の周知を図った。

貸出先	市町村10件、大学2件、その他3件(病院、NPO、関係機関)
貸出冊数	578冊

(3) 新聞クリッピング

男女共同参画・人権に関連する新聞記事を館内に掲示した。

2 図書・情報資料室利用促進事業

(1) テーマ別図書展示

定期的にテーマを決めて関連図書等を展示し、図書室の利用促進を図った。

4月	新着おすすめ図書	10月	DV関連図書
5月	男女共同参画推進月間に関連する図書	11月	女性に対する暴力をなくす月間に関連する図書
6月	情報紙掲載図書を紹介	12月	ソーレまつり講演会関連図書
7月	女性の権利	1月	ソーレまつり講演会関連図書
8月	性別を考える	2月	DV関連図書
9月	新着おすすめ図書	3月	新着おすすめ図書

(2) 図書のPOP作成

県内大学生にソーレの図書紹介文を作成してもらい、図書のPOPとして展示やソーレのツイッター掲載を行い、幅広い層へ図書の利用促進を図った。

(高知リハビリテーション専門職大学、高知大学の学生 37名 115件)



II 調査研究に関する業務

男女共同参画に関する統計データ収集・提供事業

統計データの収集・分析を行い、ホームページ内の「データで見るこうちの男女共同参画」で公開した。

Ⅲ 県民の理解を深めるための広報及び啓発に関する業務

1 広報・啓発事業

(1) 情報紙の発行

情報紙「ソーレ・スコープ vol.97～100」の発行(7・10・1・4月に各7,000部発行)
セミナーガイドの発行(年2回)



情報紙ソーレ・スコープ

(2) ホームページによる情報発信

実施事業の紹介・報告、センターの利用案内、男女共同参画に関する情報、財団の経営状況等をホームページを通じて広く県民に発信した。

(3) メールマガジンの発行(ソーレの事業、他県や市町村、関連機関の取組みを掲載)

メールマガジン「FROM ソーレ」の発信(毎月1日、計12回 ※令和3年度末の登録数 382件)

(4) SNSによる情報発信

SNS(Facebook、Twitter)を活用した広報・啓発を行った。

(5) 啓発誌発行・配布

男女共同参画及び女性問題に関する啓発誌を作成するとともに、講座開催や企画展示の機会に合わせ、県民に配布し、理解促進につなげた。



ソーレ啓発誌

(6) 啓発パネル作成・貸出し・企画展示

作成したパネルを館内の企画や地域のイベントで展示するとともに、他機関に貸し出すことで男女共同参画及び女性問題の啓発を図った。

啓発パネルの貸出	市町村等 6件
啓発パネル展等 企画展示	館内企画展示4回 男女共同参画推進月間(6月)、防災週間(9月)、女性に対する暴力をなくす運動期間(11月)



啓発パネルの展示

(7) その他の広報・啓発

地域のイベント(9月)や旭オンリーワン芸術祭(10月)その他のイベントと連携し、ソーレの取組を紹介するとともに、男女共同参画社会推進に向けた啓発活動を行うもの。令和3年度はコロナウイルス感染症拡大により対応なし。

(8) 講演会概要掲載

男女共同参画推進月間講演会、DV防止啓発講演会等の概要をソーレスコープやホームページに掲載した。

2 出前講座事業

男女共同参画、ハラスメント、DV・デートDV防止等について学ぶ機会を提供するため、講師を各市町村や地域、団体、企業等に派遣して講座等を行った。

(1) 出前講座(サポーター講師活用) ※サポーター講師はソールに登録している県内講師

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	4月23日	男女共同参画について～身近なこと、社会のこと～[委員]	高知県人権擁護委員協議会	42名 (17)
2	7月1日	あらゆるハラスメントの防止 [職場]	株式会社垣内	112名 (106)
	7月6日			49名 (45)
	7月6日			71名 (66)
3	9月29日	メディアリテラシー[利用者]	生活協同組合コープ自然派しこく	11名 -
4	9月29日	ジェンダー[職場]	一般社団法人 高知県移住促進・人材確保センター	15名 (2)
	10月1日			15名 (4)
5	10月9日	育児と仕事の両立支援[職場]	株式会社四国銀行	14名 (5)
6	10月28日	メディアリテラシー[生徒]	高知県立高岡高等学校	23名 (16)
7	11月10日	アンガーマネジメント[職場(事務職員)]	香美市立山田小学校	13名 (5)
8	12月2日	ハラスメントと人権[地域]	四万十市生涯学習課	20名 (11)
9	12月14日	メディアリテラシー[保護者・教員]	四万十市立中村小学校	65名 (10)
10	12月22日	LGBTQ[生徒]	高知県立高知追手前高等学校 吾北分校	39名 (23)
11	1月20日	LGBTQ[生徒]	高知県立高知東高等学校	230名 (80)
12	2月2日	高齢者の健康増進と生きがいづくり	室戸市羽根市民館	25名 (3)
				744名 (393)

(2) 出前講座(県内・県外講師活用)

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	6月11日	ジェンダー[生徒]	宿毛市立東中学校	20名 (6)
2	9月24日	デートDV[学生](オンライン)	高知大学男女共同参画推進室	59名 (28)
				79名 (34)

(3) 出前講座(ソール職員)

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	4月14日	デートDV[生徒]	高知県立高岡高等学校	280名 (121)
				280名 (121)
	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	6月2日	男女共同参画プラン検討[市町村]	室戸市 男女共同参画プラン策定委員会	13名 (5)
2	7月2日	DV[市町村]	高知市 男女共同参画推進本部 部局推進 委員会	14名 (4)
3	7月26日	男女共同参画とジェンダー[地域]	高知市 鴨田地区人権啓発推進委員会	21名 (9)
4	10月20日	男女共同参画プラン検討[市町村]	室戸市 男女共同参画プラン策定委員会	13名 (5)
5	11月8日	男女共同参画[団体]	高知県連合婦人会	34名 (2)
				95名 (25)
				375名 (146)

(4) ウェルカムセミナー(館内見学他)

ソールを会場とした施設見学や事業説明等を行った。

	開催日	内容	来館者(団体等)	参加者数 ()内は男性
1	8月6日	セミナー、施設見学	高知県立南高等学校	3名 (0)
				3名 (0)

出前講座事業参加人数 21講座1,201名
うち男性573名

IV 講演会、講習会、研修会等の開催に関する業務

1 男女共同参画推進事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
男女共同参画推進月間講演会【オンライン】 〈共催団体〉 高知県経営者協会他	6月19日	男女共同参画についての理解と意識の浸透を図るため、6月の男女共同参画推進月間に講演会を実施した。 〈講師〉 横山百合子(国立歴史民俗博物館名誉教授)	会場 125名 (33) オンライン 235名
男女共同参画講座【オンライン】	11月13日	性の多様性に関する正しい知識を身に付け、これからの社会づくりを考えるための講座を開催した。 〈講師〉 佐倉智美(ジェンダー&セクシュアリティライター/NPO法人SEAN理事)	会場 16名 (6) オンライン 35名 (5)
男女共同参画講座「ジェンダーカフェ」【一部オンライン】	6月20日 10月24日 10月31日 11月28日 2月20日	女性を取り巻く様々な問題に対して、参加者がテーマごとに意見交換できるように、カフェ形式の話し合う講座を開催した。 ※感染症拡大により2/20のみ会場開催からオンラインに変更 講師 ①横山百合子(国立歴史民俗博物館名誉教授) ②加藤伊都子(フェミニストカウンセリング堺) ③瀬山紀子(明治大学兼任講師) ④小川真知子(NPO法人SEAN理事長) ⑤伊田広行(DV加害者プログラム運営者)	会場 67名 (6) オンライン 17名 (1)



男女共同参画推進月間講演会



DV防止啓発講演会



2 DV防止啓発事業

講座名	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
DV防止啓発講演会【オンライン】 〈共催団体〉 高知地方務局 他	11月7日	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせ、ドメスティックバイオレンスの防止を広く県民に啓発するためDVに関する講演会を実施した。 (同時開催)11/1~25東日本大震災写真展・パープルリボンツリー設 〈講師〉 北仲 千里(NPO法人全国女性シェルターネット共同代表、広島大学ハラスメント相談室准教授)	会場 59名 (9) オンライン 80名 (5)

3 エンパワメント事業

講座名	開催日	内 容	参加者数
エンパワメント講座【オンライン】	11月21日	自己肯定感やコミュニケーション力を高めることで、女性が自分らしく社会に参画するために必要なスキルを身につける講座を開催した。 講師 佐藤美礼(NPO日本キャリア・コンサルタント協会理事/東海大学非常勤講師)	会場 8名 オンライン 3名
女性の多様なライフスタイル応援事業【オンライン】	3月6日	女性が多様な生き方に気づき、前向きに自分らしさが取り戻せるための機会を提供する講座を開催した。 講師 永森咲希(一般社団法人MoLive/オフィス永森)	オンライン 7名

4 ワーク・ライフ・バランス事業

講座名	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
大学生向けキャリア形成支援【オンライン】	9月23日	これから就職する学生を対象に、自らはどのような人生を求めているか、仕事も含めて考える講座を開催した。 高知大学との連携により開催 <講師> 児美川孝一郎(法政大学キャリアデザイン学部教授)	61名 (22)
男性家事講座	1月23日	男性の家事・育児への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークライフバランスの充実について考える講座として、料理教室を開催した。 <講師> 雨森学(「食空間 クー・ド・パレーヌ」オーナーシェフ)	9名 (9)
男のセルフマネジメント講座【オンライン】	11月20日	男性の悩みや生きづらさについて考え、性別役割分担意識に基づく課題や男女共同参画の意義について理解を深める講座を開催した。 <講師> 西井開(Re-Design For Men 代表)	会場 8名 (8) オンライン 10名 (10)



男性家事講座



男のセルフマネジメント講座



5 リプロダクティブ・ヘルス&ライツ (性と生殖に関する健康と権利)

女性の健康を考える講座	2月22日(中止) 3月5日(中止) 3月12日	自分でできる健康法として、骨盤底筋を鍛えることにより尿漏れ症状を軽くするための運動方法を体験する講座を開催した。 ※感染症拡大により一部中止 講師 三味美哉子(インターナショナルヨガセンター認定インストラクター/コンディショニングインストラクター)	10名
乳幼児を持つ保護者を対象とする性教育講座【オンライン】	2月27日	乳幼児を持つ親を対象に、幼児期からの性教育の大切さや子どもへの伝え方を学ぶための講座をオンライン(オンデマンド含む)により開催した。 <講師> 弘田恵子(助産師、保育士、絵本専門士)	オンライン 46名 (3)



性教育講座
乳幼児を持つ保護者対象の



オンライン開催の様子

6 防災啓発事業

講座名	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
防災教室	12月12日	防災対策にジェンダーの視点を反映するとともに、年齢、性別、国籍、障がいの有無など、災害時の要配慮者等の多様性にきめ細かく対応できるようにするための知識を習得ことで、防災意識の向上を図った。 <講師> 浅野幸子(減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表/早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員)	33名 (10)

7 他機関連携・共催事業

講座名	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
「女性の人權」 講演会 【オンライン】 <<共催団体>> NPO法人こうち被害者支援センター	2月16日 ~28日	女性に対する人権侵害の現状について知るとともに、人権侵害事象の解消と女性の人権について学ぶ講演会を実施した。 ※感染症拡大により会場開催からオンライン(録画視聴)に変更 犯罪被害者支援講演会 <講師> 大岡由佳(武庫川女子大学心理・社会福祉学部准教授)	オンライン 155名

V 人材育成に関する業務

1 人材育成事業

講座名	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
女性の活躍応援	9月26日 10月17日 11月14日	職場等で活用できるスキルやリーダーシップを発揮するために必要なことを学び、自分のスキルを活用しその場の運営にあたる力を養うことを目的に連続講座を開催した。 <講師> 平野智佐 (Office C Career代表)	69名
女性防災プロジェクト 【オンライン】	5月15日 6月26日 7月17日 10月16日 12月11日	男性中心で構成されることが多い地域の防災組織等で、女性が積極的に参画し、地域での活躍につなげるための講座を開催した。 <講師> 神原咲子(高知県立大学看護学部 特任教授) その他ゲスト講師	会場 168名 オンライン 26名
高知大学地域協働学部 「地域理解実習」		高知大学地域協働学部の「地域理解実習」の候補地としてソーレの資料や施設を提供し、大学と協働して男女共同参画の推進を図る。	

女性
防災
プロ
ジェ
クト

女性防災プロジェクト (全5回)
 知って学んで考える、私たちにできる取り組みと支援

日程 【第1回】 5月15日(土)
 【第2回】 6月26日(土)
 【第3回】 7月17日(土)
 【第4回】 9月11日(土)
 【第5回】 10月16日(土)

会場 高知大学 11:30~16:30
 会場 高知大学地域協働学部「ソーレ」3階 大ホール
 対象 防災に関心がある女性 (参加費無料/先着順)
 定員 20名 (先着順) ※オンライン参加も可能です。
 申込 締切 4月12日(月)9時
 問い合わせ 4月12日(月)9時~ (電話:097-923-5000)



プロジェクト(講座)の様子

2 就業・起業支援事業

※感染症拡大により一部中止。

講座名	開催日	内 容	参加者数
就労支援パソコン講座 《共催団体》 ひとり親家庭等就業・ 自立支援センター	① 7月 3～5日 ② 7月17～19日 ③ 7月31日～8月2日 ④ 中止	①ワード基礎講座(全3回)その1 ②エクセル基礎講座(全3回)その1 ③ワード基礎講座(全3回)その2 ④エクセル基礎講座(全3回)その2	34名

就
労
支
援
パ
ソ
コ
ン
講
座



パソコン講座の様子

3 県民からの企画提案事業

男女共同参画を推進するための事業の企画運営について、県民(団体等)を対象に募集し運営を委託した。

委託先	開催日	講座等の名称	参加者数 ()内は男性
(1)こうち減災女子部	2月27日	防災から考える安心安全な地域づくり 「わたしから始める災害への備え～おいしい・簡単・防災食～」	14名
(2)特定非営利活動法人LIFE	11月21日	男性の育児参画講座 だっこでイクメン	7名 (5)

4 ボランティア育成・活用事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数
ボランティア活用	年間	事業のサポートを行う県民ボランティアを募集・活用するとともに、活動を通じて男女共同参画への理解浸透を図った。 (活動内容)講演会や講座の受付、イベントの手伝い、図書の選書や企画展示、新聞クリッピング	登録者数 18名 活動実績 延150名
学生ボランティア体験	7月27日 8月24日(中止)	夏休みを活用した事業のボランティア体験をととして、高校生が男女共同参画について知る・学ぶ・考える機会を提供した。 ※感染症拡大により一部中止。	5名
ボランティア育成研修	3月11日 3月13日	ボランティア登録者を対象に、男女共同参画への理解を深めるセミナーを実施した。 <講師> 宮田真(NPO団体 レインボー高知 代表)	8名

学生ボランティア体験



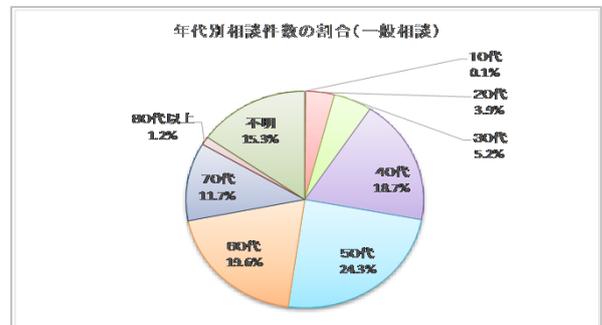
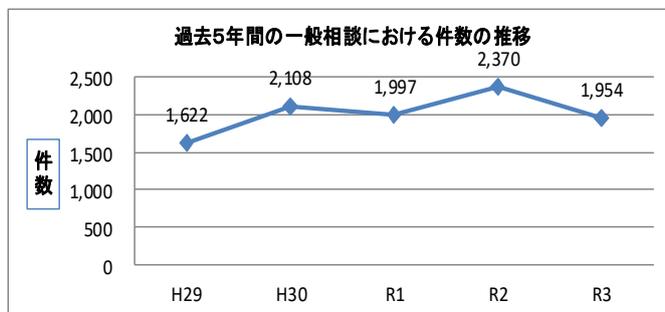
VI 女性問題の解決その他男女共同参画の推進に向けた相談に関する業務

1 相談事業

相談の種類別件数

相談の種類		件数
女性対象相談		2,066 件
	一般相談（休館日を除く毎日）	1,954 件
	性・身体・健康	423 件
	家族・家庭	511 件
	生き方	165 件
	福祉	14 件
	仕事	74 件
	暴力	74 件
	金銭	73 件
	その他	620 件
	法律相談（月2回）	75 件
	こころの相談（月2回）	37 件
男性対象相談	男性のための悩み相談（月3回）	53 件
にじいろコール	LGBTsに関する相談（月1回）	12 件
合計		2,131 件

- 性・身体・健康(423件)で、最も多かったのは「病気」に関すること(80件)
- 家族・家庭(511件)で最も多かったのは「夫との関係」(136件)、次いで「子どもとの関係」(105件)
- その他(620件)は男性からの相談や問合せなども含む
- 新型コロナウイルス感染症拡大により8/20～9/26、2/12～3/6の期間を面談及び専門相談中止とした



2 講座等

講座名	開催日	内容	参加者数 ()内は男性
相談員スキルアップ研修【オンライン】	10月30日 12月4日 2月19日	県内相談機関の相談員を対象に、女性の立場を理解し、ジェンダーに敏感な視点から相談業務ができるよう、スキルアップ研修を実施した。 ※感染症拡大により2/19のみオンラインで実施 <講師> ①瀬山紀子(明治大学兼任講師) ②鹿間淳史(臨床心理士) ③伊田広行(DV加害者プログラム運営者)	会場 60名 (8) オンライン 24名 (3)
相談関連講座	7月11日	相談の多い内容について、社会の中で女性が置かれている立場や状況を女性自身が考え、社会参画する力を身につけることを目的にストレスケアの体験講座を実施。 <講師> 石井朝子 ヒューマンウェルネスインスティテュート代表理事	22名

Ⅶ 関係団体等の相互の交流の促進及び自主的活動への支援に関する業務

1 団体等の自主活動支援事業（ソーレいど事業）

男女共同参画の推進に資する事業を実施した団体等の活動を支援するため、4団体に対し助成した。
(応募6団体 採択4団体)

助成団体名	事業内容	助成額
しまんと町えいど	男女共同参画に関する学習会の開催	96,000円
夫婦別姓について考えるシンポジウム実行委員会	夫婦別姓について考えるシンポジウムの開催	80,000円
特定非営利活動法人 井戸端わもん	女性のためのこころと体の健康づくり講座(料理教室他)の開催	100,000円
こうち男女共同参画ポレール	団体広報紙の冊子化	200,000円
計		476,000円

2 ソーレまっりの開催

ソーレ開館を記念し講演会を開催したほか、利用団体等の活動発表や作品展示、イベント等を実施しセンターを広く県民に周知した。※感染症拡大により2年連続のオンライン版として開催した。

事業名	開催期間	内容	参加者数 ()内は男性	
ソーレ まつり 2022 (オンライン 版)	基調講演	録画配信 ＜講師＞ 治部れんげ(東京工業大学准教授/ジャーナリスト)	オンライン 373名	
	記念講演会	ライブ配信(ZOOM)、オンデマンド配信 ＜講師＞ 太田啓子(弁護士)	オンライン 96名	
	シンポジウム	ライブ配信(ZOOM) ＜パネリスト＞松崎淳子(高知県立大学名誉教授)ほか	オンライン 112名 24名 (4)	
	講座	ライブ配信 親子で田舎寿司づくり	オンライン 18名	
	団体活動の 発表	1月15～30日 利用団体活動紹介、ステージ発表等	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ 1団体(動画配信) ・ステージ 4団体(動画配信) ・活動紹介 8団体(動画配信) ・作品展示 6団体(館内展示) 	オンライン 2,353名 会場 250名
	参加者数の計(動画配信は1回を1名として集計)			3,226名

ソーレまつり(オンライン版)



作品展示



オンライン配信

発行／高知市市民協働部 人権同和・男女共同参画課
2023年（令和5年）3月発行